

令和2年度版

# 流山市まちづくり報告書

(流山市総合計画進捗状況報告)

## 目次

<b>I 本報告書の考え方について</b> .....	1
(1)流山市総合計画について .....	1
(2)総合計画の進行管理 .....	2
(3)まちづくり報告書とは .....	2
<b>II 施策体系</b> .....	3
<b>III まちの経営動向</b> .....	5
(1)基本政策全体の達成動向 .....	5
<b>IV 施策分野別評価表</b> .....	6



## I 本報告書の考え方について

### (1) 流山市総合計画について

流山市総合計画（以下「総合計画」という。）は、本市が目指すまちのイメージである「都心から一番近い森のまち」に向けて、計画的に市政経営を進めていくための指針として、令和2年3月に策定しました。

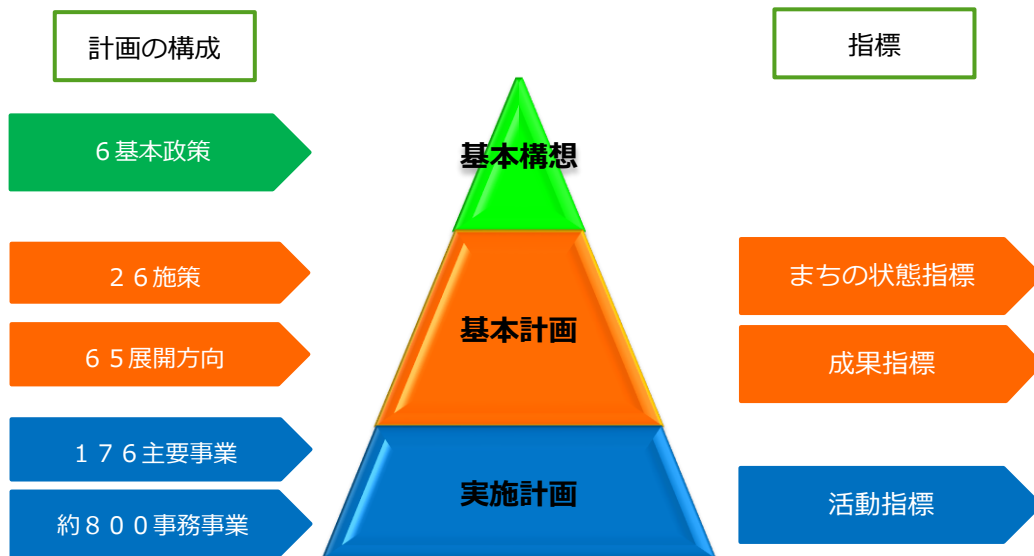
この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成され、基本計画では、10年間の市政経営の方向性を定めています。

#### ■ 総合計画の計画期間

令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度	令和13 (2031) 年度
<b>基本構想</b>										※ 基本計画の見直しの際、 基本構想も見直しを検討します。	
<b>基本計画（10年間）</b>											
<b>実施計画（3年間）</b>											
見直し			※計画期間は3年間とし、毎年見直しを行っていきます。								
見直し											

基本計画においては、26の施策と65の展開方向からなり、施策ごとに「まちの状態指標」を設定し、施策の進み具合について、定期的にその数値を測定することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを検証しています。

#### ■ 計画の構成と指標の関係

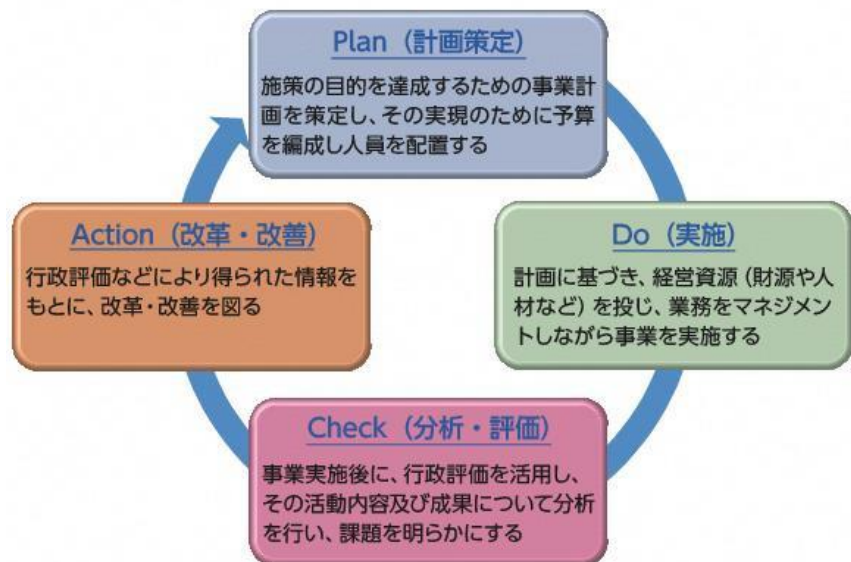


基本政策…目指すまちのイメージ実現のための政策と方針  
 施策…基本政策実現のために取り組むべき行政分野（消防、教育など）  
 展開方向…施策の課題解決に向けた取り組みの方向性  
 事務事業…施策の取り組みを実現するための具体的手段

## (2)総合計画の進行管理

基本計画に掲げる施策や、実施計画に掲げる事業の推進を図るため、その進捗状況を管理し、社会経済情勢の変化や国の制度改正などの状況変化に応じて、事業内容などを毎年度見直すことが必要となります。

そのため、成果を見極めるための成果指標等を設定し、「Plan（計画策定）—Do（実施）—Check（分析・評価）—Action（改革・改善）」といった、PDCAサイクルの手法を取り入れた進行管理を行い、施策や事業の成果を定期的に測定し、改善・効率化を図ります。



流山市総合計画実施計画より「計画の進行管理のイメージ」

## (3)まちづくり報告書とは

本報告書は、総合計画の目指すまちのイメージの実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和元年度の決算見込みを踏まえて、総合計画の進捗状況の報告書として作成しています。

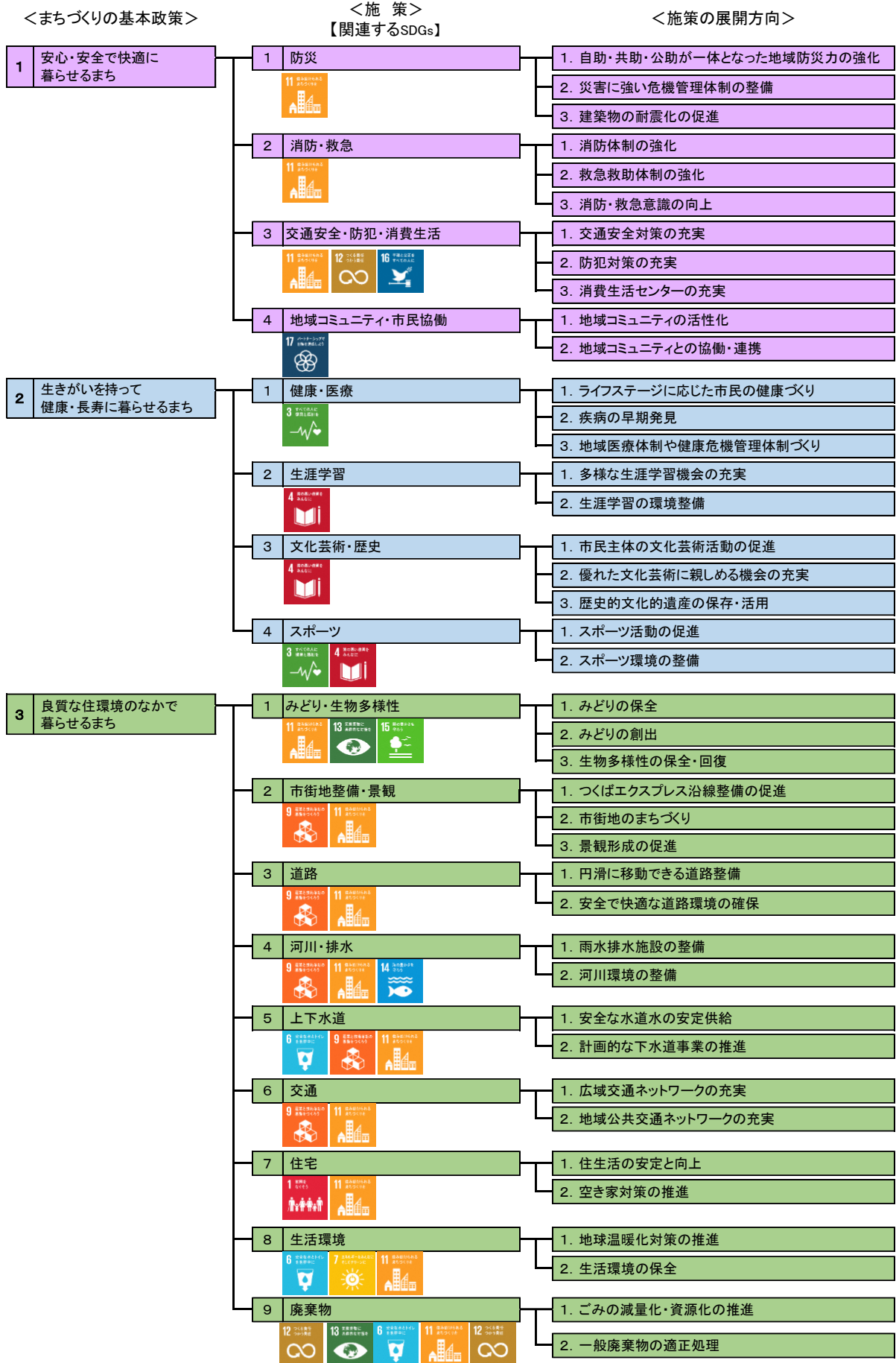
本市の行政評価は、施策、主要事業における成果指標の推移を踏まえたまちの状態指標の状況等を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況を明らかにしています。

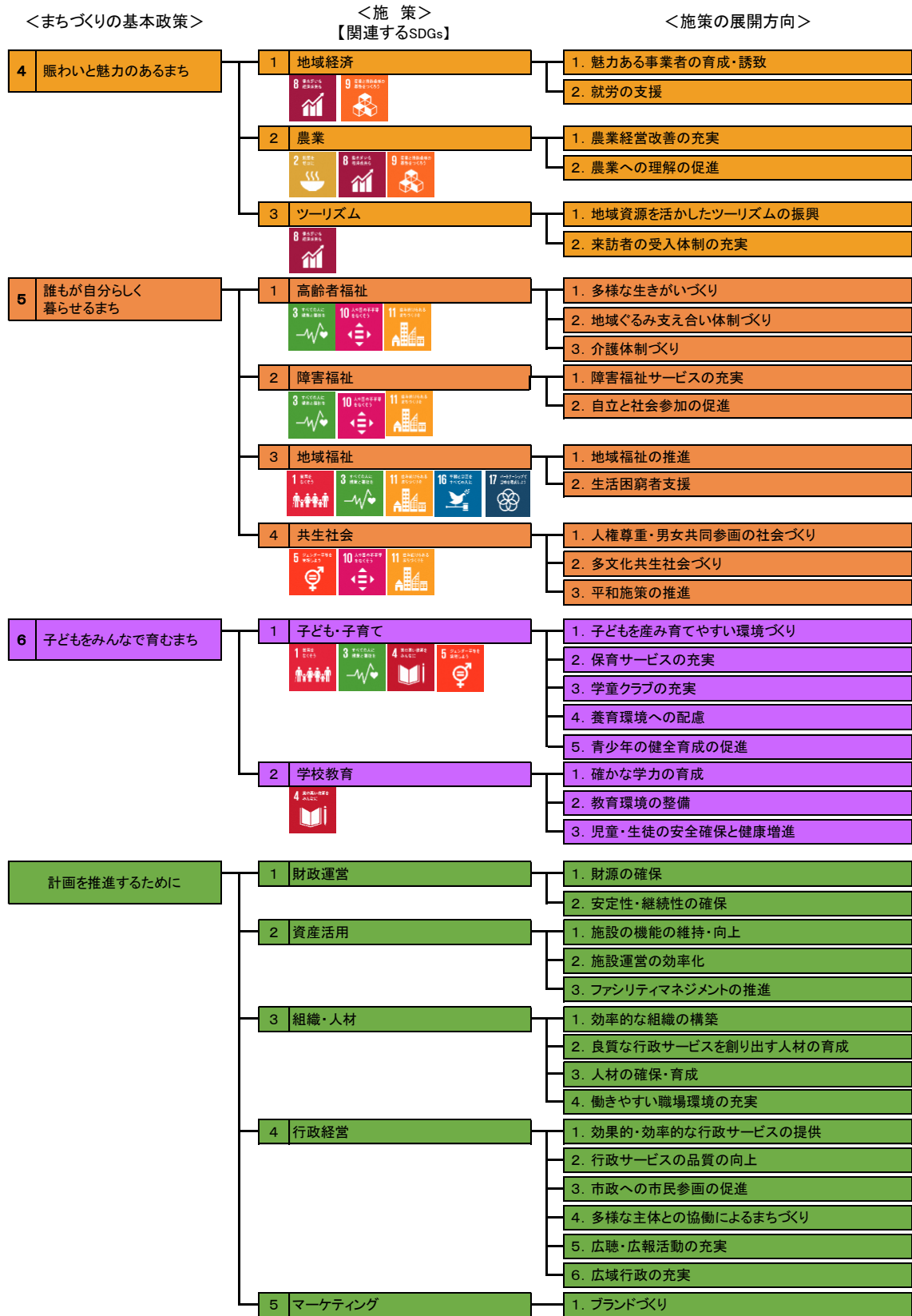
そうした行政評価を分析し、総合計画実施計画による中長期的な事業計画の見直しにより、総合計画の目標達成に向けた施策の推進と成果の向上を図ります。

また、経年変化を確認することにより、社会経済情勢の変化によるものかを見る目安となり、限られた経営資源の「選択と集中」及び事業活動の「改革と改善」への活用が期待できます。

「令和2年度版まちづくり報告書」については、令和2年度から新たな総合計画の計画期間がスタートしたことから、令和元年度の実績に基づく評価・分析を新たな総合計画の施策体系に紐づけて作成しています。

# II 施策体系





### Ⅲ まちの経営動向

#### (1)基本政策全体の達成動向

総合計画に基づく6つの基本政策の達成度について、26の施策の達成状況の指標となる60の「まちの状態指標」の実績値の推移を基に評価を行っています。平成30年度と令和元年度（※指標により、前回調査、直近調査の結果）を比較し、目指す方向への達成状況を「向上」「横ばい」「低下」の3段階で区分し、比較できない場合や、目指す方向を示さない場合などは「その他」と表記しています。

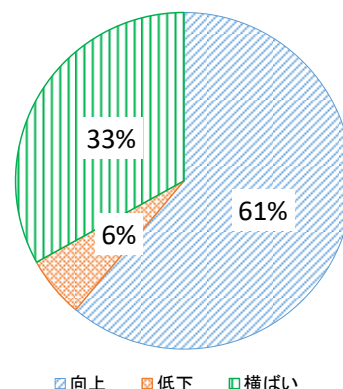
全政策では「向上」が全体の約60%となっており、総合計画は、概ね目標に向けて進んでいるといえます。

各政策の達成状況については下表のとおりとなっており、「安心・安全で快適に暮らせるまち」、「賑わいと魅力のあるまち」、「子どもをみんなで育むまち」で指標の向上している割合が多くなっています。

これは、いつ発生するか分からない災害に対する都市基盤の強化や、つくばエクスプレス沿線駅周辺整備の推進による地域経済の活性化、子育て世帯の増加に伴う保育施設や教育環境の整備を推進してきた結果が出てきたものとみています。

一方で、「良質な住環境のなかで暮らせるまち」では、低下となっている割合も多く、今後、市街地整備に伴うみどりの保全・創出に向けた取り組みの推進や、地域交通ネットワークの充実といった課題も見えてきました。

全政策の達成状況の割合



※「その他」を除く。

各政策の達成状況

基本政策	向上	横ばい	低下	その他	計
安心・安全で快適に暮らせるまち	6	0	2	1	9
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	5	1	3	0	9
良質な住環境のなかで暮らせるまち	11	0	8	1	20
賑わいと魅力のあるまち	4	1	1	0	6
誰もが自分らしく暮らせるまち	2	1	3	4	10
子どもをみんなで育むまち	4	0	0	2	6
計	32	3	17	8	60
全体に占める割合 (%)	61	6	33		100

# IV 施策分野別評価表

## [評価表の見方]

①	<b>施策 防災</b> <span style="float:right">基本政策 安心・安全で快適に暮らせるまち</span> 主管部局 市民生活部 <span style="float:right">施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える</span>																																																													
	まちの状態指標 <span style="float:right">算出式</span> <span style="float:right">H30実績</span> <span style="float:right">R1実績</span> <span style="float:right">単位</span> <span style="float:right">見極め方向</span> 地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合 <span style="float:right">水・食糧3日分を備蓄している市民の割合(まちづくり達成度アンケート)</span> <span style="float:right">52.5</span> <span style="float:right">58.8</span> <span style="float:right">%</span> <span style="float:right">↑</span> 自主防災組織の組織率 <span style="float:right">自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100</span> <span style="float:right">61.7</span> <span style="float:right">66.1</span> <span style="float:right">%</span> <span style="float:right">↑</span>																																																													
②	令和元年度の取組みと評価 改善点 ・取組内容 出前講座を行うことで、平時から市民の「自助」意識の高揚と知識の向上を図っています。また、自主防災組織の設立を促進するとともに、防災活動に必要な資機材の整備等に対する補助を行うことで「共助」に根ざした地域防災力の強化を図っています。 ・評価 近年は出前講座の要望も多く、防災講話を行う機会が増えたことで、平時から「自分の身は自分で守る」「自助」意識の高揚と知識の向上を図ることができました。 ・改善点 今後も防災意識の啓発に努めながら、自主防災組織の設立の促進、組織率の向上及び組織の活性化など自助・共助・公助が一体となった総合的な地域防災力の向上に取り組む必要があります。					令和2年度の現状 課題 取組み ・現状 近年、全国的にこれまでの想定を大きく上回る自然災害が発生しています。これら大規模な災害に対しては、国・県を含めた行政のみによる対応「公助」の限界が指摘されています。 ・課題 大規模な災害による被害を最小限に抑えるためには、平時から自分の身は自分で守る「自助」と自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根ざした地域防災力の強化を図ることが必要です。新型コロナウイルス感染症等、感染症対策を講じた避難所運営が求められます。 ・取組内容 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化を図るとともに、災害に強い危機管理体制の整備を図ります。 避難所の感染症対策を進めます。																																																								
	自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化 <span style="float:right">主管課：防災危機管理課</span>																																																													
③	自主防災組織防災資機材整備等事業 <span style="float:right">市内の自主防災組織の防災活動を支援するため、資機材整備、防災訓練、講演会、研修などに要する経費の一部を補助します。</span>																																																													
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>担当課</th> <th>区分</th> <th>R1当初予算</th> <th>R1決算見込</th> <th>R1職員給与費(目安)</th> <th>R2当初予算</th> <th>R2特定財源</th> <th>R2一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災危機管理課</td> <td>継続</td> <td>4,500</td> <td>3,689</td> <td>1,897</td> <td>4,500</td> <td>2,250</td> <td>2,250</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主な活動指標</td> <td>H30実績</td> <td>R1実績</td> <td>R2目標</td> <td colspan="3">主な成果指標</td> </tr> <tr> <td>自主防災組織数(組織)</td> <td></td> <td>135</td> <td>136</td> <td>140</td> <td>補助金を活用している自主防災組織数(組織)</td> <td>66</td> <td>67</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td colspan="5">R1年度の取組みと評価 改善点</td> <td colspan="5">R2年度の現状 課題 取組み</td> </tr> <tr> <td colspan="5">令和元年度から、補助金に係る世帯区分の細分化及び限度額の調整を図るため要綱の一部を改正し、より活用しやすいものとなりました。</td> <td colspan="5">自主防災組織は136団体、組織率は66.1%にとどまっています。そのため、防災意識の啓発に努めながら、自主防災組織の設立の促進、組織率の向上及び組織の活性化など自助・共助・公助が一体となった総合的な地域防災力の向上に取り組む必要があります。</td> </tr> </tbody> </table>										担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	防災危機管理課	継続	4,500	3,689	1,897	4,500	2,250	2,250	主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標			自主防災組織数(組織)		135	136	140	補助金を活用している自主防災組織数(組織)	66	67	70	R1年度の取組みと評価 改善点					R2年度の現状 課題 取組み					令和元年度から、補助金に係る世帯区分の細分化及び限度額の調整を図るため要綱の一部を改正し、より活用しやすいものとなりました。					自主防災組織は136団体、組織率は66.1%にとどまっています。そのため、防災意識の啓発に努めながら、自主防災組織の設立の促進、組織率の向上及び組織の活性化など自助・共助・公助が一体となった総合的な地域防災力の向上に取り組む必要があります。			
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源																																																							
防災危機管理課	継続	4,500	3,689	1,897	4,500	2,250	2,250																																																							
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標																																																									
自主防災組織数(組織)		135	136	140	補助金を活用している自主防災組織数(組織)	66	67	70																																																						
R1年度の取組みと評価 改善点					R2年度の現状 課題 取組み																																																									
令和元年度から、補助金に係る世帯区分の細分化及び限度額の調整を図るため要綱の一部を改正し、より活用しやすいものとなりました。					自主防災組織は136団体、組織率は66.1%にとどまっています。そのため、防災意識の啓発に努めながら、自主防災組織の設立の促進、組織率の向上及び組織の活性化など自助・共助・公助が一体となった総合的な地域防災力の向上に取り組む必要があります。																																																									
地震ハザードマップ更新事業 <span style="float:right">新市街地地区の土地区画整理事業の工事が完了したことで、地図についても大幅な変更があることから、地震ハザードマップを更新します。</span>																																																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>担当課</th> <th>区分</th> <th>R1当初予算</th> <th>R1決算見込</th> <th>R1職員給与費(目安)</th> <th>R2当初予算</th> <th>R2特定財源</th> <th>R2一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災危機管理課</td> <td>新規</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,805</td> <td>1,650</td> <td>500</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主な活動指標</td> <td>H30実績</td> <td>R1実績</td> <td>R2目標</td> <td colspan="3">主な成果指標</td> </tr> <tr> <td>地震ハザードマップの作成部数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">R1年度の取組みと評価 改善点</td> <td colspan="5">R2年度の現状 課題 取組み</td> </tr> <tr> <td colspan="5">新規事業のため記載なし</td> <td colspan="5">新市街地地区の土地区画整理事業の工事が完了したことで、地図についても大幅な変更が生じていることから、地震ハザードマップを更新します。</td> </tr> </tbody> </table>										担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	防災危機管理課	新規	0	0	2,805	1,650	500	1,150	主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標			地震ハザードマップの作成部数				20,000				R1年度の取組みと評価 改善点					R2年度の現状 課題 取組み					新規事業のため記載なし					新市街地地区の土地区画整理事業の工事が完了したことで、地図についても大幅な変更が生じていることから、地震ハザードマップを更新します。					
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源																																																							
防災危機管理課	新規	0	0	2,805	1,650	500	1,150																																																							
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標																																																									
地震ハザードマップの作成部数				20,000																																																										
R1年度の取組みと評価 改善点					R2年度の現状 課題 取組み																																																									
新規事業のため記載なし					新市街地地区の土地区画整理事業の工事が完了したことで、地図についても大幅な変更が生じていることから、地震ハザードマップを更新します。																																																									

① 総合計画の体系に基づき、該当の基本政策、施策、目的、主管部局及び関連するSDGs (※)を示しています。

※「持続可能な開発計画(Sustainable Development Goals)」のこと。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

② 総合計画に定められた「まちの状態指標」を示すとともに、施策全体としての前年度の取組み、評価、改善点と、当年度の現状、課題、取組みについての総括を記載しています。

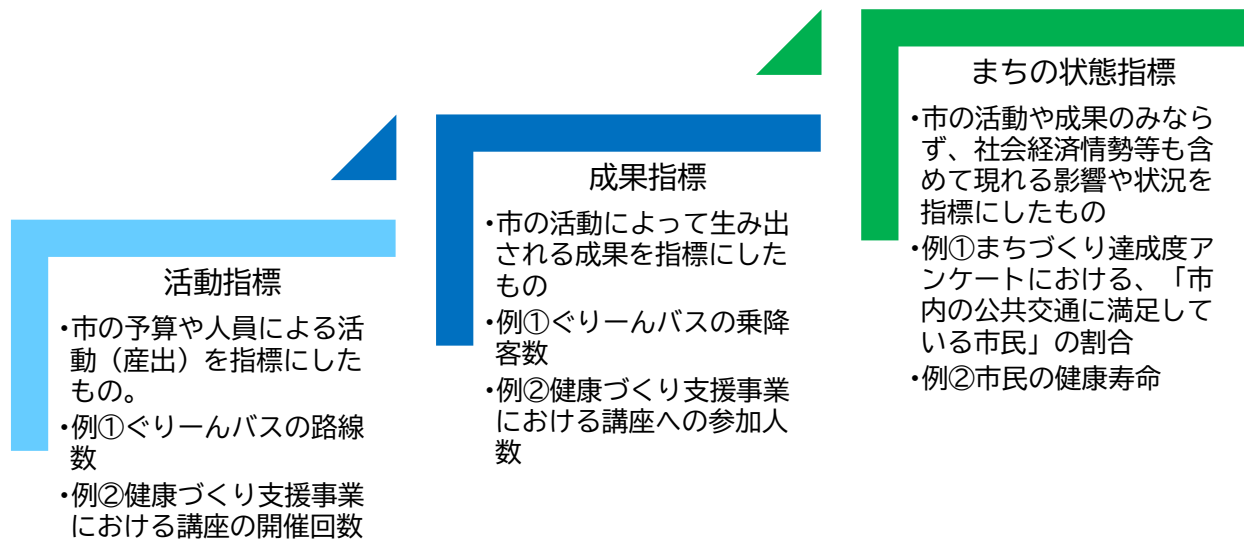
③ 前年度及び当年度の実施計画における主要な事業を中心に、総合計画の体系に基づき、「施策の展開方向」ごとに、各事業の内容、取組みやコストの試算、指標に基づく評価を記載しています。

★指標について

行政評価は、個々の施策や事業の目的が何なのか、その目的を実現するために、どのような手段が妥当であり、成果に結びつくのかを評価し、市の未来につなげることが目的です。



これを可視化するために、指標を定め、その実績値や目標値を記載しています。施策レベルの指標は「まちの状態指標」、事業レベルの指標は、「活動指標」と「成果指標」に分類しており、それぞれ以下のような関係になっています。



主管部局 市民生活部 施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	52.5	58.8	%	↑
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	61.7	66.1	%	↑

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の実績 課題 取組み
<p>・取組内容 出前講座を行うことで、平時から市民の「自助」意識の高揚と知識の向上を図っています。また、自主防災組織の設立を促進するとともに、防災活動に必要な資機材の整備等に対する補助を行うことで「共助」に根ざした地域防災力の強化を図っています。</p> <p>・評価 近年は出前講座の要望も多く、防災講話を行う機会が増えたことで、平時から「自分の身は自分で守る」自助意識の高揚と知識の向上を図ることができました。</p> <p>・改善点 今後も防災意識の啓発に努めながら、自主防災組織の設立の促進、組織率の向上及び組織の活性化など自助・共助・公助が一体となった総合的な地域防災力の向上に取り組む必要があります。</p>	<p>・現状 近年、全国的にこれまでの想定を大きく上回る自然災害が発生しています。これら大規模な災害に対しては、国・県を含めた行政のみによる対応「公助」の限界が指摘されています。</p> <p>・課題 大規模な災害による被害を最小限に抑えるためには、平時から自分の身は自分で守る「自助」と自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根ざした地域防災力の強化を図ることが必要です。新型コロナウイルス感染症等、感染症対策を講じた避難所運営が求められます。</p> <p>・取組内容 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化を図るとともに、災害に強い危機管理体制の整備を図ります。避難所の感染症対策を進めます。</p>

自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化 主管課：防災危機管理課 関連課：なし

自主防災組織防災資機材整備等事業	市内の自主防災組織の防災活動を支援するため、資機材整備、防災訓練、講演会、研修などに要する経費の一部を補助します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
防災危機管理課	継続	4,500		3,689	1,897		4,500	2,250	2,250
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
自主防災組織数(組織)	135	136	140	補助金を活用している自主防災組織数(組織)		66	67	70	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
令和元年度から、補助金に係る世帯区分の細分化及び限度額の調整を図るため要綱の一部を改正し、より活用しやすいものとなりました。				自主防災組織は136団体、組織率は66.1%にとどまっています。そのため、防災意識の啓発に努めながら、自主防災組織の設立の促進、組織率の向上及び組織の活性化など自助・共助・公助が一体となった総合的な地域防災力の向上に取り組む必要があります。					

地震ハザードマップ更新事業	新市街地地区の土地区画整理事業の工事が完了したことで、地図についても大幅な変更があることから、地震ハザードマップを更新します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
防災危機管理課	新規	0		0	0		1,650	500	1,150
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
地震ハザードマップの作成部数(部)	-	-	20,000						
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
新規事業のため記載なし				新市街地地区の土地区画整理事業の工事が完了したことで、地図についても大幅な変更が生じていることから、地震ハザードマップを更新します。					

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課 関連課：河川課、上下水道局、道路管理課

防災行政無線更新事業	老朽化が進んでいる防災行政無線同報系子局30基を更新し、長寿命化を図ります。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
防災危機管理課	継続	0		0	0		79,971	59,900	20,071
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
防災行政無線同報系子局設置数(基)	79	79	79	防災行政無線同報系子局更新数(基)		-	-	30	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
年2回保守点検を行っており、必要に応じて修繕を行っています。				老朽化が進んでいる防災行政無線30基を更新し、長寿命化を図ります。					

全国瞬時警報システム(J-ALERT)整備事業	全国瞬時警報システム(Jアラート)と安心メールを連携することで、登録者にJアラートの情報を迅速に伝達し、市民等の安全確保を図ります。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
防災危機管理課	継続	0		0	0		1,584	0	1,584
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
システムの導入	-	-	導入						
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
新規事業のため記載なし				現在、全国瞬時警報システム(Jアラート)と安心メールは連携されておらず、防災行政無線が流れても、安心メールに配信されていないことから、これを連携するシステムを導入し、伝達手段の多重化を図ります。					

総合防災訓練(図上訓練)事業	市職員の災害対応能力の向上を図るため、大規模な災害を想定した災害対策本部の運営、情報収集、避難所開設などのロールプレイング型図上訓練を実施します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
防災危機管理課	継続	1,000		994	2,104		1,000	0	1,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
図上訓練参加職員数累計(人)	45	90	135						
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
平成30年度に引き続き、ロールプレイング型図上訓練を実施しました。令和元年度は、訓練対象者を災害対策本部各班の班長に実務担当者(係長以下)を加え、より実践的な訓練を行いました。				令和2年度も昨年同様の訓練を行う予定です。					

主管部局 市民生活部 施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える



災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課 関連課：河川課、上下水道局、道路管理課

防災施設等整備事業	人口増加に伴い防災施設が不足していることから、近隣公園に、災害時に一時避難する被災者のための防災施設等の整備を進めます。令和2年度 おおたかの森駅南口公園（西初石近隣公園）						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
防災危機管理課	継続	8,378	6,277	2,805	4,443	3,100	1,343
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
かまどベンチ設置数累計(基)	17	21	25				
太陽光照明設置数(基)	9	11	13				
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
令和元年度は、大堀川水辺公園にマンホールトイレ4基、かまどベンチ4基、太陽光照明2基を整備しました。				令和2年度は、おおたかの森駅南口公園（西初石近隣公園）にかまどベンチ4基、太陽光照明2基を整備します。			

防災備蓄倉庫設置事業	防災備蓄倉庫を設置し、食糧や防災資機材を備蓄します。また、備蓄計画に準じ食糧や防災資機材を備蓄します。令和2年度 県立流山南高等学校、コミュニティプラザ						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
防災危機管理課	継続	21,000	29,496	3,507	23,000	4,800	18,200
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
防災備蓄倉庫設置件数(件)	33	35	38				
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
令和元年度は、八木南小学校、南流山小学校、県立流山おおたかの森高等学校に防災備蓄倉庫を設置し、備蓄食糧や防災資機材を備蓄しました。				令和2年度は、流山市コミュニティプラザ、県立流山南高等学校に防災備蓄倉庫を設置し、備蓄食糧や防災資機材を備蓄します。			

建築物の耐震化の促進 主管課：建築住宅課 関連課：なし

耐震改修促進事業	住宅の耐震化の促進を図るため、昭和56年以前に建築された一戸建ての木造住宅等に対し、耐震診断・耐震改修費の一部を補助します。地震災害による、コンクリートブロック塀等の倒壊を防止するため、市内小学校の通学路沿いの危険なコンクリートブロック塀等に対し、除却費の一部を補助します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
建築住宅課	継続	15,600	9,735	22,231	16,100	11,855	4,245
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
無料耐震診断及び出張耐震相談件数(件)	15	14	20	耐震診断及び耐震改修補助件数(件)	23	20	50
ブロック塀等所有者への啓発件数(件)	-	95	100	ブロック塀等除却補助件数(件)	3	15	40
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
(取組み内容) ・住宅の耐震診断・改修について：出張耐震相談を2回(延べ12件)、出前講座を1回、職員による無料の耐震診断を2件実施しました。 ・ブロック塀等について：平成30年度に実施した小学校通学路沿いの調査結果をもとに、危険度が高く対策の優先度が高いブロック塀等の所有者に対し、啓発活動を実施しました。 (評価) ・住宅の耐震診断・改修について：無料耐震診断及び出張耐震相談をきっかけに補助金申請をする方が多く、耐震改修補助金に関しては、目標件数が達成できました。 ・ブロック塀等について：啓発活動を95件実施しましたが、除却件数が少なかった。 (改善点) 危険度の高いブロック塀等の所有者に対して、改修の必要性をより分かりやすく伝えるよう啓発方法を工夫します。				・住宅の耐震診断・改修について：出張耐震相談及び無料耐震診断による啓発活動が有効であるため、引き続き積極的に行っていきます。 ・ブロック塀除却について：啓発活動の方法を改善するとともに、より使いやすい制度となるよう補助金制度を更新することによって、除却を促進し、小学校通学路の安全性の向上を図ります。			

被災住宅修繕緊急支援事業	被災者の生活の安定と住宅の安全を確保するため、台風15号及び台風19号により被災した住宅の修繕費の一部を補助します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
建築住宅課	新規	0	4,998	11,712	10,000	8,000	2,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
				被災住宅修繕補助件数(件)	-	48	20
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
(取組内容) ・令和元年台風15号及び19号により、被災した住宅の修繕工事に要する費用の一部を補助する補助制度を設けました。 ・被災住宅の修繕工事費用に対する補助を48件実施しました。 (評価) ・台風による被災住宅の修繕工事の費用を補助することで、被災者を支援することができました。 (改善点) ・引続き補助制度の周知を図る必要があります。				今後も制度の周知を図り被災者の住宅の安全確保の向上に努めます。			

主管部局 消防本部 施策の目的 火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの出火件数	火災件数(1月~12月)÷人口(1月1日時点)×10,000	1.4	1.0	件	↓
救急出動件数	1月~12月(消防本部)	8,289	8,398	件	↓

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>令和元年度は、地域防災の中核として欠かすことのできない消防団の事業として、本市で東葛飾支部消防操法大会の開催、消防団機械器具置場の建設を行いました。更に消防団による市内防火広報及び訪問防火診断を行いました。</p> <p>中央消防署移転事業では、移転用地交渉、建設スケジュールを作成しました。また、消防装備の整備等のため、消防施設及び消防装備整備基金を積み立てました。</p> <p>消防指令業務の効率化や円滑な広域応援体制の充実を図るほか、救急隊増隊に伴う高規格救急車の購入を行うとともに、救急救命士等を養成し救急体制の充実を図りました。</p> <p>防災拠点の強化や増加する一方の救急件数に対して、更なる消防力の強化ができたことは評価ができます。また、火災件数の減少からも、消防団による火災予防活動が火災の抑制に効果があったと考えます。</p> <p>令和2年度は、若手職員の育成、消防学校への研修派遣を推進し、更なる消防力の充実強化を図ります。</p>	<p>令和2年度は、流山市消防施設の個別施設計画に基づいた消防団機械器具置場の建設、出火の防止及び防火思想の普及啓発の推進活動に取り組み火災件数の減少に努めます。</p> <p>防災拠点の要である中央消防署庁舎の建て替えが急務となっているため、建設スケジュールに基づき事業に取り組みます。</p> <p>令和3年2月から、新たに10市体制となる「ちば北西部消防指令センター」の運用に伴い、機器の移行等の作業に取り組みます。また、高規格救急車及び資機材搬送車の更新整備を行うほか、引き続き救急救命士等を計画的に育成します。</p> <p>大量退職に伴い若手職員の増加が見込まれることから、専門的な研修、消防学校への入校を充実させるほか、消防活動に必要な資格の習得に努め、更なる職員の資質向上に繋がります。</p>

消防体制の強化 主管課：消防本部 関連課：なし

東葛飾支部消防操法大会開催事業		消防団員の日頃の訓練の成果を発表する(公財)千葉県消防協会主催の東葛飾支部消防操法大会を輪番で開催します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
消防総務課	新規	7,462		5,699	5,274	0	0	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				東葛飾支部消防操法大会流山市消防団員参加人数(人)		-	73	-
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
令和元年6月30日に(公財)千葉県消防協会主催の東葛飾支部消防操法大会を流山市スポーツフィールドで開催しました。				本市での開催は9年に1度のため、令和2年度はありません。				

消防団機械器具置場建設事業		地域の防災拠点施設である消防団機械器具置場を建築から30年を目安として、古い順に建て替え又は大規模改修等を行い消防力の充実を図ります。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
消防総務課	継続	17,644		29,283	2,637	26,598	16,949	9,649
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
消防団機械器具置場建設予定(件)	0	2	1	消防団機械器具置場建設実績(件)		0	2	1
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
・第3分団機械器具置場及び第7分団機械器具置場を建て替えました。				・昭和62年に建設した消防団第13分団機械器具置場を建替えます。また、消防団第9分団及び第10分団の統合により、不要となった第9分団機械器具置場を取壊します。 ・県補助金(消防防災施設強化事業)決定後の入札のため、年度内に工事が完了できるように、各担当課等と連絡を密にし準備をします。				

消防指令業務運用事業		消防指令業務の効率化や円滑な広域応援体制を図るため、千葉北西部消防指令センター(松戸市)において共同で消防指令業務を行います。令和2年度から、現在の6市(流山市、松戸市、市川市、野田市、鎌ヶ谷市、浦安市)に加え、新たに習志野市、柏市、八千代市、我孫子市を含めた10市体制で業務を行います。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
消防防災課	拡充	64,000		82,442	5,933	66,217	0	66,217
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				救急車の現場到着時間(平均現場到着時間)(分)		8	8	8
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
令和2年度からの10市体制での消防指令センターの運用開始に伴い、消防指令事務協議会による各作業部会、指令設備構築に向けた打合せ会議及び多岐にわたる協議資料の作成について準備を進めています。				・令和3年2月から、10市体制によるちば北西部消防指令センターが運用開始予定です。 ・年度途中で消防指令センターが切り替わるため指令設備機器の移行作業、人員の異動等について円滑な移行に努めます。				

中央消防署移転事業		昭和49年に建設された現消防本部・中央消防署の庁舎移転を行い、防災拠点の強化及び庁舎の適正配置を図ります。令和2年度事業認定申請 令和3年度 基本計画、基本設計 令和4年度 実施設計 等						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
消防総務課	継続	0		132	1,978	9,086	9,086	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
・移転用地取得のため、地権者との交渉実施や庁舎建設までのスケジュールを作成しました。 ・関係各課との詳細な日程調整、協議等を行っています。				・地権者との交渉を引き続き行います。 ・事業認定申請事務や庁舎建設の基本計画作成に伴うパブリックコメントを実施します。				

主管部局 消防本部 施策の目的 火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る



消防体制の強化 主管課：消防本部 関連課：なし

消防車両整備事業	消防車両整備計画に基づき、高規格救急自動車等を更新整備します。 令和2年度 高規格救急自動車(北消防署)、資機材搬送車(東消防署)							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
消防防災課	継続	35,667	36,747	2,044	50,354	43,438	6,916	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
消防車両等新規購入台数(台)	2	1	2					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
令和2年度に救急隊を増隊するため、北消防署に高規格救急自動車を新規購入しました。				令和元年度に購入した北消防署高規格救急自動車(2号車)を緊急消防援助隊及び千葉県消防広域応援隊の登録車両申請を行います。 購入から9年経過する北消防署の高規格救急自動車(1号車)の更新整備のため県費補助金を活用し、購入します。 さらに、東消防署の資機材搬送車を更新するため購入します。				

消防施設及び消防装備整備基金積立事業	消防本部中央消防署の移転や消防施設、消防装備の整備等に必要な財源を計画的に積立てます。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
消防総務課	継続	3,028	103,068	1,319	1,706	1,705	1	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				ふるさと納税寄付件数(件)		102	92	92
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
将来における消防施設及び消防装備整備等に向け、積み立てました。 一般財源100,000千円 寄付金3,006千円 利息62千円				前年度に引き続き、消防施設及び消防装備整備等に向け、計画的に積み立てます。 寄付額1,689千円 利息17千円 その他一般財源からの積み立ては、財政調整課と協議をしながら積み立てます。				

救急救助体制の強化 主管課：消防本部 関連課：なし

救急救命士養成事業	(救急隊員になるための)専門知識を習得させて、救急隊員の養成を図るほか、より高度な救命処置が施せる救急救命士を養成し、救急体制の充実強化を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
消防総務課	継続	6,949	6,760	4,615	6,129	0	6,129	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
救急救命士資格取得人数(人)	1	2	2	救急救命士人数(人)		28	31	30
千葉県消防学校救急科受講人数(人)	2	8	4					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
令和元年度の派遣実績 ・救急救命士資格取得 2名 ・救急救命士就業前病院実習 2名 ・千葉県消防学校救急科 8名 ・救急救命士処置範囲拡大追加講習 1名 ・一般救命士再教育 1名 ・救急隊長再教育 1名 職員の高齢化や定年退職、定期人事異動等により、救急隊員の入れ替えも毎年行われることから継続的な育成が必要です。				令和2年度の取組み ・救急救命士資格取得 2名 ・救急救命士就業前病院実習 2名 ・千葉県消防学校救急科 4名 ・救急隊長再教育 1名 ・救急隊を5隊から6隊に増隊します。 ・救急救命士の計画的な育成に努めます。				

消防・救急意識の向上 主管課：消防本部 関連課：なし

火災予防運動啓発事業	消防団による火災予防の広報や住宅防火指導等を積極的に実施し、出火の防止及び防火思想の普及啓発を推進し、火災による被害の軽減を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
予防課	継続	3,685	2,979	1,613	4,745	0	4,745	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
防火診断実施件数(件)	156	154	220	年間火災発生件数(件)		27	20	20
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
火災予防運動及び歳末特別警戒の期間中に市内を巡回し、広報や啓発活動を行いました。 また、11月から2月にかけて単身高齢者世帯を訪問し防火診断を実施しました。 前年度と比較して火災件数は減少しており、消防団の日ごろからの活動が火災の抑制に一定の効果があったと考えます。				火災予防運動及び歳末特別警戒の期間中に市内を巡回し、広報や啓発活動を行います。 また、11月から2月にかけて単身高齢者世帯を訪問し防火診断を実施します。 年間の火災件数は他市と比較しても少ない状況ですが、火災による死傷者が発生していることから今後も、火災の抑制に繋がる効果的な広報や啓発活動を行います。				

主管部局 市民生活部 施策の目的 交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの交通事故発生件数	交通事故統計ちば（千葉県警察本部）	27.3	24.3	件	↓
人口1万人当たりの犯罪発生件数	人口1万人当たりの犯罪発生件数（1月～12月）（千葉県警察本部）	61.2	53.3	件	↓
消費生活相談件数	消費生活センターに寄せられた相談件数（消費生活センター）	2,009	1,734	件	—

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>・市道の管理延長が増加する中、関係機関との連携を図りながら交通安全施設の設置及び補修に努めました。</p> <p>・自主防犯団体への活動支援、安心メールの配信・登録推進、公道等への防犯カメラの新規等設置、業務で市内を巡回する事業者と警察との防犯協定締結など、様々な取組みの相乗効果により地域防犯力が向上し、犯罪発生件数は減少しています。</p> <p>・地域の自治会のご協力をいただき防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行うことができました。</p> <p>・窓口及び電話にて消費生活に係る苦情・相談を受け、専門相談員が助言・あっせんし、被害回復・未然防止に努めました。消費生活相談を受けられる消費生活センターの更なる周知が必要と考えます。</p>	<p>・警察等関係機関との連携強化を図り、交通安全対策に努めていきます。</p> <p>・自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊への活動備品貸与、安心メールの配信・登録推進、公道等への防犯カメラ新規等設置、防犯協定締結の推進を図ります。令和2年度から地域の防犯活動の一環として防犯カメラを設置する自治会に対し設置費用の一部を補助する補助金制度を新設します。</p> <p>・地域の自治会のご協力をいただきながら防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行います。</p> <p>・消費生活に係る苦情・相談を受け付け、専門相談員による助言やあっせんを行い被害の回復・未然防止に努めます。消費生活の急速な変化に対応できるよう相談員のスキルアップのための研修に参加してまいります。ホームページ等を活用し消費生活センターの更なる周知を図ります。</p>

交通安全対策の充実 主管課：道路管理課 関連課：道路建設課

交通安全施設整備事業	交通事故が多発している道路、その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、交通安全施設を整備して環境の改善を図ります。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路管理課	継続	73,857		106,385	6,592		64,500	13,000	51,500
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
情報処理件数(件)	335	347	340	人身事故発生件数(件)		533	473	463	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
市道の安全確保のため、区画線、車止め、ガードレール、道路反射鏡等、交通安全施設の設置及び補修に努めました。また、警察に対し各種規制や信号機の設置要望等を行いました。その結果、市内の道路延長や交通量が増加する中、人身事故件数は減少しました。				交通事故件数や道路の状況等、現状把握が課題となります。市民の皆様からの情報提供のほか、職員による道路パトロールの強化及び交通管理者である警察との連携強化により、市内道路の危険箇所等現状把握に努めます。					

防犯対策の充実 主管課：コミュニティ課 関連課：なし

安心安全支援事業	自主防犯団体への活動支援、安心メールの配信、防犯カメラ設置等を行い、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進します。令和2年度から、地域の防犯活動の一環として防犯カメラを設置する自治会に対し、設置費用の一部を補助する補助金制度を新設します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
コミュニティ課	拡充	18,622		13,477	6,592		19,298	6,000	13,298
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)	71	72	73	刑法犯認知件数(件)		1,164	1,039	1,000	
流山市民安全パトロール隊隊員数(人)	44	34	40	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		58.7	60.4	61.0	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊への活動備品貸与、犯罪発生情報等の安心メール配信及び登録推進、公道等への防犯カメラの新規等設置、業務で市内を巡回する事業者と警察との防犯協定の締結など、様々な取組みの相乗効果により地域防犯力が向上し、犯罪発生件数は減少しています。				自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊への活動備品貸与、安心メールの配信及び登録推進、公道等への防犯カメラ新規等設置、防犯協定締結の推進を図り、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。令和2年度から地域の防犯活動の一環として防犯カメラを設置する自治会に対し、設置費用の一部を補助する補助金制度を新設します。					

LED防犯灯一括整備・管理事業	LEDに交換した防犯灯の維持管理及び新規設置を省エネルギーサービス(ESCO)により実施します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
コミュニティ課	継続	33,842		33,765	6,592		33,843	0	33,843
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
新規設置防犯灯数(灯)	345	345	400	刑法犯認知件数(件)		1,164	1,039	1,000	
管理防犯灯数(灯)	17,030	17,455	17,850	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		58.7	60.4	61.0	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
防犯灯の新規設置及び維持管理には地域の自治会の協力が不可欠です。各自治会へ防犯灯の新規設置及び不具合の際の連絡方法等を記載した防犯灯マニュアルを作成・配布し、各自治会のご協力のもと防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行うことができました。				防犯灯マニュアルに基づき各自治会のご協力をいただきながら防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行います。					

消費生活センターの充実 主管課：コミュニティ課 関連課：なし

消費者情報提供事業	専門の相談員を配置し、被害に遭った消費者の救済や、トラブルを未然に防ぐための相談対応、情報提供を行います。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
コミュニティ課	継続	12,721		12,131	2,702		17,957	234	17,723
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
相談件数(件)	2,009	1,734	-	相談により問題解決された割合(年度末時点)(%)		98.66	98.96	99.50	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
消費生活センターにおいて、来庁または電話による消費生活に係る苦情・相談を受け付け、専門相談員が助言やあっせんし、被害の回復及び未然防止に努め、消費者の安心・安全を推進することができました。消費生活相談を受けられる消費生活センターの更なる周知が必要と考えます。				消費生活に係る苦情・相談を受け付け、専門相談員による助言やあっせんを行い、被害の回復・未然防止に努めます。近年、インターネット通販や架空請求などの相談が継続的に寄せられており、また、民法改正やキャッシュレス化等、消費生活の急速な変化に対応できるよう、相談員のスキルアップのための研修に積極的に参加してまいります。ホームページ等を活用し消費生活センターの更なる周知を図ります。					

主管部局 市民生活部 施策の目的 地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
自治会への加入率	自治会加入世帯数÷常住人口世帯数×100 ※10月1日時点（コミュニティ課）	66.28	64.39	%	↑
市民活動団体の数	市民活動推進センター登録団体数+ NPO 法人数-重複団体数（コミュニティ課）	180	196	団体	↑

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の実績 課題 取組み
<p>・地域コミュニティの核である自治会の活動拠点となる自治会館の維持管理及び大規模修繕、並びに自治会館を新設する自治会に経費の一部補助を行い、また、行政文書等の回覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営に寄与することができました。</p> <p>・地域や自治会の課題について意見交換を行う自治会懇談会をワークショップ形式で開催し活発な意見交換がなされ有意義な会議となりました。</p> <p>・市民活動団体の活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営により登録団体数及び利用者数ともに増加し市民活動を推進することができました。</p> <p>・地域の課題解決に取り組む市民活動団体が行う公益事業に要する費用の一部補助を行い、協働によるまちづくりを推進しました。また、協働まちづくり提案調整会議から補助金制度の見直しについて提言を受けたことから令和2年度以降、改善に取り組めます。</p>	<p>・自治会館の維持管理及び大規模修繕、並びに自治会館を新設する自治会に経費の一部補助、行政文書等の回覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営ができるよう支援します。</p> <p>・地域や自治会の課題について意見交換を行う自治会懇談会を複数回開催します。</p> <p>・市民活動推進センターを運営し、市民活動団体の活動を支援します。</p> <p>・市民活動団体が行う公益事業に要する費用の一部補助を行うとともに協働まちづくり提案調整会議からの提言による補助金制度の改善に取り組めます。</p>

地域コミュニティの活性化 主管課：コミュニティ課 関連課：なし

自治会活動助成事業	自治会の円滑な運営のために活動の拠点となる自治会館の維持管理に要する経費の一部に対し補助金を交付します。また、活動活性化に資する講座を開催するなど活動を支援します。令和2年度 オークタウン江戸川自治会他2自治会（大規模修繕） 江戸川台東自治会他1自治会（冷暖房機器設置）							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
コミュニティ課	継続	28,235		25,947	5,658	25,279	2,672	22,607
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
自治会懇談会開催回数(回)	1	1	2	自治会加入率(%)		66.28	64.39	65.00
				コミュニティ活動参加者の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		37.3	38.3	39.00
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
自治会館の維持管理及び大規模修繕に要する経費の一部補助を行い、また、行政文書等の回覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営に寄与することができました。地域や自治会の課題について意見交換を行う自治会懇談会をワークショップ形式で開催し活発な意見交換がなされ有意義な会議となりました。				自治会館の維持管理及び大規模修繕に要する経費の一部補助、行政文書等の回覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営ができるよう支援します。地域や自治会の課題について意見交換を行う自治会懇談会を複数回開催します。				

自治会館建設費補助事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の建設（新築・増築）に要する経費の一部に対し補助金を交付し、活動を支援します。令和2年度 おおたかの森南一丁目自治会（新築）松ヶ丘旭自治会（増築）							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
コミュニティ課	継続	7,500		6,700	1,403	10,700	6,500	4,200
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
自治会館建設補助申請件数(件)	5	1	2	自治会加入率(%)		66.28	64.39	65.00
				コミュニティ活動参加者の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		37.3	38.3	39.00
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
新たに自治会館を建設する自治会に経費の一部補助を行い、自治会の円滑な運営に寄与することができました。工事が完了が年度末になったことから今後の改善点として着工を早めに行うなどの周知等を図っていきます。				令和元年度に要望のあった、おおたかの森南一丁目自治会及び松ヶ丘旭自治会に建設等に要する経費の一部を補助し、自治会の円滑な運営ができるよう支援します。工事が完了が年度末にならないよう各自治会に周知していきます。				

地域コミュニティとの協働・連携 主管課：コミュニティ課 関連課：なし

NPO活動推進事業	市民活動団体による公益的な活動を支援するため、活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営や各団体が行う公益事業に対し補助金を交付し、協働によるまちづくりを推進します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
コミュニティ課	継続	15,445		13,967	5,610	15,059	729	14,330
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
流山市民活動推進センター施設利用者数(人)	26,681	24,723	27,000	市民活動推進センター登録団体数(団体)		180	196	200
				市民活動団体公益事業補助金交付事業件数(事業)		5	4	5
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
市民活動団体の活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営により登録団体数及び利用者数ともに増加し、市民活動を推進することができました。地域課題の解決に取り組む市民活動団体が行う公益事業に要する費用の一部補助を行い、協働によるまちづくりを推進しました。また、協働まちづくり提案調整会議から市民活動団体公益事業補助金制度の見直しについて提言を受けたことから令和2年度以降、改善に取り組めます。				市民活動推進センターを運営し、市民活動団体の活動を支援します。市民活動団体が行う公益事業に要する費用の一部補助を行うとともに、協働まちづくり提案調整会議からの提言による補助金制度の改善に取り組めます。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
健康寿命(平均自立期間)	日常生活動作が自立している期間の平均 (千葉県健康福祉部資料) ※1 数値は2015(H27)年、2016年(H28)、上段:65歳男性、下段:65歳女性	18.55 20.46(※1)	18.69 20.64(※1)	年	↑
生活習慣病による死亡者数の割合	死亡者数全体のうち、悪性新生物(がん)、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患、高血圧性疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、糖尿病による死亡者数の占める割合(千葉県衛生統計年報) ※2 数値は2017(H29)年、2018(H30)年	56.3(※2)	55.0(※2)	%	↓
一般診療所の数	千葉県衛生統計年報 ※3 数値は2017(H29)年、2018(H30)年	95(※3)	102(※3)	-	↑

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
各種健(検)診の充実、特定健康診査や特定保健指導などを実施することで、疾病の予防・早期発見に努めているところであり、概ね受診率の向上が図られている。引き続き、あらゆる場面でがん検診等の周知・啓発に努めていく。	新型コロナウイルス感染症の市内での感染拡大の防止のため、庁内各課や関係機関と連携し感染症対策に取り組みます。 健康増進法に基づき、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査や各種がん検診を実施します。感染症の発生及びまん延を予防するための予防接種を行い、疾病の予防及び公衆衛生の向上を図ります。

ライフステージに応じた市民の健康づくり 主管課: 健康増進課、企画政策課 関連課: なし

母子健康診査事業	母子保健法に基づき、母子の健康の保持増進を目的とし、妊婦・乳児一般健康診査、3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を実施します。令和2年度からは弱視の早期発見のため、3歳児健康診査において、屈折検査を受診者全員に実施します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	拡充	307,402	280,716	57,009	324,197	0	324,197
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
妊婦一般健診受診率(%)	104.0	98.6	100.0	1歳6か月児、3歳児健診受診率(%)	97.2	97.4	97.8
				3か月児健診受診率(%)	96.1	95.7	96.5
R1年度の取組みと評価_改善点	R2年度の現状_課題_取組み						
1歳6か月児及び3歳児健康診査の実施回数を各々月3回に増やしたことにより、混雑緩和を図ることができ、受診者の負担軽減や円滑に健診を実施することができました。今後も対象者の増加が想定されることから、対象者が受診しやすい体制づくりや適切な事業運営を進めていく必要があります。	対象者の増加が続くため、待ち時間の短縮等健診の実施体制や精度管理等、改善を図っていく必要があります。 また、引き続き未受診者への通知、訪問を実施し、関係機関と連携し未受診者の把握に努めます。						

健康づくり支援事業	第2次健康づくり支援計画(令和2~11年度)に基づき、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした健康づくりを推進するため、ヘルスアップ教室や健康づくり推進員活動、市民健康まつり、食育パネル展示、健康チェックコーナー等を通じて、健康的な生活習慣を身につけるための機会の提供や健康情報の普及啓発、受動喫煙防止等のたばこ対策、保育所や学校等と連携した食育の推進などを行います。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	継続	6,669	4,834	7,714	4,035	960	3,075
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
ヘルスアップ教室開催回数(回)	100	90	50	ヘルスアップ教室参加者(人)	292	287	320
				市民健康まつり参加者数(人)	618	947	1,000
R1年度の取組みと評価_改善点	R2年度の現状_課題_取組み						
・健康づくり支援計画を健康に関するアンケート調査、パブリックコメントを実施し、福祉施策審議会の答申を受けて策定しました。 ・市民の健康づくりを推進するため、市内5か所でのヘルスアップ教室、健康づくり推進員による市内4地区ごとの地区活動として地区栄養講座、運動講座などを実施しました。また、流山市医師会、流山市歯科医師会、流山市薬剤師会、健康づくり推進員の協力により市民健康まつりにて、健康に関する啓発活動を実施しました。 ・受動喫煙防止対策として、市内小学校6年生を対象に流山市医師会の医師による健康づくり講座(禁煙)を行いました。	・市民の健康づくりを推進するため、今年度においても、ヘルスアップ教室、市民健康まつり、受動喫煙防止対策として小学生を対象とした健康づくり講座(禁煙)、保育所や学校等と連携した食育推進事業としてパネル展示を実施します。						

疾病の早期発見 主管課: 健康増進課、保険年金課 関連課: なし

予防接種事業	感染症の発生及び蔓延を予防するための予防接種を行い、感染症による疾病の予防及び公衆衛生の向上を図ります。令和3年度まで、風しんの抗体保有率の低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性に対し抗体検査を行い、抗体価の低かった方に対し定期予防接種を行う、風しん第5期予防接種を実施します。令和2年度からは、ロタウイルスワクチンを定期予防接種として開始します。また、特別な理由により免疫を喪失した子に対する任意予防接種時の費用の助成を開始します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	拡充	599,011	614,793	23,496	657,336	16,593	640,743
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
接種率(A類; 風しん風しん1期)(%)	99.2	94.4	95.0	接種率(B類: 高齢者インフルエンザ)(%)	42.5	46.5	42.5
接種率(A類: 麻しん風しん2期)(%)	97.6	97.4	95.0				
R1年度の取組みと評価_改善点	R2年度の現状_課題_取組み						
風しん抗体検査、第5期風しん予防接種の接種率を上げるために、市内医療機関との連携の他、教育委員会や商工会等の対象者と関係する機関に接種勧奨を行い、周知に努めました。その他の予防接種についても、安全で適切な実施や接種率の確保に努めました。今後も継続して周知・啓発を実施していく必要があります。	引き続き、風しん抗体検査を含めた定期接種の安全で適切な実施に努め、対象者への周知と接種率の向上に努めます。 10月から開始するロタウイルス感染症予防接種を確実に実施できるように進めていきます。						



主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



疾病の早期発見 主管課：健康増進課、保険年金課 関連課：なし

健康増進事業	健康増進法に基づき、健康に関する知識の向上、生活習慣の改善に努め、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査や各種がん検診を実施します。令和2年度から胃がん検診に新たに内視鏡検査（50歳以上対象）が加わります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	拡充	286,308		252,811	52,826	332,509	19,737	312,772
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
がん検診精密検査受診率(精検受診者/要精検者)(%)	83.8	72.4	85.0	がん検診精密検査未把握率(%)		13.2	14.8	13.0
訪問指導件数(件)	139	114	50					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
精密検査対象者への個別通知や電話・訪問等による受診勧奨を行いました。集団検診では、ほぼ全数を把握できました。今後は個別検診の精密検査の受診勧奨にも力を入れていく必要があると思われます。				引き続き精密検査対象者への受診勧奨と結果把握に努めます。通知に反応のない方への再勧奨のため、看護職による訪問指導を計画しています。 新型コロナウイルス感染症による一部検診の中止により、訪問指導件数の減少が見込まれます。				

特定健康診査等事業	国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査や特定保健指導を実施します。生活習慣病の予防に努め、流山市国民健康保険データヘルス計画に基づき、令和2年度から新たに糖尿病性腎症重症化予防プログラムを開始し、被保険者の健康と医療費の適正化を目指します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	継続	131,352		122,549	20,621	143,809	143,809	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
AI分析による特定健診受診勧奨通知(件)	2,734	26,145	26,000	特定健診受診率(%)		46	R2年11月頃確定	51
特定保健指導利用勧奨訪問数(件)	147	155	170	特定保健指導利用率(%)		8	R2年11月頃確定	30
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・特定健診未受診者へのAI分析による特定健診受診勧奨通知を26,145名に送付し、うち5,337名が受診し、受診率向上に繋がりました。 ・特定保健指導の実施体制について、委託先である流山市医師会と検討を行い、特定保健指導未利用者に対して、市の保健師、管理栄養士が161名に未利用者訪問をし、うち35名に家庭訪問による特定保健指導を実施しました。 ・流山市医師会と年4回検討会を実施し、「流山市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を作成しました。				・引き続き特定健診未受診者へ受診勧奨を行うため、より効果的な通知内容や対象者抽出方法等を検討していきます。 ・特定保健指導の実施体制について、委託先である流山市医師会と連携を図り、未利用者については、市の保健師、管理栄養士の家庭訪問による特定保健指導を実施します。 ・「流山市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を広く周知し、実施体制の構築を図ります。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課 関連課：なし

保健センター施設整備事業	母子や成人の健(検)診、健康相談・教室等の各種保健事業のほか、平日夜間・休日診療所を併設し、地域保健の拠点としての機能を担う保健センター(昭和62年3月竣工)について、計画的な改修整備を行い、施設設備の利便性の向上と長寿命化を図ります。令和2年度 構内舗装路面改修工事、エレベーター更新実施設計等 令和3年度 エレベーター更新工事、3階男子トイレ洋式化改修工事 令和4年度 給排水設備更新及び調理室給湯器改修実施設計、LED化改修工事等							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	継続	0		0	0	16,222	14,500	1,722
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし				保健センター構内舗装路面改修工事、エレベーター更新実施設計を実施します。				

健康危機管理整備事業	県や関係機関との連携・協力のもと、災害や新型インフルエンザ等感染症など、市民の生命や健康を脅かす健康危機が発生した場合に備え、健康危機管理体制を構築します。災害発生時に備え、救護所用の医療資器材や医薬品の備蓄を実施するなど、医療救護体制の整備を行うとともに、新型インフルエンザ等感染症の発生に備え、ワクチンの住民接種体制の整備、感染者に接触する職員等の個人防護服や消毒薬等の備蓄など、新型インフルエンザ等感染症に対する対応体制等を構築します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	継続	8,300		7,993	4,909	1,270	0	1,270
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
災害医療対策会議実施回数(回)	3	0	1	ランニング備蓄店舗数(件)		31	31	31
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型インフルエンザ等感染症発生に備え、備蓄用個人防護具、マスク等の更新を実施しました。 ・令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、各自治会に感染症予防チラシを配布するとともに、市民が利用する公共施設、学校、保育所、学童保育所等にアルコール消毒剤を配置しました。また、感染者の増加による市民の不安軽減に対応するため、新型コロナウイルス感染症相談窓口を開設し、新型コロナウイルス相談専用ダイヤルを設置しました。 ・流山市医療救護マニュアルに基づき、流山市総合防災訓練において、流山市医師会・流山市歯科医師会・流山市薬剤師会とともに救護所開設訓練を実施しました。また、流山市薬剤師会とランニング備蓄業務委託契約を締結し、市内31か所の薬局で医薬品の備蓄を実施しました。加えて、救護所に配備する災害用備蓄衛生材料を購入しました。				・流山市医療救護マニュアルに基づき、引き続き流山市薬剤師会とランニング備蓄業務委託契約を締結し、市内の薬局で医薬品の備蓄を実施します。また、救護所に配備する災害用備蓄衛生材料を購入していきます。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



地域医療体制や健康危機管理体制づくり

主管課：健康増進課、消防防災課

関連課：なし

医療体制整備・確保事業	平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急における初期診療・応急処置（第1次救急）、市内3病院における第2次救急など、流山市医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、必要な医療提供体制の整備・確保を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	拡充	76,517		76,548	3,507	83,985	3,032	80,953
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
平日夜間・休日診療所開設日数(日)	365	366	365	平日夜間・休日診療所、夜間小児救急医療、第2次救急医療利用者数(人)		5,140	5,467	-
				看護師学校修学資金貸付金申請件数(件)		-	-	20
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
市内の病院等における看護師等の確保に資するよう、病院内保育を運営をする病院に対する補助金制度のほか、令和2年度から、資格取得後に市内に勤務しようとする看護師等の養成施設の在学者に対する修学資金貸付金制度を創設しました。				病院内保育を運営する病院に対する補助金制度の利用、二次救急医療機関の診療体制の確保及び平日夜間・休日診療所終了後の夜間小児初期救急医療の確保に努めます。 看護師等の養成施設在学者に対する修学資金貸付制度の活用を図ります。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	「日ごろから何らかの学習活動（生涯学習）を行っていますか」に「はい」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	46.1	46.1	%	↑
学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	「学びたいときに学べる環境が整っていると思うか」に「整っている」「どちらかといえば整っている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	31.8	30.6	%	↑

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習機会の充実を図るべく、多様な主体に向け、多角的な内容を、様々な担い手により実施してきました。市民ニーズに応じた事業を多く実施している中で、より効果的に運営していくことが課題と考えます。</li> <li>より安心して快適に生涯学習に取り組むことができるよう、施設の改修や設備の拡充を行いました。子ども向けの図書やエレベーターの改修などにより促進されていると考えますが、まだ整備を行う必要がある部分が見受けられることから、今度も計画的に実施していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的に生涯学習事業の推進を図る中では、対象が増えていることから、子どもたちに対する支援を行う必要があると考えます。体験的な学習の事業である「夏休み親子チャレンジ教室」などについて、前年度の反省を生かしながら、内容の充実を図ります。</li> <li>生涯学習施設の整備充実については、各施設の状況を確認しながら、引き続き計画に基づき改修等を実施していきます。</li> </ul>

多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館 関連課：なし

夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業	夏休み期間に保護者が日中働いている等の理由により不在となる家庭の小学生（1年生から3年生までの児童）の「居場所」を確保するため、市内3校（おおたかの森小学校、小山小学校、南流山小学校）で体験学習プログラムなどを行います。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
公民館	継続	4,069		3,749	2,856		4,200	2,730	1,339
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
募集定員(人)	113	162	-	参加延べ人数(人)		1,117	2,346	-	
イベント回数(件)	40	42	-						
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの宿題や読書の時間の他、竹細工や紙芝居、科学実験等のイベントを各校14回組み込み、幅広い学習プログラムを実施しました。</li> <li>子どもたちからは、沢山のイベントがあつてとても楽しかった。友達ができて良かったなどの感想がありました。保護者からも、大変好評だったというアンケートや他の会場でも開催してもらいたいとの要望がありました。</li> <li>居場所づくりのリーダー、スタッフの確保の難しさや育成等の必要性があります。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため、令和2年度の「夏休み子ども教室」事業は中止します。</li> </ul>					

おおたかの森こども図書館 資料充実事業	幼い頃から本に親しみ、生涯を通じた読書活動のステップとするため、子どもの読書活動推進計画に基づくブックスタート関連事業として、おおたかの森こども図書館から市内子育て関連施設に「乳幼児向けブックセット」を設置します。令和2年度 保育園、幼稚園など、計96施設に設置します。新設保育園（各66冊×10施設）・2巡目施設 保育園用（各15冊×59施設）、幼稚園用（各15冊×10施設）、赤ちゃん用（各15冊×17施設）								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
図書館	継続	1,633		1,585	801		2,484	0	2,484
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
ブックセット設置施設数(施設)	30	22	96	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数(人)		9,520	10,456	11,740	
ブックセット設置冊数(冊数)	1,967	1,335	1,950						
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<p>「流山市子どもの読書活動推進計画」のブックスタート関連事業として、図書館司書が選定した、乳幼児向け絵本ブックセットを市内保育所(園)・幼稚園などの子育て関連施設に平成29年度から令和元年度までの3カ年で、市内の全子育て関連施設86施設に、ブックセットを設置しました。</p> <p>2巡目となる来年度についても「流山市子どもの読書推進活動推進計画」の主要な事業として継続していきます。</p>				<p>「流山市子どもの読書活動推進計画」の主要事業として2巡目となる1年目は、全子育て関連施設に設置します。2巡目の施設については、15冊を1セットとし「新設保育園」については、基本のブックセット66冊を1セットとし設置する予定です。新設保育園が増加する期間、毎年予算が増加していきます。</p>					

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館 関連課：なし

北部公民館施設整備改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、北部公民館のエレベーターの新規設置工事を実施します。令和2年度 実施設計 令和3年度 設置工事								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
公民館	拡充	0		0	0		4,700	4,200	500
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
団体及び公民館事業による利用回数(回) ※行政報告より	5,401	5,039	5,100	稼働率(%) ※利用日数/開館日数		75	79	79	
利用者数(人) ※行政報告より	81,808	74,416	75,000	利用者満足度調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)		66	70	70	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
R1年度の北部公民館施設整備改修事業がないため、記載なし。				<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和47年度開設した北部公民館にはエレベーターが設置されておらず、2階の施設を利用することが不便利です。</li> <li>高齢者や車椅子を利用する方などが快適に施設利用ができるよう施設のバリアフリー化を推進することが課題です。</li> <li>北部公民館にエレベーターを新設し、安全で快適な生涯学習環境を提供するため、令和2年度にエレベーター設置工事の設計業務を委託し、令和3年度には設置工事を行います。</li> </ul>					

主管部局 生涯学習部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館 関連課：なし

<b>東部公民館施設整備改修事業</b>		利用者に安全で快適な環境を提供するために、東部公民館のエレベーターの新規設置工事を実施します。 令和2年度 設置工事							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
公民館	継続	4,364		3,753	989	60,000	53,900	6,100	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
団体及び公民館事業による利用回数(回) ※行政報告より		3,741	3,697	3,700	稼働率(%)※利用日数/開館日数		59	58	58
利用者数(人)※行政報告より		50,693	51,681	52,000	利用者満足度調査の総合満足度4段階評価 の最高4の割合(%)		63	64	64
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>東部公民館にエレベーターを設置するため、R1年度はエレベーター設置工事の設計業務を委託しました。</li> <li>エレベーター設置工事の準備段階としての設計業務委託であるため、利用者の利便性の向上が図れるものと評価します。</li> <li>高齢者や車椅子の方にも快適に利用いただけるよう施設のバリアフリーを推進できます。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和50年度に開設した東部公民館にはエレベーターが設置されておらず、2階の施設を利用することが不便です。</li> <li>高齢者や車椅子を利用する方などが快適に施設利用ができるよう施設のバリアフリー化推進することが課題です。</li> <li>東部公民館にエレベーターを新設し、安全で快適な生涯学習環境を提供するため、令和1年度にエレベーター設置工事の設計業務委託を実施しました。引き続き、令和2年度には設置工事を行います。</li> </ul>				
<b>中央図書館改修事業</b>		利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した図書館を改修します。 令和2年度 受変電・発電設備及び消火栓ポンプの更新工事を行います。中央図書館閲覧室の机・椅子の更新を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
図書館	継続	3,371		2,977	594	39,180	27,600	11,580	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
工事進捗率(%)		-	50	100					
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
受変電・発電設備及び消火栓ポンプの更新工事に係る実施設計委託を行いました。					受変電・発電設備及び消火栓ポンプの更新工事を行います。中央図書館閲覧室の机・椅子を新たに購入します。				
<b>(仮称)南流山地域図書館整備事業</b>		南流山分館に代わり、南流山中学校校庭敷地内に児童センターと一体の複合施設として、(仮称)南流山地域図書館を整備します。 令和2年度 実施設計、建設工事 令和3年度 建設工事							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
図書館	継続	31,167		8,910	1,780	174,022	126,900	47,122	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
工事進捗率(%)		-	30	60					
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
プロポーザルにより実施設計委託業者を決定し、基本設計・実施設計に着手しました。また、パブリックコメントを実施しました。					実施設計を完了し、工事施工業者を決定し工事着手します。				
<b>博物館改修事業</b>		利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した博物館を改修します。令和2年度受変電・発電設備及び消火栓ポンプの更新工事							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
博物館	継続	0		0	594	30,820	27,600	3,220	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
工事進捗率(%)		-	20	80					
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
受変電・発電設備及び消火栓ポンプの更新工事に係る実施設計委託を行いました。					受変電・発電設備及び消火栓ポンプの更新工事を行います。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 生涯学習部 施策の目的 文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	「日ごろから学習活動を行っている市民の対象分野」における「教養（語学・歴史・文学等）」「文化芸術（音楽・絵画等）」の割合（まちづくり達成度アンケート）	53.5	49.6	%	↑
市内の指定文化財等の数	国登録、県・市指定文化財の数（博物館）	50	51	件	↑

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の実績 課題 取組み
<p>・新たな文化芸術の拠点「スタートおおたかの森ホール」の開館により、国内外の一流アーティストの公演を身近に鑑賞できるようになりました。</p> <p>このことは、毎月実施した開館記念事業により、広く市内外に知らしめることができたことと評価しており、引き続き、上質な文化芸術の鑑賞機会を作っていきます。</p> <p>スタジオ等の施設については、利用率が低いため、改善の余地があります。</p> <p>・流山市文化祭や市民音楽祭などの実施により、市民主体の文化芸術活動を展開しています。引き続き協力・支援に努めるとともに、気軽に参加できるような、新たな方策について検討する必要があります。</p> <p>・国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復に向けた基本設計を実施しました。</p> <p>・流山2丁目閻魔堂を市指定有形文化財（建造物）に指定しました。</p>	<p>・おおたかの森ホールについて、ホール以外の機能を積極的にPRし、利用率の向上に努めます。</p> <p>・新しい取り組みとして、おおたかの森駅周辺に自由に弾くことができるピアノを設置します。</p> <p>・国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復に向けた実施設計を進めます。</p> <p>・国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の実施設計をもとにした修復工事を進めます。</p>

市民主体の文化芸術活動の促進 主管課：生涯学習課 関連課：なし

駅ピアノ設置事業		市民が自由に演奏できる駅ピアノを流山おおたかの森駅高架下「こかげテラス」に設置し、文化芸術の振興を図ります。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
生涯学習課	新規	0	0	0	281	0	281	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし				設置先の首都圏新都市鉄道(株)及び東神開発(株)と協定を結んだ上で、ピアノの寄贈を受け、整備の上設置をします。 ピアノの管理については、スタートおおたかの森ホールの指定管理者と連携し、利用者が安心して演奏できるように整備します。				

優れた文化芸術に親しめる機会の充実 主管課：生涯学習課、公民館 関連課：なし

一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明改修事業		利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明の改修を進めます。 令和2年度一茶双樹記念館 トイレ改修工事						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
博物館	継続	5,000	5,126	701	937	0	937	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
老朽化した杜のアトリエ黎明の万年塀改修工事を行い、目隠しフェンスを設置・万年塀の補修を行い、利用者の安全を図りました。				一茶双樹記念館トイレ改修工事を行い、和式便器を洋式便器に取替えて、利用者が安心して利用できるように努めます。				

おおたかの森ホール指定管理者事業		平成31年4月に開館した施設の管理運営を指定管理者に委託し、管理運営の効率化と良質な市民サービスの確保を図ります。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
生涯学習課	継続	96,626	94,919	6,312	97,794	3,600	94,194	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
自主事業開催回数(回)	-	18	-	ホール稼働率(%)	-	45	50	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者が協定に基づき施設の適正な管理運営を行いました。</li> <li>新規施設のため、施設のPR及び情報発信を行います。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の安全、安心な利用に配慮し、引き続き施設を適正に管理運営します。</li> <li>施設のPR及び情報発信に力をいれることにより、芸術文化活動への興味・関心の向上を図ります。</li> </ul>				

おおたかの森ホール開館記念事業		スタートおおたかの森ホールの開館を記念して、市民等への良質な音楽の提供と施設の知名度向上を目的として、1年を通じた事業として開館記念コンサートを開催します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
生涯学習課	継続	27,728	25,595	6,312	0	0	0	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
オープニングコンサート開催回数(回)	-	11	-	オープニングコンサート鑑賞者数(人)	-	5,071	-	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
・施設の特性を生かし、観賞型事業としてクラシックコンサートを公演し、延べ5,000人を超える入場者がありました。				前年度で終了したため記載なし。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える



歴史的文化的遺産の保存・活用

主管課：図書館、博物館

関連課：生涯学習課、流山本町・利根運河ツーリズム推進課

<b>指定等文化財保存活用整備事業</b>		市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。 令和2年度 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の実施設計及び保存修復工事、令和3年度 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を行います。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
博物館	継続	7,000		2,992	701	17,000	15,200	1,800
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				現地見学会の参加人数(人)		-	122	100
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事に伴う基本設計の委託をしました。				令和元年度の基本設計に基づき、保存修理に向けた実施設計を実施します。実施設計をもとに保存修復工事を実施します。				
<b>新設中学校（大畔地区）発掘調査事業</b>		大畔地区に建設される新設中学校建設工事に先立ち、工事・開校のスケジュールに間に合わせるために、埋蔵文化財発掘調査の一部を発掘調査機関に委託します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
博物館	新規	0		0	6,592	173,580	0	173,580
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし				新設中学校工事開始前に発掘調査を終了します。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	「健康維持のために日ごろから行っていること」における「汗をかく程度の運動を週1、2回程度習慣的に行っている」の割合（まちづくり達成度アンケート）	35.4	37.1	%	↑
スポーツ施設の利用者数	利用者数（スポーツ振興課）	1,610,133	1,405,139	人	↑

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地等誘致事業では、東京2020大会でのオランダ代表チームの事前キャンプ誘致に向けて、千葉県を通じて積極的な働きかけを継続しました。令和元年10月6日に第28回流山ロードレース大会を実施し、市内外から過去最高のランナーでにぎわいました。</p> <p>施設整備では、おおたかの森スポーツフィールド拡張整備工事及び北部柔道場建替事業の実施設計を着実に進めました。</p> <p>令和元年度は、ハード事業、ソフト事業ともに順調に進展してきました。特に流山ロードレース大会では、天候にも恵まれ約4,400人のランナーに発展する流山の市街地を堪能していただきました。また、相次ぐ台風被害の中でも施設整備を予定通り完成させられたことは高く評価してよいと思います。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策では、必要な対策を取りながらスポーツ施設を運営してまいりました。また、令和2年度に向けては北部柔道場建替事業が実施されることから、地権者及び利用者に配慮しながら着実に事業を進めることが肝要です。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、東京2020大会の実施が令和3年度に延期となった他、市内の各体育施設についても安全な施設の管理・運営が一層求められています。北部柔道場については、老朽化により建て替えが急務となっています。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地等誘致事業については、令和3年度の事前キャンプ実施を前提に、千葉県を通じてオランダ側に積極的に働きかけ、早期に覚書（MOU）を締結することが課題です。また、施設整備では、北部柔道場建替事業、南部柔道場エアコン設置、流山市コミュニティプラザのテニスコート張替えなど多くの事業を進めながら、令和3年度からの次期指定管理者選定を行うことから、効率的な事務執行が必須です。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、安全なスポーツ施設の運営やスポーツ振興事業を実施してまいります。また、各施設整備や次期指定管理者選定を適切に進めてまいります。</p>

スポーツ活動の促進 主管課：スポーツ振興課 関連課：なし

東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地等誘致事業	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に際し、オランダ代表チームの事前キャンプを受け入れます。また、オランダとの交流事業やスポーツ遺産の創出を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
スポーツ振興課	継続	11,445	609	5,274	25,140	0	25,140	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				交流事業の参加者数(人)		4,300	400	400
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるオランダ代表チームの事前キャンプ誘致に向けて、千葉県を通じてオランダ側と協議を進めました。女子バレーボールは予選敗退したため事前キャンプはなくなりましたが、女子車いすバスケットボールについては具体的な協議が進展しています。オランダ側の回答がなかなか来ないなかでも、市としては千葉県を通して積極的な働きかけを続けました。				新型コロナウイルス感染症の影響で、東京2020パラリンピック競技大会は令和3年度に延期となりました。当事業は不透明な要素が多いですが、早期にオランダ側と覚書（契約）締結できるよう、協議を進めてまいります。併せて、万一の場合にもトラブルのないよう、慎重に業務を進めていくことが必要になります。今年度は、新型コロナウイルス感染症に留意しながら各種準備を進めてまいります。				

スポーツ環境の整備 主管課：スポーツ振興課 関連課：なし

コミュニティプラザ改修事業	利用者が安心・安全で快適な施設利用を図るため、屋外テニスコートの人工芝及び屋内テニスコートのシートの張り替えを行います。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
スポーツ振興課	継続	154	996	3,296	20,000	18,000	2,000	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				コミュニティプラザ年間利用者数(人)		157,737	157,706	158,000
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
令和元年度は、屋外テニスコート部分補修及び研修室の机・椅子を購入し交換を行いました。利用者が安心・安全で快適な施設利用をし満足頂けるよう必要な施設の維持管理に努めています。引き続き、老朽化する施設を計画的な改修・修繕により維持し、施設の長寿命化及び利用者の満足度を図ってまいります。				屋内外テニスコートはコート面の老朽化が進んでいます。屋内外ともに、コート面の波打ちや摩耗が見られることから、コートの張替えが課題です。発注時期を工夫することで利用者に不便のないようにしながら、屋内外テニスコートの張替えを実施します。				

スポーツフィールド整備事業	おおたかの森スポーツフィールドを拡張し、少年野球・ソフトボールなどの球技を目的とした多目的グラウンド1面を整備するとともに、東側道路を挟んだ向かい側に駐車場を整備します。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
スポーツ振興課	継続	155,710	135,287	5,610	0	0	0	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				スポーツフィールド利用者数(人)		377,385	431,894	434,000
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
おおたかの森スポーツフィールド整備工事及び駐車場等整備工事を実施しました。令和2年4月からの拡張部分及び駐車場の供用開始に向けて、予定通り工事が完了しました。利用団体の意見を聞きながら工事を進め、安全で快適なスポーツフィールドの供用に努めました。				前年度で終了したため記載なし				

体育施設改修・整備事業	体育施設の利用者の安全性・快適性の確保を図ります。令和2年度 南部柔道場エアコン設置工事 令和3年度 総合運動公園野球場観覧席設置実施設計 令和4年度 総合運動公園野球場観覧席設置工事							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
スポーツ振興課	拡充	0	0	1,978	8,000	6,000	2,000	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				屋内外体育施設利用者数(人)		1,176,405	1,222,151	1,225,000
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
新規事業のため記載なし				地球規模の気温上昇により夏季の熱中症対策がますます重要になってきていますが、南部柔道場にはエアコンがなく、扇風機で暑さをしのいでいます。高齢の利用者もいる中で、南部柔道場にエアコンを設置することが課題です。年度早期に南部柔道場にエアコンを設置します。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る



スポーツ環境の整備

主管課：スポーツ振興課

関連課：なし

北部柔道場建替事業		老朽化が進む北部柔道場を建替え、空調設備やトイレを充実させて、施設利用者の安全性・快適性を向上させます。令和2年度 北部柔道場建替工事							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
スポーツ振興課	継続	2,723		2,420	6,592		50,000	37,500	12,500
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
北部柔道場建替工事進捗率(%)		0	0	100	北部柔道場利用者数(人)		16,936	15,248	0
R1年度の取組みと評価 改善点					R2年度の現状 課題 取組み				
令和2年度の北部柔道場建て替えに向けて、実施設計を行いました。適切な内容で実施設計が行われ、地権者や利用者への説明も行ったことから、令和2年度の建て替えに向けて順調に進展しました。引き続き、地権者や利用者へ配慮しながら北部柔道場建替事業を進めていきます。					北部柔道場は老朽化が進んでいることに加え、トイレが外付けであることから利用者に不便な状態が続いています。利用者に安全快適な施設を提供するため、北部柔道場を早期に建て替えることが課題です。令和2年7月から建替工事に入り、令和2年度中の完成、令和3年度からの供用開始を目指します。				



主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
人口1人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.17	5.15	m <sup>2</sup>	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	78.8	75.8	%	↑

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>公園・緑地・街路樹については、適正な維持管理を行いました。また、既存公園の改修を市民ニーズの把握に努め実施しました。流山グリーンチェーン戦略により、新たなみどりの創出に努めました。</li> <li>公園や緑地、街路樹の維持管理については、管理区域を設定し樹木の剪定等を行うことでみどりの保全に努めました。またグリーンチェーン認定の取得率を向上させるため事業者へ丁寧で粘り強い指導を行いました。</li> <li>みどりの保全・創出に向けた公園や街路樹の適正な維持管理やグリーンチェーン認定の取得率向上を目指していく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園・緑地・街路樹等については、適正な維持管理を行い、市民が安全・快適に利用のできる良質なみどりを保全します。また、流山グリーンチェーン戦略により、住宅や店舗などにより多くのみどりを取り入れていただき、新たなみどりの創出に努めます。</li> </ul>

みどりの保全 主管課：みどりの課、道路建設課 関連課：農業振興課

まちなか森づくり事業	街路樹の植栽や公共施設への植樹を行うとともに、市全体の環境価値を高めるため、「流山グリーンチェーン戦略」に基づいた緑化の啓発に努め、街なかのみどりの充実を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	16,501		15,618	2,967	6,000	0	6,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率（緑化面積／敷地面積×100%）（%）	-	-	12					
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか森づくりプロジェクトとして、南流山5丁目の坂川用水路跡地に植栽・植樹を行いました。また、十太夫、市道293号線一部の街路樹に、植栽を行いました。</li> <li>流山市グリーンチェーン認定が10件あり、まちなかの緑化面積が4201m<sup>2</sup>増加しました。</li> <li>今後も、計画的に植栽及び植樹を行い、街なかのみどりの充実を図りたい。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の植栽や公共施設への植樹を行います。</li> <li>計画的に街路樹を植栽するとともに、グリーンチェーン戦略を推進し、まちなかのみどりを増やすことで、環境価値の向上に努めます。</li> <li>既存街路樹の植栽を行います。流山おおたかの森周辺地区の植栽を行います。</li> </ul>				

良質なみどりの拠点保全事業	土地所有者から借り受けている市民の森を保全するため、用地（中野久木散策の森）を取得します。また、大畔の森の自然環境を保全し、自然に触れながら散策等をできるように、保全整備を行います。 令和2年度 用地取得（中野久木散策の森）、園路整備・樹木剪定等（大畔の森） 令和3年度 用地取得（中野久木散策の森） 令和4年度 用地取得（中野久木散策の森）							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	6,677		8,115	3,560	150,286	123,400	26,886
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
中野久木散策の森の用地取得面積（m <sup>2</sup> ）	-	-	2,376	公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（%）		75.8	71.7	73.0
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>中野久木散策の森の地権者と、用地取得に関する協議を行いました。</li> <li>大畔の森内の倒木処理等の作業を行いました。</li> <li>市民の森の地権者からの理解を得られるとともに、予定していた倒木処理等の作業も完了し、市内のみどりの保全と環境維持に寄与できたと考えます。</li> <li>市民の森や借地公園の地権者と、良好な関係を築いていく必要があります。</li> <li>ひきつづき、みどりの保全と環境維持に努めていく必要があります。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>みどりの保全を行うため、市内の重要なみどりを把握する必要があります。</li> <li>引き続き市民の森の地権者と良好な関係を築きます。</li> <li>市内の樹林地の規模や状況等の実態調査を行い「みどりのカルテ」の作成に着手します。</li> <li>引き続き、中野久木散策の森の取得を行います。</li> <li>大畔の森の自然に親しめる環境を整えるため、遊歩道などの整備を行います。</li> </ul>				

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	644		582	10,811	1,098	180	918
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
講習会の開催回数（回）	3	3	10	講習会への参加人数（人）		65	47	235
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化に関する講習会を2回開催しました。</li> <li>ながれやまオープンガーデンの支援を行いました。</li> <li>コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、ボランティア講習会を中止したことで、予定していた緑化啓発が十分行えませんでした。</li> <li>オープンガーデンによる地域の景観向上や交流人口の増加に寄与できたと考えます。</li> <li>緑化に関する講習会は、ニーズの把握を行うとともに、開催回数や内容の充実を図ります。</li> <li>オープンガーデンへの支援を引き続き行います。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>みどりの保全・創出・活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成が必要不可欠であります。</li> <li>みどりの維持管理は、市民と協働で実施していく必要があります。</li> <li>緑化に関する講習会を合計で10回開催するとともに、オープンガーデンの支援を行います。</li> <li>みどりの活性化等に関する協議会（みどりの委員会）を設置します。</li> </ul>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



**みどりの創出** 主管課: みどりの課、道路建設課 関連課: なし

<b>新たな賑わい空間創出事業</b>	土地区画整理事業の進捗に合わせ、また、地域のニーズを考慮し、公園及び緑地の整備・再整備事業を実施します。 令和2～4年度 土地区画整理地区内の公園・緑地整備、総合運動公園再整							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	60,376		9,451	8,966	139,696	107,300	32,396
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		75.8	71.7	73.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理地区内の公園及び緑地整備として、西平井・鯉ヶ崎地区2号緑地整備工事、鯉ヶ崎・思井地区1号街区公園整備工事等を行いました。</li> <li>土地区画整理の進捗、地域のニーズに合わせて、緑地及び公園整備を行いました。</li> <li>土地区画整理の進捗により、公園・緑地整備時期の変更があるため、土地区画整理事業者と密に協議を行うようにします。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理地区内の公園・緑地整備、総合運動公園の再整備等を行っています。</li> <li>土地区画整理事業の進捗に合わせて良好な住環境の提供が求められており、地域のニーズに合わせて公園施設整備を行うようにします。</li> <li>土地区画整理地区内の緑地整備工事及び街区公園の委託、総合運動公園再整備委託及び再整備工事、南流山中央公園再整備委託を行います。</li> </ul>				

<b>安心安全な公園づくり事業</b>	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。 令和2年度 トイレ改修(南流山3号公園、東部近隣公園)、都市公園遊具点検及び長寿命化計画策定委託、既存公園施設整備工事 令和3～4年度 公園遊具施設安全対策工事、既存公園施設整備工事							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	64,303		56,431	16,501	120,071	15,800	104,271
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		75.8	71.7	73.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。既存公園の複合遊具新設・更新を行いました(おおたかの森北2号公園、三輪野山近隣公園)。</li> <li>既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検結果を踏まえて、現場確認し、更新・補修を行いました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行っています。既存公園の複合遊具等の新設・更新を行います。</li> <li>公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行うようにします。</li> <li>既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検を行います。南流山3号公園及び東部近隣公園のトイレ改修を行います。公園施設長寿命化計画を策定します。</li> </ul>				

**生物多様性の保全・回復** 主管課: 環境政策課 関連課: なし

<b>生物多様性地域戦略推進事業</b>	生物多様性ながれやま戦略(第二期)に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する啓発等を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
環境政策課	継続	2,227		2,248	7,013	2,391	0	2,391
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				生物多様性啓発イベントの参加者数(人)		-	97	100
				市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合(%)		79	76	77
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>モニタリング調査を実施するとともに、グリーンウェイブ事業、まちなか森づくり事業により、市内公共施設等で植樹を行いました。</p> <p>また、市の鳥に関する啓発及び生物多様性に関する啓発・保全に関する事業として、生物多様性シンポジウム、グリーンフェスティバル及び市役所市民ギャラリーにおいてパネル展示等の啓発を行いました。</p> <p>評価としては、生物多様性ながれやま戦略(第二期)に基づき、概ねの事業展開ができました。</p>				<p>モニタリング調査を実施するとともに、グリーンウェイブ事業、まちなか森づくり事業により、市内公共施設で植樹を行います。</p> <p>市の鳥に関する啓発及び生物多様性に関する啓発・保全に関する事業として、オオタカパネル展等においてパネル展示を行います。</p> <p>課題としては、生物多様性地域戦略においては、50年の計画期間であることからモニタリング調査におけるモニタリング調査員の育成とともに重点地区・拠点を拡大したことに伴う各拠点における拠点同士のネットワークの構築が課題です。</p>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	83.0	82.7	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	42.5	40.3	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	58.6	61.0	%	↑

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>良好な景観の形成に努めました。</li> <li>流山市都市計画マスタープランを改定しました。</li> </ul> <p>(評価・改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>景観計画に基づき指導を行い、良好な景観形成を誘導しました。</li> <li>広告物等についても、広告物条例に基づき適正な規制と啓発に努めました。</li> <li>流山市都市計画マスタープランを令和2年4月1日に公表しました。</li> </ul>	<p>(現状と主要課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>良質な景観形成の促進に関し、取組みの実効性を高めていくため、市民・事業者及び行政がその責務により連携・協働した街並みを創出していく必要があります。</li> <li>地域の実情に応じた土地利用を誘導するため、都市計画の見直しを行います。</li> </ul> <p>(取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>良質な景観形成の推進に向けた景観シンポジウムを開催し、流山市景観計画の周知及び意見交換を行います。</li> <li>引き続き、良質な広告物等の表示・設置の誘導を図ります。</li> <li>屋外広告物と同様の効果目的を有する特定屋内広告物についても、今年度より施行します。</li> <li>市内の都市計画について、区域区分や用途地域等の検討を行います。</li> </ul>

つくばエクスプレス沿線整備の促進 主管課：都市計画課、まちづくり推進課 関連課：なし

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	継続	603,091		705,742	631	482,632	459,400	23,232
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
面積ベース進捗率(%)	約38	約41	約46					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図りました。</li> <li>令和元年度末の進捗率は、面積ベースで約41%となりました。</li> <li>8月13日には、土地区画整理法の規定により事業計画の変更が告示されました。</li> <li>都市計画道路3・3・28号中駒木線について、未開通となっていた東葛病院から宮園までの区間が3月30日から供用開始し、本路線は全線開通となりました</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図ります。</li> <li>早期事業完了を目指し、引き続き千葉県と協力して地権者との合意形成を図っていきます。</li> </ul>				

木地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、木地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	継続	549,789		540,510	351	212,267	165,700	46,567
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
面積ベース進捗率(%)	約90	約98	約99					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県が施行する、木地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図りました。</li> <li>令和元年度末の進捗率は、面積ベースで約98%となりました。</li> <li>一部未整備となっていた都市計画道路3・4・35号木流山線について、県道交差点から商業施設までの区間が11月に完成しました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県が施行する、木地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図ります。</li> <li>木地区では、令和2年度末の工事概成を目指し、引き続き千葉県と協力して全地権者との合意形成を図ってまいります。</li> </ul>				

市街地のまちづくり 主管課：都市計画課、まちづくり推進課 関連課：なし

開発許可管理システム構築事業	紙ベースで管理している開発登録簿等の台帳を電子化し、統合型GISの流山市地図情報共有システムを用いて窓口業務及び開発審査等の効率的な運用を行います。 令和2年度電子化及び管理システム構築 令和3年度以降 保守点検							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
宅地課	新規	0		0	0	9,680	2,599	7,081
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
開発登録簿等の台帳の電子化率(%)	-	-	100	開発登録簿の写しの1件あたりの提供時間(分)		45	45	15
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし				<ul style="list-style-type: none"> <li>開発許可台帳は50年程度経過していることから、劣化が著しい状況です。電子化を図ることで開発情報の保全を行います。</li> <li>電子化による開発情報等の検索時間の短縮を図ることで、迅速な窓口対応や市民サービスの向上とともに、職員負担の軽減を目指します。</li> </ul>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



市街地のまちづくり 主管課：都市計画課、まちづくり推進課 関連課：なし

生産緑地に関する図書作成事業	指定から30年を迎える生産緑地について、所有者の意向に基づき、特定生産緑地として指定するための準備や手続きを行います。令和2年度 意向調査及び確認、現況確認 等 令和3年度 事前相談・本申請理、図書作成 等 令和4年度 図書作成、審議会、指定通知発送 等							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
都市計画課	新規	0		0	0	5,328	0	5,328
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし。				<ul style="list-style-type: none"> <li>生産緑地地区に指定してから30年を迎える地区において、特定生産緑地地区に移行する手続きが必要となります。</li> <li>生産緑地所有者に対し、特定生産緑地制度に関する事項について、わかりやすい説明を行い、円滑に手続きを進めます。</li> <li>特定生産緑地の申請書類について、事前相談の期間を設け、本申請の際、受付業務を円滑に行うよう努めます。</li> </ul>				

都市計画見直し事業	地域の実情に応じた土地利用を誘導するため、区域区分、用途地域等の都市計画の変更を行います。令和2年度 現況確認、説明会、素案縦覧、公聴会 等 令和3年度 法定図書作成、法定縦覧、審議会 等							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
都市計画課	新規	0		0	0	19,000	0	19,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				流山市は住み心地の良いまちであると思う市民の割合(%)		82.9	81.7	83.0
				これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合(%)		83.0	82.7	83.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし。				<ul style="list-style-type: none"> <li>区域区分や用途地域等の現況確認や、説明会を実施します。</li> <li>素案縦覧や公聴会を開催します。</li> </ul>				

景観形成の促進 主管課：都市計画課 関連課：みどりの課

景観形成推進事業	本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観シンポジウムを隔年で開催し、「流山市景観計画」の周知と意見交換を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
都市計画課	継続	144		108	9,973	444	0	444
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
景観条例第11条に基づく事前協議件数(件)	379	505	450	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		75.9	74.2	77.0
景観賞の応募件数(件)	5	-	10	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		58.7	61.0	62.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>景観条例に基づき、適切に指導を行いました。</li> <li>景観計画及び景観計画ガイドラインを活用し、市民及び事業者に対し、引き続き良好な景観形成の誘導と啓発を推進します。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>景観条例に基づき、景観計画に適合するよう適切に指導を行います。</li> <li>景観シンポジウムを開催し、市民等が景観を形成する主体として、自らの果たすべき役割について理解を深め、興味を抱けるよう啓発を図ります。</li> <li>良好な景観の形成に寄与し、貢献した事業者等を景観賞として表彰することで、市民意識の高揚を図ります。</li> </ul>				

広告物等推進事業	良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害を防止するため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。令和2年度は、特定屋内広告物の規定を施行します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
都市計画課	継続	4,458		3,959	9,327	4,237	2,899	1,338
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数(件)	-	87	90	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		75.9	74.2	77.0
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数(件)	-	1,383	1,200	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		58.7	61.0	62.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>広告物等を掲出する広告主及び事業者に対し、条例に基づく許可等に対する手続きを通じて、適切に指導を行いました。</li> <li>景観計画及び広告物条例ルールブックを活用し、広告主及び事業者等に対し、良好な景観形成の誘導と啓発を図る必要があります。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き広告物等を掲出する広告主及び事業者に対し、広告物が無秩序に掲出されないよう広告物条例の基準に適合するよう適切に指導を行い、良好な景観の形成を目指します。</li> <li>特定屋内広告物が施行されることから、屋外広告物を含めた制限内容等について周知活動を行います。</li> </ul>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



景観形成の促進

主管課：都市計画課

関連課：みどりの課

流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業		・流山おおたかの森駅周辺の南口都市広場や市野谷水鳥の池において、良質な空間を形成し、更なる賑わいを創出します。 ・令和2年度：南口都市広場（インターロッキング、植栽、LED照明）、市野谷水鳥の池（ローポールライト）						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	拡充	0		0	0	270,000	239,000	31,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
工事進捗率 (%)	-	-	100					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし。				・流山おおたかの森駅周辺は、都市計画マスタープランで拠点に位置付け、回遊性と賑わいを創出するウォークアブルなまちづくりを推進することとしています。 ・一方で、南口都市広場が供用開始から15年が経過し一部老朽化が進んでいるなど、改修が必要な状況です。 ・南口都市広場の改修により利用者の利便性や快適性を高めるとともに、流山おおたかの森駅周辺の良質な交流空間の形成を図り、賑わいを創出します。 ・取組内容としては、南口都市広場の改修（インターロッキング、植栽、LED照明）及び市野谷水鳥の池に照明の設置を行います。				

主管部局 土木部

施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	64.6	65.6	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	70.6	72.4	%	↑

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進しました。</li> <li>交通の集中する交差点対策の推進を図りました。</li> </ul> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民説明会にて計画の説明を行い周知を図りました。</li> <li>工事着手にむけ、関係機関との協議を進めました。</li> </ul> <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿道住民に向けて工程計画等に係る説明会を開き、円滑な工事の進捗に努めます。</li> </ul>	<p>【現状と主要課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口増加等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。</li> <li>歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。</li> </ul> <p>【取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進します。</li> <li>交通の集中する交差点対策の推進を図ります。</li> <li>自転車走行空間の整備に向け、自転車ネットワーク計画を策定します。</li> </ul>

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課 関連課：なし

新設小学校建設関連道路整備事業	大畔地区で進めている新設小学校建設に関連し、市道308号線の延長約300m区間において、道路の拡幅改良及び新設を行います。 令和2年度 用地取得、工事						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路建設課	継続	187,828	74,091	1,253	80,309	75,875	4,434
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	19	57	100
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備に伴う用地取得について、1名の地権者と契約を締結しました。</li> <li>将来の通学路となる道路整備のうち254mが完成しました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備に伴う用地交渉は、誠意を持って協議します。</li> <li>新設小学校の開校に向け計画通りに事業が完了するように、安全かつ円滑に道路工事を進めます。</li> </ul>			

名都借跨線橋道路拡幅改良事業	市道261号線の名都借跨線橋を含む、延長約325m区間において、歩道橋新設及び跨線橋並びに道路の拡幅改良を行います。 令和2年度 家屋調査、JR施行委託、工事 令和3年度 JR施行委託 令和4年度 JR施行委託						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路建設課	継続	282,732	34,820	2,967	331,343	309,870	21,473
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	40	41	54
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>「名都借跨線橋道路拡幅改良事業 事業期間延伸に係る説明会」を令和元年10月に実施しました。</li> <li>令和元年12月にJR東日本と本体工事の施行協定を締結しました。</li> <li>跨線人道橋の製作工事については、JR東日本との協議・調整に不測の日数を要したことから、令和2年度に繰越しました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>JR東日本と年度協定を締結し、令和5年度の事業完了を目指し、道路拡幅改良工事を進めます。</li> <li>本格的な工事着手にあたり、沿道住民に向けて工程計画等に係る説明会を開き、円滑な工事の進捗に努めます。</li> </ul>			

自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画を策定し、自転車通行空間を整備することにより、歩行者と自転車の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。 令和2年度 計画策定						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路建設課	新規	0	0	0	5,000	0	5,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
				整備率(%) = 整備済延長(m) ÷ 全体延長(m) × 100	-	-	0
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み			
新規事業のため記載なし				<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加条例に基づきパブリックコメントを実施し、市民への積極的な情報提供及び計画の必要性、基本方針、計画目標の共有を図ります。</li> <li>R3年度からの整備着手を可能にするため、R2年度内に自転車ネットワーク計画を策定します。</li> </ul>			

都市計画道路3・4・9号南流山名都借線道路改良事業	都市計画道路3・4・9号南流山名都借線の、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業区域界から富士見橋間における、延長約400m区間において、道路の拡幅改良を行います。 令和2年度 予備設計 令和3年度 測量、物件調査 令和4年度 用地取得						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路建設課	継続	0	0	0	7,843	0	7,843
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	-	-	1
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み			
R2年度から事業着手のため記載なし				<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する運動公園周辺地区区画整理事業の整備計画に合わせた事業進捗を図るため、都市計画事業認可を取得します。</li> <li>事業説明会を開催し、地元住民及び関係地権者への周知を図ります。</li> </ul>			

主管部局 土木部

施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



安全で快適な道路環境の確保

主管課：道路建設課、道路管理課

関連課：なし

道路維持補修事業		道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路管理課	継続	241,000		238,000	16,480	260,000	127,600	132,400
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
道路舗装補修延長 (m)	2,507	2,627	2,800	情報処理件数 (件)		365	344	340
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の舗装等が劣化している16路線の道路補修工事を実施しました。</li> <li>また、区画道路の舗装維持管理計画を策定しました。</li> <li>各工事において、大きく工期が遅延することなく実施することができました。</li> <li>より一層の早期発注に努め、施工時期の平準化を図ります。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>劣化の程度や緊急性等を考慮して、総合的に優先順位を判断して補修工事を実施しています。</li> <li>近年の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行速度に変化がないか注視する必要があります。</li> <li>幹線・補助幹線道路の路面性状調査(定期点検)を実施し、現状把握とデータの蓄積を図ります。</li> </ul>				

主管部局 土木部 施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課）	15.2	15.5	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	棟	→

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>【取組内容】 市内に設置された水位計を適切に運用し、的確な水防活動を実施しました。また、和田堀都市下水路新樋管築造工事を完成させました。その他、河川施設、水路等が適切な機能を維持できるように努めました。</p> <p>【評価】 水害による被害の発生を防止しました。また、河川施設、水路等に関する事故等も発生しませんでした。</p> <p>【改善点】 施設の老朽化に伴い、施設の修繕が必要となる危険箇所を事前に把握する取り組みが必要です。</p>	<p>【現状】 台風や局地的大雨時に大きな被害は発生していませんが、一時的な道路冠水等が発生しています。</p> <p>【課題】 水防パトロールや市民の皆様からの情報提供を基に、対策が必要な箇所を的確に把握し、解消するための対策工事等を実施する必要があります。</p> <p>【取組内容】 樋管閉鎖時の排水対策として、排水ポンプの増設を行い、大雨後の水位上昇に備えます。また、浸水被害が発生している地域の排水対策工事を計画的に実施していきます。</p>

雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局（下水） 関連課：なし

地区内雨水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
下水道建設課	継続	382,000	233,882	7,013	119,000	105,600	13,400	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の整備面積（ha）	1.9	0.7	0.3					
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
令和元年度は整備予定1.3haのうち0.7haが発注済みとなり、約5割が完成しています。残り約5割は繰越事業として整備を進めていきます。区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				令和2年度は0.3haの整備を行います。区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				

大堀川1号雨水幹線整備事業	美田、東初石3・4丁目の浸水被害の解消を図るため、公共下水道計画に基づき大堀川1号雨水幹線を整備します。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
下水道建設課	継続	432,335	419,300	7,013	0	0	0	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
雨水幹線整備率（%）	33	100	-					
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度からの継続事業として大堀川1号雨水幹線工事を実施し、完成しました。</li> <li>工事箇所がグリーンバスルートと重なっていたが、施工方法を工夫し影響無く完成させました。</li> <li>1年を超える工事であったため、工事期間の短縮が改善点です。</li> </ul>				前年度で終了したため記載なし				

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又は恐れのある地域に、雨水排水施設の整備を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度 排水管整備（野々下5丁目）、新川承水路基本設計</li> <li>令和3年度 排水管整備</li> <li>令和4年度 排水管整備</li> </ul>							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
河川課	継続	55,990	2,662	2,374	22,320	8,500	13,820	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）		0	0	0
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新設学校建設に伴う雨水排水施設整備を行うため設計委託を行いました。</li> <li>当該工事は、道路整備との工程調整の結果、令和2年度に実施します。</li> <li>整備工事を行うには、国庫交付金などの財源確保が重要です。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>新設学校の開校に向け、雨水排水施設の整備を行います。</li> <li>台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。</li> <li>道路冠水対策として、野々下5丁目地先において雨水排水施設の整備を行います。</li> </ul>				

三輪野山地区総合治水対策事業	和田堀都市下水路に設置した水位計を適切に運用し、迅速で的確な水防活動を行います。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
河川課	継続	12,606	77,483	1,187	902	0	902	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				三輪野山地区における内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）		0	0	0
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
・和田堀都市下水路と一級河川今上落しを接続する新樋管築造工事を実施し、完成しました。				<ul style="list-style-type: none"> <li>市施工の新樋管工事が完成しました。</li> <li>千葉県施工による和田堀都市下水路の切回し工事が、早急に完成されるよう協議が必要です。</li> <li>千葉県と密な情報交換を行います。</li> </ul>				



主管部局 土木部 施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局（下水） 関連課：なし

洪水ハザードマップ作成事業	平成27年に改正された水防法に適合した洪水ハザードマップを作成し、市民への周知と被害軽減に努めます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
河川課	継続	0		0	0	6,402	3,000	3,402
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				洪水ハザードマップの配布数(部)		0	0	80,000
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
実施なし。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・既往最大雨量による浸水想定区域図を記載した、洪水ハザードマップを公表しています。</li> <li>・平成27年の水防法改正により、想定すべき雨量が変更となりました。</li> <li>・想定最大規模による浸水想定区域図を記載した、洪水ハザードマップに更新します。</li> </ul>				

河川環境の整備 主管課：河川課 関連課：なし

河川等維持補修事業	河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 ・令和2年度 諏訪下排水ポンプ整備 水路改修工事(野々下3丁目)、水路蓋掛け工事(鰯ヶ崎)、新川承水路護岸補修工事 等 ・令和3年度 修繕工事 等 ・令和4年度 修繕工事 等							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
河川課	継続	20,765		20,716	2,374	67,133	32,700	34,433
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
河川施設の維持補修に関する工事件数(件)	1	1	4	内水氾濫による床上浸水の棟数(棟)		0	0	0
				憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合(%)		76.2	72.6	80.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鰯ヶ崎における水路蓋掛け工事を実施しました。</li> <li>・小破修繕工事を行い、市内の水路等の修繕を行いました。</li> <li>・修繕が必要となる危険箇所を事前に把握することが必要です。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨により利根運河の水位が上昇し、諏訪下排水樋管を閉鎖すると、周辺道路冠水の恐れがあります。</li> <li>・老朽化した水路等が市内に散見されます。</li> <li>・諏訪下排水樋管閉鎖時に排水できる、排水ポンプの整備が必要です。</li> <li>・老朽化した水路の修繕が必要です。</li> <li>・排水ポンプの増設を行います。</li> <li>・水路改修工事及び小破修繕工事を実施します。</li> </ul>				

主管部局 上下水道局 施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	90.7	89.1	%	↑
公共下水道普及率	処理区域内人口÷行政区域内人口×100（下水道建設課）	89.3	90.8	%	↑

令和元年度（2019年度）の取組みと評価 改善点	令和2年度（2020年度）の現状 課題 取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年4月に策定した「水道事業経営戦略」は、策定後、人口推計値が大幅に変更となったことから、事業の収支計画を見直し、さらなる効率的な事業経営を可能とするため改定しました。また、平成30年4月に策定した「下水道事業経営戦略」についても、最新の人口推計をもとに、下水道使用料収入を見直すとともに、下水道事業経営の更なる健全化のため現状の把握、分析及び将来予測を行い、「下水道事業経営戦略」を改訂しました。</li> <li>水道事業及び下水道事業を取り巻く環境が変化していることを踏まえ、最新の人口推計値をもとに水量や料金収入の見直しを修正し、将来の経営状況の分析を適正に行うことができました。</li> <li>水道事業は、新規加入者からの給水申込納付金が見込みを上回る収入規模となるなど、想定以上の収入増加により資金に流動性があることから、平成30年度から令和2年度に下水道事業へ合計20億円を出資することとしました。</li> <li>下水道事業は、下水道未整備地区の整備や下水道への未接続世帯に対する普及・啓発に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度で終了する「水道事業基本計画」は、10年先を目標年度とする新たな基本計画を策定します。</li> <li>令和2年度から流域下水道維持管理負担金が増額されることから、財政計画を見直す必要があります。</li> <li>水道事業は、基幹管路の耐震化を優先的に推進するとともに、老朽化した配水支管は応急給水拠点など重要度の高い路線から耐震管に更新することにより、災害対応能力の向上に努めます。</li> <li>下水道事業は、平成28年度に汚水適正処理構想を見直したことから、令和6年度末に新規の整備が完了する予定です。今後、ストックマネジメント計画により、老朽化の進行状況を考慮し、施設の点検・調査、修繕・改築を実施します。</li> </ul>

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局 関連課：なし

配水管拡張事業		令和2年度の事業完了に向けて、江戸川沿いの北部未給水地区の配水管拡張工事を実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
水道工務課	継続	97,009		28,238	1,640		71,280	0	71,280
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
配水管布設延長 (m)	1,260.0	979.5	1,261.0	給水普及率 (%)		99.56	99.59	99.61	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>中野久木地域においては594m、前ヶ崎地域においては69mの工事が完了しました。</li> <li>平方地域において、647mの区間の工事に着手しており、完成は令和2年6月末の予定です。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸川沿いの北部未給水地区1,261mの区間において、配水管拡張工事を行い、令和2年度の事業完了を目指します。</li> </ul>					

水道料金等徴収業務委託事業		水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者へ委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
経營業務課	継続	151,859		151,859	12,279		153,252	153,252	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
給水契約件数 (件)	79,451	82,278	83,000	不納欠損処理件数：水道料金 (件)		212	293	200	
下水道契約件数 (件)	68,581	71,938	73,000	不納欠損処理件数：下水道使用料 (件)		158	215	150	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>上水道使用者が使用した水道水に係る水道料金及び公共下水道使用者が使用した下水道使用料金の適正な徴収に努めました。</li> <li>上下水道料金の徴収等を包括委託してる民間業者と連携を密にし、不納欠損の減少を図った効果により、不納欠損処理件数が減少しました。</li> <li>常習滞納者に対し誓約不履行による給水停止執行を継続するとともに、新たな料金未納者への給水停止執行処分を行いました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>人口の増加や公共下水道の供用開始区域の拡大により、上下水道使用者が増えており、給水契約件数や公共下水道使用者は毎年増加しています。</li> <li>市外へ転居した滞納者への督促、催告はしているが、収納までに至る件数は少なく、いかにして徴収するか課題です。</li> <li>委託先との連絡調整を密にし、納入通知書での支払いから、口座振替やクレジットによる支払いを促進させます。</li> </ul>					

主要配水管等耐震化事業		主要な配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。 令和2年度 配水管等耐震化（北部ルート）							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
水道工務課	継続	282,205		35,343	85,990		357,404	0	357,404
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
整備延長 (m)	783.2	1,121.6	2,644	耐震化適合率 (%)		47.2	48.2	50.2	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>おおたかの森浄水場と江戸川台浄水場を結ぶルートL=390mの工事が完成しました。</li> <li>都市計画道路3・2・25下花輪駒木線のルートL=351mの区間において工事が完成しました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。</li> <li>おおたかの森浄水場と江戸川台浄水場を結ぶルート1,243mの工事を行い、令和2年度完成を目指します。</li> <li>都市計画道路3・2・25下花輪駒木線のルート1,401mの工事を行います。</li> </ul>					

老朽配水管等耐震化事業		老朽化した配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
水道工務課	継続	234,212		51,683	6,326		261,702	0	261,702
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
整備延長 (m)	1,316.5	2,415.6	4,297.0	耐震管適合率 (%)		59.5	59.7	61.0	
				漏水発生件数 (件)		361	288	361	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>北部地域においては、183mの区間で工事が完成し、残り1,571mの区間は、令和2年9月末までの完成予定です。</li> <li>中部地域は、305mの区間で工事が完成し、残り696mの区間は、令和2年7月末までに完成予定です。</li> <li>南部地域は、371mの区間で工事が完成し、残り569mの区間は、令和2年6月末までに完成予定です。</li> <li>東部地域は、45mの区間の工事が完成し、残り933mの区間は、8月末までに完成予定です。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。</li> <li>北部地域1,415m、中部地域966m、南部地域916m、東部地域1,000m、合計4,297mの工事を行います。</li> </ul>					

主管部局 上下水道局 施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局 関連課：なし

TX沿線整備地区配水管拡張事業		つくばエクスプレス沿線土地区画整理事業の進捗に合わせ、配水管拡張事業を実施します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
水道工務課	継続	262,188		125,620	30,460	128,605	0	128,605
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
配水管布設延長 (m)	11,124.6	5,618.4	4,270.0	整備率 (%)		71.2	74.7	76.5
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・土地区画整理事業との整合を図り、配水管拡張工事を4,308m実施しています。				・土地区画整理事業の進捗に整合した配水管拡張工事4,270mを実施します。				

計画的な下水道事業の推進 主管課：上下水道局 関連課：なし

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業		既成市街地における良好な生活環境を提供するため、西深井、向小金3丁目、美原2・3丁目、おおたかの森西四丁目、長崎1丁目地先の下水道を整備します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
下水道建設課	継続	809,204		326,645	21,039	938,059	422,880	515,179
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の整備面積 (ha)	18.47	21.74	17.08	公共下水道普及率 (%)		89.3	90.5	91.7
各年度の整備延長 (m)	3,361	3,811	5,719	公共下水道水洗化率 (%)		91.7	92.4	93.1
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・西深井、美原3,4丁目、向小金2,3,4丁目、おおたかの森南一丁目、前ヶ崎、名都借地先の約27.3haを整備しました。 ・計画から施工まで、効果的に投資を行い、経営を支える良質な下水道資源としました。 ・汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行います。				・西深井、美原2丁目、向小金3丁目、長崎1丁目、おおたかの森西四丁目の約17haを整備します。 ・汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行うため、業務量が增大しています。 ・業務を効率化し、公共下水道の整備を推進していきます。				

手賀沼流域関連公共下水道整備事業		既成市街地における良好な生活環境を提供するため、おおたかの森東四丁目、駒木地先の下水道を整備します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
下水道建設課	継続	141,460		44,712	10,520	217,157	83,000	134,157
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の整備面積 (ha)	5.4	1.22	3.28	公共下水道普及率 (%)		89.4	92.0	94.6
各年度の整備延長 (m)	1,822	365	1,381	公共下水道水洗化率 (%)		94.1	95.9	97.7
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・駒木地先の約3.2haを整備しました。 ・計画から施工まで、効果的に投資を行い、経営を支える良質な下水道資源としました。 ・汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行います。				・おおたかの森東四丁目、駒木地先の約3haを整備します。 ・汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行うため、業務量が增大しています。 ・業務を効率化し、公共下水道の整備を推進していきます。				

区内汚水整備事業		運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
下水道建設課	継続	211,000		100,065	9,818	68,000	54,500	13,500
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の整備面積 (ha)	24.6	5.0	7.3	下水道整備率 (%)		71.1	72.1	73.3
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・令和元年度整備予定(19haを10haに変更)のうち9haが発注済みとなり、約6割が完成しています。残り4割は繰越事業として整備を進めていきます。 ・区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				・令和2年度も土地区画整理事業の進捗に合わせ、区内約7haの整備を行います。 ・区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。 ・運動公園周辺地区全体面積232.1haのうち、86.5haが整備完了しています。				

合併浄化槽事業		合併浄化槽計画区域について、合併浄化槽の普及を図ります。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
下水道建設課	新規	9,562		12,753	7,013	10,230	6,700	3,530
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の設置戸数 (戸)	14	15	14	合併浄化槽普及率 (%)		-	-	-
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・環境政策課で行っていた合併浄化槽交付金事業について、下水道建設課へ移行となりました。				・令和2年度に合併浄化槽計画区域についての現況調査を行い、今後の合併浄化槽の普及拡大に務めていきます。				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	75.0	73.1	%	↑
市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2017(H29)年度、2018(H30)年度のもの	175,574(※)	180,380(※)	人	↑
流山ぐりーんバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,499	2,736	人	↑

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
<p>【広域交通ネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道の充実のため、鉄道事業者に対して、要望書等の提出により、働きかけを行いました。</li> <li>初石駅施設整備について、基本調査及び基本設計を行いました。</li> </ul> <p>【地域公共交通ネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流山ぐりーんバスについて、高齢者割引制度を導入し、高齢者の移動手段の確保と、流山ぐりーんバスの利用促進に努めました。</li> <li>バス事業者に対して要望書を提出し、空港連絡バス等の充実を図りました。</li> </ul>	<p>【広域交通ネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくばエクスプレスについては、車両編成の8両化や東京駅延伸等の実現に向け、様々な機会を通じて関係各方面への働きかけを行います。</li> <li>東武野田線初石駅の利便性の向上を図るため、自由通路、橋上駅舎及び駅前広場の設計業務を進めます。</li> </ul> <p>【地域公共交通ネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするため、地域公共交通網形成計画の策定を行います。</li> <li>地域公共交通の充実に大きな役割を持つバス交通である流山ぐりーんバスについては、利便性の向上に努めます。</li> </ul>

広域交通ネットワークの充実 主管課：都市計画課 関連課：なし

TX東京駅延伸等促進事業		つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
まちづくり推進課	継続	0		0	2,104	0	0	0	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
TX沿線都市での会議等の開催回数(件)		6	5	6	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		69	71	73
					つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員(人)		370,237	386,391	-
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年6月27日に行われた首都圏新都市鉄道株式会社の株主総会終了後において、沿線9都市から、首都圏新都市鉄道株式会社に対して「東京駅延伸等にかかる要望書」を提出しました。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、沿線区市と共に、つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。</li> </ul>				

初石駅施設整備事業		東武野田線初石駅の駅東側からのアクセスを向上するため、令和5年度供用開始に向け、橋上駅舎、自由通路及び駅前広場を整備します。令和2年度～令和3年度 基本設計、実施設計 令和4年度～令和5年度 本工事							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
まちづくり推進課	継続	14,780		8,573	5,603	52,348	22,295	30,053	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
事業進捗率(事業費ベース：%)		0	0.43	3.57	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		69	71	73
					初石駅の1日平均乗降人員(人)		18,741	18,653	-
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年4月1日付けで初石駅施設整備事業基本調査業務委託契約を締結し、委託業務を進め、初石駅施設整備に係る市の整備方針を策定しました。</li> <li>令和元年12月24日付けで初石駅施設整備事業基本設計業務委託契約を締結し、自由通路、駅舎及び駅前広場の基本設計を進めています。</li> <li>令和2年3月14日に予定していた意見交換会が延期となったことを踏まえ、今後、改めて意見交換会を開催し、周辺住民や駅利用者の声を聞いていく必要があります。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に引き続き、自由通路、駅舎及び駅前広場の基本設計を進めていき、基本設計が完了次第、実施設計に着手していきます。</li> <li>周辺住民や駅利用者に対し、意見交換会を実施します。</li> <li>鉄道事業者や関係機関との協議を進めていきます。</li> </ul>				

初石駅施設整備基金積立事業		東武野田線初石駅の橋上駅舎及び自由通路の整備に必要な財源を計画的に積立てます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
まちづくり推進課	新規	3,009		31,358	70	0	0	0	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
					目標に対する基金積立率(%)		33	44	44
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>初石駅施設整備基金として、31,358千円を積み立てました。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に引き続き、寄附金及び利子相当額について、計画的に積み立てます。</li> <li>一般財源からの積み立ては、財政調整課と協議をしながら実施します。</li> <li>また、HPなどを通じ、市民等に対して情報提供をしていきます。</li> </ul>				

地域公共交通ネットワークの充実 主管課：都市計画課、道路管理課 関連課：なし

地域公共交通網形成事業		地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにし、持続可能な公共交通網を形成するため、地域公共交通網形成計画を策定します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
まちづくり推進課	新規	0		0	0	10,465	5,000	5,465	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数(回)		0	0	4	公共交通に満足している市民の割合(%)		75	74	76
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業のため記載なし</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>人口増加及び高齢化に伴い公共交通への期待が高まってきており、また、公共交通に関する要望のうち、特にバス交通に関する市民の要望は多様化しており、様々な要望が出てきています。</li> <li>地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするため、地域公共交通網形成計画の策定を行い、地域に適した公共交通施策を検討します。</li> <li>計画策定にあたっては、地域公共交通活性化協議会を開催し、市民や関係機関と協議します。</li> </ul>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



地域公共交通ネットワークの充実 主管課：都市計画課、道路管理課 関連課：なし

ぐりーんバス運行事業		市内交通不便地域の解消を目的とし、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	継続	77,385		80,656	8,065	83,407	0	83,407
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
利用促進啓発活動回数（お散歩マップ・自治会回覧）（回）		3	2	-	流山ぐりーんバスの年間利用者数（人）	909,798	914,484	-
					収支率全ルート平均（%）	68.7	58.8	-
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>流山ぐりーんバス高齢者割引制度の導入しました。</li> <li>令和元年7月26日、12月20日付けで、沿線自治会に対し、文書配布により流山ぐりーんバスのPRを行いました。</li> <li>車内へのイベント情報の掲出を随時行っています。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>運行経費の増加、バス乗務員の不足、超高齢化社会の到来に伴う高齢者の足の確保、通勤・通学需要の減少等が課題です。</li> <li>利用促進については、新型コロナウイルス感染の影響と状況を見きわめたうえで、対応を検討していきます。</li> <li>バス乗務員の不足については、必要に応じて、バス事業者に要望してまいります。</li> <li>高齢者の足の確保、通勤・通学需要の減少等については、ぐりーんバスの利用状況や需要予測を行い、必要に応じてルート変更等に努めてまいります。</li> </ul>			

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課）※1月1日時点	83.6	84.6	%	↑
住宅の空き家率	空き家総数のうち、一時居住用や販売用を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」）※1：2013(H25)年度 ※2：2018(H30)年度	2.7(※1)	3.2(※2)	%	↓

令和元年度 of 取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の生活環境に深刻な影響が懸念される、管理不十分な空き家の改善に努めています。</li> <li>空き家対策を効果的に実施するため、管理不十分な空き家の実態を把握する「空家実態調査」に取り組みました。</li> <li>ライフステージに応じた住み替えを支援するため、相談会並びにセミナーを開催しました。</li> </ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家実態調査により、市内の空き家の実態を把握することで、早期に改善指導が行えるとともに、地域にあった「空家等対策計画」を策定することができます。</li> <li>住み替え支援相談会では、専門家からなる支援組織が、住み替えに関する各種相談に対応するもので、市が取り組んでいるという安心感を与え、気軽に相談が行えるものです。</li> </ul> <p>(改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シニア世代と子育て世代の住み替えのマッチングが促進できるよう、「住み替え住宅バンク」の登録、普及に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家実態調査結果を取りまとめ、「協議会」の立ち上げ並びに「空家等対策計画」の策定に取り組みます。</li> <li>住み替え支援制度の周知を図り、一人でも多くの市民の住み替えニーズに応えるとともに、「住み替え住宅バンク」の登録、普及に努めます。</li> </ul>

住生活の安定と向上 主管課：建築住宅課、宅地課、高齢者支援課、 関連課：なし 障害者支援課

市営住宅整備事業	安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図ります。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
建築住宅課	継続	29,796		18,183	2,244		9,361	9,361	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
市営住宅管理戸数(戸)	449	449	449						
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<p>(取組内容)</p> <p>平成26年に策定した、流山市公営住宅長寿命化計画に基づき、昭和63年度から平成元年度にかけて建設した若宮団地の屋外給水管の更新工事を実施しました。</p> <p>(評価)</p> <p>既設の給水管から耐候性に優れた配管に更新したことで、安全性の確保と長寿命化を図ることができた。また、配管方法を工夫し維持管理の容易性を確保しました。</p> <p>(改善点)</p> <p>建物劣化状況を確認し、必要な改善工事を実施することとしました。</p>				<p>既存住宅ストックの有効活用を図るため、長寿命化計画に基づき、昭和60年に竣工した柳田団地1号棟の屋上防水改修工事を実施します。</p>					

空き家対策の推進 主管課：建築住宅課 関連課：なし

空き家対策事業	管理されていない空家の解消を推進するため、空家の実態調査の結果を踏まえ、条例や法律に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に実施するため計画的に取り組みます。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
建築住宅課	継続	0		0	70		0	0	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
空き家問題に関する通報件数(件)	68	62	-	空き家に対する改善指導件数(件)		44	28	-	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理不十分な空き家の実態を把握するため、既成市街地にある94自治会エリアにおいて、「空家実態調査」に取り組みました。</li> <li>市民から62件の空き家の情報をいただき、管理不十分な空き家28件に対し改善指導を行い、6件が是正されました。</li> </ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空家実態調査により、市内の空き家の実態を把握でき、早期に改善指導が行えるとともに、地域にあった「空家等対策計画」を策定することができます。</li> </ul> <p>(改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路に面して管理不十分な空き家が確認された場合は、学校側に周知し、情報を共有します。</li> </ul>				<p>空家実態調査の結果を踏まえ、「協議会」の立ち上げ並びに「空家等対策計画」の策定に取り組みます。</p>					

高齢者住み替え支援相談事業	高齢者が安心して住み替えができるようにするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、相談会の開催やセミナーを開催します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
建築住宅課	継続	183		0	140		46	46	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
住み替え相談会開催回数	6	4	-	住み替え相談会参加組数(組)		14	14	-	
				住み替え相談の成立件数(件)		1	1	-	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住み替え相談会を4回開催し、14組15名の方が参加しました。</li> <li>支援組織による「終活に向けた家族信託」をテーマにセミナーを開催し、4組5名の方が参加しました。</li> </ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな空き家の発生の予防・抑制につながり、空家対策として有効です。</li> </ul> <p>(改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シニア世代と子育て世代をマッチングする「住み替え住宅バンク」の登録の普及、啓発に努めます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の周知を図り、一人でも多くの市民の住み替えニーズに応えていきます。</li> <li>「住み替え住宅バンク」の周知を図り、シニア世代と子育て世代のマッチングによる住み替えを促進します。</li> </ul>					

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 環境部 施策の目的 地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	平成19（2007）年度の排出量を100とした場合の指数（環境政策課） ※（値は2016(H28)年度、2017(H29)年度の民生家庭、民生業務もの）	111 140(※)	122 142(※)	t-CO2	↓
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合（市民意識調査）	26.1	取得なし	%	↓

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
地球温暖化対策の推進のため、住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置の促進、市民が取り組める地球温暖化対策の普及啓発、みどりの保全による二酸化炭素吸収源対策を行いました。R1年度は地球温暖化対策実行計画や生物多様性なごれやま戦略に沿った取組を推進できましたが、地球温暖化対策については国際動向の影響を大きく受けるため、本市の制度についても情勢に応じた見直しを図る必要があると認識しています。	国の温室効果ガス削減目標等を踏まえた施策の見直しを検討します。またR2年度は、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改正を行います。また、市役所が率先して地球温暖化対策を実行し、市民や事業者へ波及することで市域全体の排出量を削減できるよう努めます。また、みどりの保全についても、地球温暖化対策実行計画との整合を図り、地球温暖化対策と生物多様性保全のいずれにも効果がある緑の保全・回復を行えるよう、検討を進めています。

地球温暖化対策の推進 主管課：環境政策課 関連課：みどりの課

地球温暖化対策事業	地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量削減を目的とします。市民への環境意識啓発、家庭内エネルギー利用の最適化、自治会や学校への緑のカーテンの普及促進を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
環境政策課	継続	11,200	10,281	14,026	14,414	4,900	9,514	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数（件）	119	140	145	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量（t-CO2）		277.39	241.54	277.80
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発、電気自動車リース等の事業を行いました。補助事業については、太陽光発電の買取価格が低下しており設備の普及促進に懸念があることから、補助制度の見直しが必要であると認識しております。				R2年度も、引き続き太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発、電気自動車リース等の事業を行います。太陽光発電設備等への補助事業については、左記の課題から太陽光発電が自家消費型に移行しつつあり、蓄電池需要増加が予測されることから、新たに補助メニューを提供します。				

生活環境の保全 主管課：環境政策課 関連課：なし

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業	路上喫煙等を防止し環境美化を推進するため、重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。令和2年度より「まちをきれいに志隊事業」と「路上喫煙防止事業」を統合しました。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
環境政策課	継続	8,484	7,932	11,212	10,327	494	9,833	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
路上喫煙等防止指導件数（件）	251	200	-	路上喫煙等防止過料件数（件）		85	104	-
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
重点区域において、早朝や夜間の時間帯にパトロールを実施し、路上喫煙者については、直ちに2,000円の過料を徴収しています。パトロールや広報活動により違反者への指導件数が毎年減少してきており確実な効果が表れています。駅周辺の路上喫煙防止重点区域内では、タバコの吸い殻のポイ捨てが未だ多くみられることから、路面シールや立て看板を増やすことで路上喫煙等の防止の周知を図ります。				市内6箇所の重点区域において、多くの人が集散する時間帯である早朝や夜間のパトロールにより取り締まりを実施します。流山セントラルパーク駅前と江戸川台駅東口駅前の灰皿を撤去した後に喫煙者のポイ捨ての増えることが予想されます。上記の2駅のパトロールを重点的に実施します。				

主管部局 環境部

施策の目的

ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
1人1日当たりのごみ発生量	ごみ処理量の推移（クリーンセンター）	848	861	g	↓
資源化率	ごみ処理量の推移（クリーンセンター）	21.8	24.0	%	↑

令和元年度 of 取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>一般廃棄物を衛生かつ適正処理するため、ごみ分別の啓発やごみ収集業者への指導、処理施設の運転及び整備、資源化の見直し等を行います。</p> <p>市民へのごみ出前講座や事業者へのごみ排出アンケートの実施や、ごみ収集業者への研修・講習会等の開催及び処理施設の安定稼働、計画的な整備及び延命化の策定を実施しました。また、森のまちエコセンターの剪定枝資源化（エコ堆肥）を再開し、10月から月2回のペースで無料配布を行いました。</p> <p>ごみ分別による減量や資源ごみのリサイクルへの推進をこれまで以上啓発していきます。廃棄物処理施設の性能維持は、適正な整備や修繕を実施し、適正な処理を安定的に実施していきます。</p>	<p>ごみの減量の推進や資源化の推進を進めるため、自治会ごとに出前講座を積極的に実施することやごみ分別アプリを取り入れ、一般廃棄物処理基本計画の1人1日当たりのごみ発生量の目標値の達成を目指します。</p> <p>廃棄物処理施設の運営は、適正な定期整備を実施し、安定的な施設稼働に努めます。また、ごみ焼却施設の長寿命化については、交付金を活用し、長寿命化総合計画の策定をします。</p> <p>森のまちエコセンターにおける剪定枝資源化は、安定的なエコ堆肥の生成を行い、安定的なエコ堆肥の配付に努めます。</p>

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター 関連課：なし

ごみ減量・資源化事業	市民・事業者に対して、ごみ減量及び資源化の啓発を行います。廃棄物減量等推進員の委嘱、ごみ分別促進アプリの導入、食品ロス削減の先進地視察及び事業系排出者へのアンケートを実施します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
クリーンセンター	継続	455		454	9,818		668	0	668
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
ガレージセール実施回数（回）	3	4	4	1人1日当たりのごみ発生量（g/1人・日）		848	861	801	
ごみ出前講座回数（回）	1	3	2	資源化率（%）		22	24	22	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<p>廃棄物減量等推進員への委嘱後、会議や施設見学会を実施しました。また、事業系排出者へのアンケートについては、食品ロスについての設問を設け、削減への研究を実施しました。</p> <p>廃棄物減量等推進員との会議や施設見学会については、ごみについての理解を深めたとともに、意見や要望等も拝聴できました。</p> <p>廃棄物減量等推進員や市民に呼びかけをし、ごみ分別や資源化の説明会や、ごみ出前講座の拡大を図っていきます。</p>				<p>ごみ集積所に排出されるごみ分別等の苦情が増加している状況です。</p> <p>周知等については、ホームページの掲載やパンフレット、ごみカレンダーの配布を行っていますが、さらなる周知が必要と考えます。</p> <p>ごみ分別の周知拡大を図るため、ごみ分別促進アプリの導入を進めます。</p>					

リサイクル推進事業	市民等を対象に、ごみの減量化・資源化を推進します。ごみ減量化促進ポスターコンクールの開催や集団回収を実施する際の活動支援、小学校5校に設置された生ごみ処理機の維持管理、リサイクルプラザ館で各種講座等を開催や再生品の販売を実施します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
クリーンセンター	継続	169,482		121,496	9,153		171,822	1,323	170,499
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
リサイクル団体登録数（団体）	253	254	254	集団回収量（t）		9,202.95	9,007.54	8,555.00	
リサイクル講座（教室）開催数（回）	82	70	80	リサイクル講座（教室）の参加者数（人）		978	911	1,000	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<p>市内小学校4年生児童に、ごみ減量化促進ポスターコンクールを募集・審査・表彰や、市民が参加するリサイクル団体の活動支援を行います。また学校には給食の生ごみを燃やすごみではなく肥料にする生ごみ処理機で減量・資源化を図り、環境教育に役立てます。</p> <p>ごみ減量化促進ポスターコンクールの最優秀作品をポスターにして公共施設等に掲示しました。リサイクル団体へは、報償金及び備品等を支給し、活動支援を行いました。学校に設置してある生ごみ処理機の整備や修繕を実施しました。各種講座は、雑布などの再利用講座など開催や再生自転車や家具を販売し好評を得ています。</p> <p>生ごみ処理機は、機器を設置し10年以上経過しているため部品の供給が無いものがあることや、学校給食の残渣量が減少していることから設置当時の目的は達成できたと考えられるため、給食残渣の利用方法の研究をしていきます。</p>				<p>ごみ減量化促進ポスターコンクールの参加数は微増であり、リサイクル団体の活動指針である資源物の回収量は減少しています。学校に設置してある生ごみ処理機は老朽化が進み、修繕が多くなり、各種講座等においても参加人数が減少しています。</p> <p>ごみ減量化促進ポスターコンクール参加の拡大、リサイクル団体への参加をしていない市民への資源物回収制度の浸透、生ごみ処理機の老朽化に伴う処理方式の検討が必要で、各種講座等についても、老若男女問わず参加できるように創意工夫が必要と考えます。</p> <p>ごみ減量化促進ポスターコンクールは中学生参加を視野に入れた検討を行い、再生資源物の回収方法等について研究します。生ごみ処理機は、食育の育成により生ごみが減少しつつあることから、学校担当者や連携し、給食残渣の新たな資源化に向け研究します。各種講座等については、他のイベントとの同時開催することや、新たな講師による講座を展開できるように研究します。</p>					

リサイクル館施設整備事業	リサイクル館は、経年劣化による損傷が進んでいることから、機器類の性能を維持するため、機器の状態を確認し、優先順位を整理し施設修繕を行います。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
クリーンセンター	継続	13,000		12,875	3,296		35,200	0	35,200
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
修繕費（千円）	0	12,875	35,200	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数（件）		0	0	0	
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<p>(取組み) 経年劣化が進んでいる無停電電源装置や非常用発電機の電源の更新を実施し、適正な廃棄物処理、設備性能の維持に関する整備を実施しました。</p> <p>(評価) 非常用発電機における起動電源の更新を実施し、非常時における施設の安全を確保しました。</p> <p>(改善点) リサイクル館の設備は、経年劣化による損傷が所が多々発見されているため、現状状態を見極め、計画的な整備を実施していきたい。</p>				<p>経年劣化による損傷が大きい設備の修繕を実施し、適正な処理の継続を実施し、施設の安定稼働に努めます。</p>					



主管部局 環境部

施策の目的

ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



一般廃棄物の適正処理

主管課：クリーンセンター

関連課：なし

<b>廃棄物処理施設整備等基金積立事業</b>		流山市廃棄物処理施設整備等基金条例に基づき、施設の建設や大規模修繕等に必要な資金を計画的に積立て、建設整備費用や起債償還額に含まれる一般財源の額を低減させます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
クリーンセンター	継続	2,913		107,394	3,296	1,913	1,912	1	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
基金積立額(千円)		204,681	107,394	1,913	基金額(千円)		334,937	442,332	444,245
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組み) 一般廃棄物ごみ焼却施設の長寿命化に伴う改築、改修等に必要な財源を計画的に積立てます。令和1年度の積立て予定の1億円は、平成30年度補正予算で積立てました。 (評価) 令和1年度の積立予定額は、前年度に積立てしました。 (改善点) 基金積立の目標額は、今後の長寿命化総合計画策定の中で定め、計画的に積立てます。					ごみ焼却施設の長寿命化整備に係る目標額は、長寿命化総合計画の策定を行い、必要な額を計画的に積み立てます。				

<b>ごみ焼却施設整備事業</b>		ごみ焼却施設の安全操業、適正な廃棄物処理を実施するため、関係法令に基づく点検整備を実施し、施設の性能を維持します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
クリーンセンター	継続	450,000		560,491	7,252	400,000	0	400,000	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
修繕費用(千円)		505,093	560,491	400,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		0	0	0
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組み) ごみ焼却施設は、廃棄物処理法、電気事業法及び労働安全衛生法などに基づく整備を適正に実施するが、その中でも令和1年度は電気事業法に基づくタービン・発電機の開放点検整備及び受検に当たる整備を実施しました。 (評価) 各設備などの整備を実施し、適正な施設の性能を維持しました。 (改善点) 今後実施される施設の長寿命化に関する整備内容と、関係法令に基づく定期整備内容などの整合を図り、適正な定期整備を実施します。					ごみ焼却施設の定期整備の内容は、機器の状態を慎重に見極め、今後の長寿命化整備との調整を図り、関係法令に基づく整備を遵守し実施します。				

<b>クリーンセンター放射能対策事業</b>		国が設置する長期保管施設へ移すまでの間、国に代わって指定廃棄物を安全に一時保管します。また、焼却灰や排ガス等に含まれる放射性物質のモニタリング測定を継続し安全を確保します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
クリーンセンター	継続	7,425		4,248	10,548	2,137	2,137	0	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
焼却灰等の放射能濃度測定回数(回)		72	75	72	指定廃棄物(溶融飛灰)の一時保管量(トン)		582	582	0
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組み) 指定廃棄物の焼却灰は、国が設置する長期保管施設が設置されるまでの間、安全に一時保管していきます。一時保管施設の周辺の放射線量は、定期的に測定し、安全を確認します。また、一般廃棄物の処理に伴い、焼却灰や排ガスなどに含まれる放射能濃度測定を定期的実施していきます。 (評価) 安定的に廃棄物処理を継続するため、定期的に各種の測定を実施し、安全を確保できました。 (改善点) これからも継続的に廃棄物処理を実施するため、定期的に測定を実施し、安全を確保します。					指定廃棄物の長期保管施設の設置について、国へ継続的の要望していきます。また、焼却灰や排ガス中に含まれる放射性物質の測定を定期的実施し、安全を確認しつつ適正なごみ処理に努めます。 また、一時保管施設の安全を継続的に確保するため、必要に応じ、国と協議して行きます。				

<b>廃棄物処理施設延命化事業</b>		ごみ焼却施設及びリサイクル館は、機器の運営環境が劣悪の中で稼働しているため、施設の延命化に関する総合計画を策定し実施することで、施設の性能を維持し適正処理を継続することにより、社会生活環境の維持に努めます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
クリーンセンター	新規	0		0	17,533	12,500	4,166	8,334	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
長寿命化総合計画策定の進捗状況(%)		0	0	100	CO2排出量の削減率(%)		0	0	5
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組み) ごみ焼却施設の整備方式の検討に当たっては、国の手引きに基づき、既存施設の延命化整備や新規施設の建設などのライフサイクルコスト(LCC)の比較検討し、市の方針について市議会へ報告しました。また、リサイクル館の整備については、機器の状態を見極め、年度ごとの整備を実施することとしました。 (評価) ごみ焼却施設の整備方式を定めることができたため、次年度からの計画策定などを進めます。また、リサイクル館の整備内容は、運転管理業務委託を受託している業者からの報告書などを参考にして、機器類の状態を確認し整備することとしました。 (改善点) ごみ焼却施設の整備内容に、あらたに施設の強靱化策を加えることとなったため、早々に対応策について検討します。					ごみ焼却施設の長寿命化に関する交付金申請を年度当初に行います。内示後、直ちに長寿命化総合計画などの策定業務委託について、入札で受託者を選考します。また、リサイクル館の整備は、現状を再度確認し、適正な整備を実施します。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
小売吸引力指数	本市の人口1人当たり年間商品販売額÷千葉県全体の人口1人当たり年間商品販売額(総務省・経済産業省) ※1 2014(H26)年商業統計 ※2 2016(H28)年経済センサス	0.730(※1)	0.765(※2)	-	↑
1事業所当たりの製造品出荷額等	(総務省・経済産業省) ※1 2014(H26)年商業統計 ※2 2016(H28)年経済センサス	532(※1)	682(※2)	百万円	↑
法人市民税	普通会計決算カード (財政調整課)	68,731	75,478	万円	↑

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>令和元年度は、消費税増税に伴う消費の落ち込みも懸念させる中、プレミアム付商品券事業をはじめ、流山商工会議所をはじめとする関係機関との連携を深めながら、市内商工業の振興のための融資制度、空き店舗補助事業、創業者に対する支援事業を展開しました。</p> <p>また、国が進める働き方改革の普及、就労機会の創出に向けた求人情報の提供、セミナーの開催、個別相談に取り組んできました。</p> <p>さらには、組織改革により誘致推進室が加わり、市民生活の利便性の向上のための企業、事業所の誘致も行ってきたところです。</p> <p>本市の人口増加は、事業者にとってビジネスチャンスでもあることから、事業者や創業者にとって有効な事業の展開の支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染拡大により市内経済は大きな影響を受けています。この影響を受けた市内事業者に対する支援を国、県及び商工会議所などと連携を取り、引き続き行います。</li> <li>市融資制度を活用し、事業者の資金面での支援に努めるとともに、空き店舗補助金が事業者にとって利用しやすい制度となるよう、見直しを行います。</li> <li>新型コロナウイルスの感染拡大により、就労環境にも大きな影響が出てくることから、より一層丁寧な就労支援を進めます。また、これまで実施してきた各種就労施策に加え、国の重要施策である「就職氷河期世代の就労」についても側面支援し、多様な世代の就労促進に努めます。</li> <li>市民の利便性の向上と雇用確保の機会の見込まれる事業所等の誘致活動に努めます。</li> </ul>

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課 関連課：なし

中小企業資金融資事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内中小企業者の育成と振興に寄与するため、金融機関を通じた資金融資の実施及び融資利息の一部補助します。</li> <li>セーフティネット保証に係る認定申請に対し、迅速に対応します。</li> </ul>								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
商工振興課	継続	130,018		130,011	3,098		143,095	130,014	13,081
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
商工会議所役員会等参加回数(常任委員会、商業部会、工業部会)(回)	36	36	36	融資件数(件)		32	25	30	
流山工業団地役員会参加回数(回)	12	12	12	利子補給件数(件)		199	189	200	
R1年度の取組みと評価 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>融資審査にあたっては、融資条例、融資規則に照らし合わせ、適切に行い、26事業所に対し資金融資を、190事業所に対し利子補給を実施しました。</li> <li>事業者にとって更に利用しやすい制度となるよう、制度の検証を図ります。</li> </ul>								
R2年度の現状 課題 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響による融資事業は「新型コロナウイルス感染症対策事業」で鋭意取り組みます。</li> <li>セーフティネット保証に係る認定申請に対し迅速に対応します。</li> <li>会議所や関係団体等の会議に参加し、同融資制度のPRを行っています。</li> <li>社会経済情勢の変化に応じ、利用しやすい融資制度を目指します。</li> </ul>								

創業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>流山商工会議所や千葉県信用保証協会と連携し、創業の実現を促進するため創業者(5年未満)を対象としたワンストップ窓口相談を開設し、創業支援に努めます。</li> <li>創業に関心のある女性を対象とした創業スクールを実施します。</li> </ul>								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
商工振興課	継続	1,213		1,199	1,319		1,329	0	1,329
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
女性向け創業スクール受講生(人)	45	34	35	創業者数※女性向け創業スクール卒業生(人)		7	6	10	
R1年度の取組みと評価 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンストップ窓口相談への相談が37件あり、併せて、創業計画について商工会議所経営指導員を交えて相談・支援を行いました。</li> <li>女性向け創業スクールの基礎編に24名、応用編には10名が受講しました。</li> <li>これまで創業スクール卒業生33名が創業していますが、その多くは法人化には至っていない状況です。そのため、創業スクールの講義内容の協議が必要です。</li> </ul>								
R2年度の現状 課題 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンストップ窓口相談を引き続き行い、創業の実現を促進を図ります。</li> <li>創業スクールにおいて、個別相談に対応する「創業コンサルジュ」を新たに設け、より法人化等に結び付ける支援を行います。</li> </ul>								

商店街空き店舗有効活用事業	商店街の活性化と賑わいの創出を図るため、商業団体が空き店舗を利用する際の賃料や商業活性化アドバイザー派遣事業の費用、及び創業者が空き店舗を活用して開業する資金の一部を補助します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
商工振興課	継続	3,937		3,186	1,319		4,876	0	4,876
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
相談延件数(件)	21	16	20	補助金交付件数(件)		6	6	8	
R1年度の取組みと評価 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付に当たって重要な事業計画の実行性の担保のため、流山商工会議所経営指導員と連携を図りながら、補助金申請者に対応(相談)し、新たに1名の事業者(創業者)に対し補助金を交付しました。</li> <li>継続して補助金を交付している事業者に対し、流山商工会議所経営指導員と連携し、経営状況を把握し自立に向けた経営支援を行いました。</li> <li>同制度により空き店舗を解消したことは、空き店舗解消策として有効な手段であり、また、創業者にとっても有効な補助制度であることから、より利用しやすい見直しが必要と考えます。</li> </ul>								
R2年度の現状 課題 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>同事業は、空き店舗解消策として有効な手段であり、また創業者支援としても重要な事業でもあることから、社会情勢に合わせた見直しを行います。</li> <li>補助金交付事業者は創業者であるため、補助金交付開始時から現在の経営実態に乖離が生じた場合は、必要に応じて県の機関(よろず相談等)を紹介し相談・指導を行います。</li> </ul>								

ふるさと納税市内特産品等贈呈事業	市の魅力や市内特産品のPR及び産業の振興を図るため、一定金額以上のふるさと納税者に対し、市内特産品や市内体験を返礼品として贈り、ふるさと納税の増加を図ります。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
商工振興課	継続	20,262		15,037	1,319		9,050	0	1,319
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
返礼品目数(品目)	32	47	50	返礼品贈呈件数(件)		2,365	2,400	2,530	
R1年度の取組みと評価 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税返礼品に対する総務省からの方針及び制度変更に基づき、返礼品の一部を変更しました。</li> <li>ふるさと納税返礼品は、本市の特産品を全国にPRすることで、市内事業者の振興にもつながるため、今後も流山商工会議所と連携を図りながら返礼品の発掘に努めます。</li> </ul>								
R2年度の現状 課題 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務省からの方針に基づき、本市をPRできる魅力ある新たな返礼品の発掘に努めます。</li> </ul>								

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 経済振興部 施策の目的 消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる



魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課 関連課：なし

企業立地促進事業	地域産業の発展と市民の雇用機会の拡充、市の財政の安定、市民の生活利便性の向上といった、まちの活性化に向けて、企業等の立地・開業を促進します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
商工振興課	継続	3,830	3,618	13,184	4,090	0	4,090
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
面談にいたった事業所等の数(件)	17	90	40	企業等立地促進奨励金の交付対象事業所等の新規立地件数(件)	1	1	1
面談・相談等の数(件)	41	175	100	物件のマッチング等の支援を行った事業所等が立地に至った件数(件)	1	1	2
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>DEWKS世帯の転入と高い合計特殊出生率を背景に、小児科及び産科クリニックの混雑が深刻化し、当該2科目のクリニックの開業促進が喫緊の課題となっています。開業志向医師に向け、流山市における市場性と開業した際のインセンティブ(奨励金制度の適用)の周知等に努めました。</li> <li>医師向けの資料作成、開業支援コンサルタントとの協力関係構築、物件候補地情報の収集、WEB広告配信、医師との面談といった開業に至るまでのロジックを整理したうえで、効果的かつ効果的な誘致活動を展開してきました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>年少人口の増加が継続し、保育園の開業も続いているにもかかわらず、小児科の開業が鈍い状況にあり、混雑が深刻化しています。前年度に引き続き、開業を検討する小児科及び産科の医師向けに広告等による情報発信、協力関係を構築した開業支援コンサルタントとともに、流山市内での開業に至るために必要な支援を行います。</li> <li>ハローワーク松戸管内では事務職の求職者が多いにもかかわらず、求人数が少ない状況にあることから、事務職の求人増につながる事業者の立地に向けた支援を行います。</li> </ul>			

就労の支援 主管課：商工振興課 関連課：なし

地域職業相談室運営事業	国(松戸公共職業安定所：ハローワーク)との共同運営による地域職業相談室において、希望に沿った職業相談事務を行います。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
商工振興課	継続	1,594	1,478	323	1,843	0	1,843
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
相談件数(人)	3,529	3,548	3,000	市民の利用者数(人)	2,747	2,310	2,300
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハローワークと市が連携を図り、江戸川台駅前にジョブサポート流山(地域職業相談室)を設置し、職業相談及び職業紹介を実施し就労支援を行っています。</li> <li>市内にハローワーク同様の機能を有する地域職業相談室を維持し、求職者が利用しやすい支援を継続して行います。</li> <li>ハローワークでは幅広く使える検索機器の入れ替えがありました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で今後雇用情勢の変化が懸念されることから、利用需要に備えていきます。</li> <li>ジョブサポートに訪れる求職者を伴走型支援による就職個別相談へも案内し、利用者の就業を促進します。</li> </ul>			

就労支援セミナー企画運営事業	求職者を支援するため、ジョブサポート流山(地域職業相談室)において、各種就労支援セミナーの開催や就職までの継続的な指導を行う就職個別相談を実施します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
商工振興課	継続	7,439	7,324	272	8,061	0	8,061
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
就職個別相談相談者数(人)	73	67	70	就職個別相談就職者数(人)	69	58	70
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>流山市地域職業相談室(ジョブサポート流山)において、ハローワークや千葉県ジョブサポートセンターとの連携により、各種セミナー、会社説明会などを共催するほか、市単独事業として、就職まで継続した支援を行う「就職個別相談」を実施し、高い就職率に繋がりました。</li> <li>求職者の就労に係る支援を行うことにより、ミスマッチを軽減し、正規雇用につなげることで、生活の安定はもとより、より一層のワークライフバランスが実現できます。</li> <li>働き方改革に伴う、多様な働き方の見直しにより、長時間労働や少子化等への対応が可能となります。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度と同様の就労支援を継続します。さらに国の支援情報を収集し情報提供の機会を作るほか、特に就職氷河期世代への側面からの支援強化に努めます。</li> <li>確実な成果を見出している継続した伴走型支援による「就職個別相談」のノウハウを活用し、時流に沿った支援に努めます。</li> </ul>			

主管部局 経済振興部 施策の目的 都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
認定農業者数	市の認定を受けた農業経営者	41	41	経営体	↑
農業算出額（推計）	農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果（農林水産省）※ 2017(H29)年、2018(H30)年	230(※)	185(※)	千万円	↑

令和元年度（R1）の取組みと評価 改善点	令和2年度（R2）の現状 課題 取組み
市内小中学校及び保育所に、流山産米の通年供給と市内産野菜の供給拡大に取り組み食育と地産地消の推進が図れました。今後も市内農業者の生産性と収益性の推進を継続する必要があります。 本市農業の中心的役割を担っている認定農業者に対する環境配慮型農業資材の支援や市内農業者が農業経営の安定化や収益性の推進が図れるよう農用地利用集積事業や農業振興資金融資事業等に取り組み農地の有効活用を図り、収益性を高めていくことが必要です。 都市化の進展により都市農業の利点を活かした産直販売の促進や学校給食への流山産米の継続と市内産野菜の供給拡大を図る必要があります。	学校給食への取り組みとして流山産米の通年供給を継続し、市内産野菜の供給を拡大するために、生産性や効率性を向上させるため農業に関する団体等と協力して、市内農業者の支援に取り組みます。 認定農業者を中心に市内農業者に対し、農用地の有効活用と生産性と収益性の向上のための事業を継続し、より有効的な収益の向上につながる継続的な支援に取り組みます。 都市農業としての利点を活かした直売やスーパー等の産直販売を促進し、学校給食への流山産米の継続的な供給と市内産野菜の効率的な供給システム等の支援に取り組みます。

農業経営改善の充実 主管課：農業振興課 関連課：なし

農業振興資金融資及び利子補給事業		農業を自ら営む者、農業後継者、新たに農業を営む者等に、融資機関を通じて農業振興資金を貸し付けし、その利子の一部を補給することにより、都市農業を安定的に継続ができる効率的な農業経営の拡大を図ります。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
農業振興課	継続	5,300		5,332	1,319	5,337	5,000	337
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
利子補給金額（千円）	262	300	337	利用実績件数（件）		1	4	2
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
農業経営に係る負担を融資制度の活用により利子補給することで都市農業の安定的な継続に繋がっています。				資金融資制度の活用により都市農業の安定的な農業経営を継続的に進めるよう活用を促進します。				

認定農業者支援事業		本市農業の中心的役割を担っている認定農業者を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図り、更なる農業振興を推進します。また、生分解性フィルム、防草シート、防虫ネット等の環境配慮型農業資材の購入費の一部を支援します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
農業振興課	継続	1,900		1,900	1,319	1,900	0	1,900
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
実績補助金額（千円）	2,500	1,900	1,900	認定農業者数（経営体）		41	41	41
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
認定農業者の農業生産の効率化を進めるため、環境配慮型農業資材の購入費の一部を支援し、多くの認定農業者が活用できるよう事業周知を促しました。更なる活用を推進する必要があります。				多くの認定農業者が活用しており、生産性と収益性が向上するよう、継続して環境配慮型農業資材の購入費の一部を継続して支援します。				

青年就農給付金支援事業		新規認定就農者の更なる農業意欲と農業所得の向上を図り、新たな就農希望者の発掘に寄与するものです。農業次世代人材投資事業交付金（経営開始型）の給付を国からの補助を受けて、最長5年間支援します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
農業振興課	継続	3,000		3,000	660	2,250	2,250	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
交付金額（千円）	3,000	3,000	2,250	新規認定就農者数（人）		2	2	2
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
新規就農者2名を認定し、農業次世代人材投資事業交付金（経営開始型）を交付しています。				2名の新規就農者に対し、農業次世代人材投資事業交付金（経営開始型）を交付しており、令和2年度上半期で1名が終了します。新たな新規就農者の発掘に取り組みます。				

農業への理解の促進 主管課：農業振興課 関連課：なし

学校給食地産地消推進事業		地産地消を推進し、流山産米を市内小中学校及び保育所の給食に通年提供するため、水稻生産者等に助成し、地元産米を安定的に通年供給できるよう確保するとともに、水稻生産者の農業所得及び生産意欲の向上を図ります。なお、学校給食については、米以外にも地元野菜の供給拡大を促進します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
農業振興課	継続	14,950		14,950	1,319	15,180	0	15,180
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
米飯給食実施回数（回/年）	2,750	2,750	2,750	学校給食への流山産米の出荷量（t）		180	195	198
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
流山産米を学校給食に通年供給するため、水稻生産者等に助成することにより安定供給の確保を図っています。水稻生産者の収益性の安定に寄与しています。地元野菜の安定供給を促進する必要があります。				流山産米を継続的に学校給食に供給するため、水稻生産者等に助成することで、水稻生産者の収益性の安定を図ります。地元野菜の学校給食への供給も促進します。				

市民農園事業		遊休農地等を土地所有者から借上げ、市民農園として市民が農作業を実践する場、家族や市民相互のふれあいの場として有償提供するとともに、更なる遊休農地の有効活用を図ります。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
農業振興課	継続	1,927		1,365	1,319	1,306	1,245	61
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
市民農園借り上げ面積（㎡）	11,668	11,668	10,003	農園数（農園）		6	6	6
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
遊休農地等を農地所有者から借り上げ、市民農園として有効活用を図っています。				遊休農地の有効活用として、農地の所有者から借り上げています。今後も遊休農地の有効活用を図ります。契約解除になった場合の代替等がすぐに見つからないのが、課題となっています。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 経済振興部 施策の目的 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
入込客数	施設、イベントの入込客数（流山本町・利根運河ツーリズム推進課）	352,075	365,929	人	↑

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の実績 課題 取組み
<p>交流人口の増加による地域の活性化を図るため、地域住民、地元企業、流山市観光協会や関係団体などと連携し、下記のとおり各種イベントや観光客誘致の促進などの事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流山本町地域の「万華鏡ギャラリー見世蔵」並びに利根運河地域の「利根運河交流館」を両地域の観光拠点とし、地域活性化を推進しました。</li> <li>・イベント事業については、花火大会、流鉄B E E R電車及び白みりんと切り絵行灯の夕べを実施しました。</li> <li>・観光客誘致促進については、流山おおたかの森駅前観光情報センターの開設や各種観光ガイドマップを作成しました。また、インバウンド対応として、ターゲット国のインフルエンサーによるSNSを活用した情報発信やC I R（国際交流員）を任用し、プロモーションや受入れ環境整備を行いました。</li> <li>・改善点として、一部の観光施設やイベントでは来場者の減少がみられることから、プロモーションの見直しやコンテンツ内容変更等を行い、交流人口の増加並びにリピーターの確保に努めます。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルスの影響により、ツーリズム分野においては、厳しい環境にあります。この状況が変わり、次のフェーズになった時に町の賑わいを取り戻せるよう準備を進めます。</p> <p>流山本町と利根運河の両地域において、歴史・文化・食を体感できるコト体験施設や来訪者が安心・快適に回遊できる道路整備等が課題であることから、国の補助金等を活用したハード整備を推進します。</p> <p>相続問題や老朽化等による歴史的建造物の取り壊しが続いており、当該課題にスピード感をもって対応できる官民連携のまちづくり法人の組織を進めます。</p>

地域資源を活かしたツーリズムの振興 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課 関連課：図書館、博物館、マーケティング課

流山本町・利根運河ツーリズム推進事業	流山本町及び利根運河地域の活性化や町並みの保存を図るため、歴史的建造物を活用し、ギャラリーや飲食店、観光情報の発信等を行う拠点を創出します。また、地域情報誌への掲載などプロモーション活動を推進します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	継続	3,851		2,744	897		5,725	0	5,725
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
ツーリズム推進事業補助金相談回数(回)	3	4	4	ツーリズム推進事業補助金(改装)件数(件)		0	0	1	
				ツーリズム推進事業補助金(家賃)件数(件)		2	1	1	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
流山本町及び利根運河地域への来訪者の誘客を図るため、ツーリズム推進事業補助金を活用し歴史的建造物を活かした店舗等への補助を行いました。またインバウンド対応として、東京モノレールへの吊り革広告掲出を行いました。				ツーリズム推進事業補助金について新規申請が無かったことから、古民家所有者と新規事業者への働きかけを積極的に行う必要があります。また、つくばエクスプレス沿線に転入し、新たに住民となられた方が増加したことから、この方々を流山本町及び利根運河地域に誘引するためのプロモーション活動を実施します。					

流鉄イベント事業	流鉄流山線を活用し、地域の活性化や交流人口の増加、流山本町界隈への回遊による地域経済への波及効果を目指し、流鉄株式会社等と連携してイベントを開催します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	継続	1,000		1,356	1,055		4,500	0	4,500
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
リーフレット配布数(部)	5,200	5,200	-	ピア電車来場者数(人)		16,000	17,700	-	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
ビール会社とのタイアップ、プロのバーテンダーを呼びみりんを使ったBarを設置したほか、出店店舗にテーマを与え(令和元年度はピンチョス)各店で販売を行いました。				新型コロナウイルス感染症の影響と状況を見きわめたくうえで、対応を検討していきます。					

利根運河記念イベント事業	利根運河地域の更なる知名度向上と、交流人口及び経済効果の増加を図るため、二代目利根運河ビリケンさんのお披露目イベントを実施します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	新規	2,000		0	548		0	0	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
二代目利根運河ビリケンさんのお披露目イベントを令和2年3月28日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントを延期しました。				新型コロナウイルス感染症の影響と状況を見きわめたくうえで、対応を検討していきます。					

赤城山公園トイレ整備事業	流山本町への来訪者の利便性を図る目的で、赤城山公園の既存トイレを改修し、観光公衆トイレとして整備します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	新規	19,719		22,671	1,194		0	0	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
				流山本町地域の来訪者数(人)		274,984	265,967	200,000	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
流山本町地域を来訪される観光客の利便性を向上させるため、赤城山公園のトイレを観光公衆トイレとして整備を行いました。				前年度で終了したため記載なし					

主管部局 経済振興部 施策の目的 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る



来訪者の受入体制の充実 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課 関連課：なし

<b>観光情報センターの運営 (観光案内所運営事業)</b>		スタートおおたかの森ホール内に開設した観光情報センターで、流山本町及び利根運河の観光情報を発信します。また、同センターでは、外国人観光客の観光情報収集の拠点も担います。					
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	新規	15,272	15,124	594	14,081	0	14,081
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績
観光ツアーの開催回数(回)		-	4	-	来所者数(人)		-
					外国人観光客来訪者数(人)		-
							18,653
							386
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
今年度オープンしたが、来訪者も多く、また、観光情報センター主催の流山本町地域及び利根運河地域への観光ツアーも開催しました。「JNTO認定外国人観光案内所」の 카테고리 1 を取得しました。 つくばエクスプレス沿線に転入された住民に対し、地元愛を醸成するため、今後も継続したツアーの展開等を行っていく必要があります。				つくばエクスプレス沿線に転入された住民に対し、地元愛を醸成するため流山本町及び利根運河地域への観光ツアーを継続して実施します。			

<b>外国人観光客誘致促進事業</b>		本市への外国人観光客の誘客に向けて観光情報をPRするプロモーションを行います。また、国際交流員(CIR)を任用し、インバウンド需要に対応するための受入れ環境整備を進めます。					
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	継続	5,501	4,655	1,194	6,816	0	6,816
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績
英語版観光ガイドマップ配布数(部)		-	35,000	-	外国人観光客来訪者数(人)		95
							386
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
訪日外国人観光客の増加に向け、任用したCIRの目線で感じた魅力的な観光地を中心とした外国語観光ガイドブックの作成やモニタリングツアーなどを行いました。 また、台湾人をターゲットとしたプロモーション活動として、台湾人有名ブロガーを招へいし、自身のSNSを活用した観光情報の提供を行いました。 今後も地域性や国民性を考慮したプロモーション活動を継続していきます。				新型コロナウイルス感染症の影響と状況を見きわめたうえで、対応を検討していきます。			

<b>利根運河地区ツーリズム環境整備事業</b>		利根運河地域の歴史や自然環境を活かしたツーリズム環境の整備を行い、観光振興及び交流人口の増加を図ります。					
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	新規	0	0	0	29,000	26,300	2,700
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績
					利根運河地区への来訪者数(人)		77,091
							67,375
							77,000
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
新規事業のため記載なし				旧割烹新川屋本館の活用に向け、令和2～6年度にかけて建物の改修等を行なっていきます。 令和2年度は土地及び建物取得に要する費用を予算計上しています。			

<b>流山本町地区ツーリズム環境整備事業</b>		流山本町地域の歴史的建造物を活かしたツーリズム環境の整備を行い、観光振興及び交流人口の増加を図ります。					
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	新規	0	0	0	17,524	14,320	3,204
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績
					流山本町地域の来訪者数(人)		274,984
							265,967
							200,000
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
新規事業のため記載なし				令和2～6年度にかけて、流山本町地域への更なる誘客を図るため、案内サインの設置や道路の美装化を行います。 令和2年度は観光案内サインの設置を行います。			

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課）※翌年度4月1日時点	45,411	46,162	人	—
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	82.8	78.8	%	↑
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数/第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課）※翌年度4月1日時点	16.7	17.1	%	↓

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
<p>(主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が住み慣れた地域で元気に生き生きと暮らし続けられるよう日常生活や敬老行事等の支援を行います。</li> <li>介護予防に関する知識の普及啓発や身近な地域での介護予防の取組みを行います。</li> </ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度まちづくり達成度アンケートにおいて、生きがいをもって元気に暮らしている65歳以上の割合が昨年度と比べ減少していることから、改善が必要と思われます。</li> </ul> <p>(改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの内容を広報等において周知し、多くの高齢者に理解してもらうよう努めます。</li> </ul>	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口増に伴い高齢者人口が増加しています。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者への相談・対応体制の充実が必要です。</li> </ul> <p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内5か所の高齢者なんでも相談室の認知度の向上及び機能の充実を図ります。</li> </ul>

多様な生きがいづくり 主管課：高齢者支援課 関連課：健康増進課

高齢者ふれあいの家支援事業	空家等を利用して、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、他の高齢者や子供たちとのふれあいや健康づくり趣味活動ができる場所を提供する個人・団体等を支援します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
高齢者支援課	継続	5,838		4,843	701	5,923	0	5,923
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
年間開催総数(回)	5,475	5,290	5,600	年間利用者総数(人)		72,218	69,331	70,000
市内設置場所(か所)	22	25	27					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>(取組内容)</p> <p>自治会回覧等による事業の周知や開設希望者と家主とのマッチングにより増設に努めました。</p> <p>(評価)</p> <p>上記取組みにより新たに3か所を増設しました。</p> <p>(改善点)</p> <p>更なる増設を図るため、開設希望者の発掘に加え、開設希望者への相談支援及び既開設者への紹介、空家の家主とのマッチング等により、新規開設に向け更なる努力に努めます。</p>				<p>(現状)</p> <p>「ふれあいの家」の開設者への支援を通じて市内高齢者に集いの場を提供しています。市内の高齢者が歩いて行けるふれあいの家があるよう、増設に努めています。</p> <p>(課題)</p> <p>開設希望者が開設を検討する上で、会場やスタッフの確保等の課題に直面することが多く、これらの課題解決についても支援していくことが必要と考えます。</p> <p>(取組内容)</p> <p>引き続き事業の周知に努め増設を図るほか、開設者及び開設希望者への支援に努めます。</p>				

高齢者等市内移動支援バス事業	市内の事業所等の協力のもと送迎バスの空席を活用し高齢者の活動範囲の拡大を支援し、高齢者の積極的な社会参加を促進します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
高齢者支援課	継続	811		798	210	891	0	891
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
協力民間事業者数(団体)	5	5	6	利用件数(件)		4,429	4,120	4,600
運行ルート数(ルート)	6	6	7	新規利用登録者数(人)		231	192	200
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>(取組内容)</p> <p>現在5病院の協力のもと、市内6ルートを実行している送迎バスを利用することで、高齢者の移動手段の確保に努めています。平成31年4月から、65歳到達者に郵送している介護保険被保険者証に移動支援バスのチラシを同封し周知を図りました。</p> <p>(評価)</p> <p>新たなルート開拓のため、市内の企業等と交渉し、協力を求めましたがルート開設には至りませんでした。</p> <p>(改善点)</p> <p>制度の周知に努め、より多くの高齢者の外出を支援するとともに、新ルート開拓に努める必要があります。</p>				<p>(現状と課題)</p> <p>移動支援バスは民間事業者の協力のもと実施している事業であり、事業者の考えに大きく依存しており、ルートの変更及び廃止を余儀なくされる可能性があります。</p> <p>(取組内容)</p> <p>協力を得られそうな事業者等と交渉を進め増設に努めます。また、広報等により制度の周知に一層努めます。</p>				

敬老バス支援事業	高齢者の生きがい増進を図るため、市内の高齢者団体にバスを貸し出し、教養やレクリエーション活動を支援します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
高齢者支援課	継続	13,301		11,391	4,909	11,000	0	11,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
利用回数(回)	199	175	200	利用人数(人)		6,223	5,525	6,000
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>(取組内容)</p> <p>令和元年8月にカラオケ機器を設置し、利用者の利便性向上を図りました。また、より多くの利用者の方に利用いただくため、バスが利用しやすい月の情報やバス旅行の行程の例等の情報を提供するとともに、行程表作成の支援も可能な限り実施し、バスを利用しやすい環境整備に努めました。</p> <p>(評価・改善点)</p> <p>バスの利用団体及び利用日数が減少傾向にあるため、現行の広報やホームページ等を通じた事業の周知や行程例の情報提供や行程表作成の支援等に加え、利用者が更にバスを利用しやすくなるよう市民サービスの向上に努める必要があります。</p>				<p>(現状)</p> <p>教養、レクリエーション等の活動を実施する市内の高齢者団体に、バスを貸出し、高齢者同士の交流や福祉の向上を図ります。</p> <p>(課題・取組内容)</p> <p>新しくバスを利用する団体が増えるよう、引き続き事業の周知や情報提供に努めるほか、少しでも利用者の満足度を上げるよう利便性の向上に努めます。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



地域ぐるみ支え合い体制づくり 主管課：介護支援課、高齢者支援課 関連課：なし

<b>在宅高齢者介護予防・生活支援事業</b>	公共交通機関の利用が困難なひとり暮らしで非課税世帯の高齢者等に対して、自宅の玄関から病院等の利用施設までの移動及び乗降の介助を支援します。また、理美容店へ出向くことが困難な高齢者に対し、訪問による理美容サービスを提供します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
高齢者支援課	継続	11,300		11,640	4,208	11,625	1,145	10,480
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
訪問理美容サービス提供事業者数(事業者)	23	18	18	訪問理美容サービス利用回数(回)		69	76	80
外出支援サービス提供事業者数(事業者)	6	6	6	外出支援サービス利用回数(回)		4,487	4,552	4,700
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
(取組内容) 外出困難な高齢者に対し、訪問による理美容サービス及び病院への送迎を行う外出支援サービスを提供しました。 (評価) 支援を必要とする高齢者にサービスを提供し在宅生活の継続と質の向上を図りました。 (改善点) サービスを必要とする高齢者が利用できるような制度の一層の周知に努める必要があります。				(現状) 高齢者人口の増加に伴い、利用者数及び利用回数が増加傾向にあります。 (課題) 今後高齢者の増加に伴いサービスの対象者も増えていくことが見込まれる一方でサービスの存在を知らない高齢者も増えていくことが予想されます。 (取組内容) サービスを必要とする高齢者が利用できるような、制度の周知に努めます。				

<b>地域福祉センター整備事業</b>	利用者に安全で快適な環境を提供するために、高齢者及び障害者福祉に関する複合施設である地域福祉センターのエレベーターの改修工事を実施します。(令和2年度実施設計、令和3年度改修工事)							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
高齢者支援課	新規	0		0	0	843	700	143
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし。				(現状・課題) 地域福祉センターに設置しているエレベーターについて、令和2年12月に電動機等の部品供給期限を迎えることから、エレベーターの改修が必要です。 (取組内容) 令和2年度に、実施設計を行います。(令和3年度に、改修工事を行います。)				

<b>地域包括支援センター委託事業</b>	介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るための包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、地域包括支援センターの事業運営を委託するものです。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
高齢者支援課	継続	144,864		144,047	12,767	144,756	144,756	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
相談件数(件)※令和元年度より、地区の相談傾向を把握する集計方法に変更	32,680	17,884	18,000	運営状況調査評価指標の点数(全センター平均)(点)		51	51	51
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
(取組内容) 高齢者なんでも相談室において、新たに北部地域に北部西高齢者なんでも相談室を設置し市内5か所の総合相談支援業務、権利擁護事務、包括的・継続的ケアマネージメント支援業務、介護予防ケアマネージメント業務の機能の充実を図りました。 (評価) 高齢者人口の増加に伴い、新たに高齢者なんでも相談室を設置したことにより、市民にとって利便性が向上しました。 (改善点) 高齢者人口の増加とともに、相談件数が増加し、その内容も複雑・困窮化しています。職員には高いスキルが求められ、職員確保や職員の育成、職員の定着が課題となっています。				(現状) 相談室の運営については、運営協議会での検討を通じて、適切な職員体制の確保や業務の重点化・効率化を進めています。 (課題) 適切な職員体制の確保や業務の重点化・効率化。 (取組内容) 各相談室の強み等をとらえつつ、相談室間の交流、連携、情報共有を図り、各相談室の機能強化と職員のスキルアップにつなげていきます。				

<b>在宅医療介護連携推進事業</b>	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
介護支援課	継続	13,404		9,835	15,819	16,932	16,932	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
介護と医療をつむぐ会開催回数(回)	5	5	5	情報共有システムを利用した在宅療養者数(延べ)(人)		28	34	39
出前講座開催回数(回)	-	3	4					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
【取組内容】医療と介護の専門職の連携体制を更に推進するために医師や介護に係わる専門職の団体と課題解決に向けて、課題抽出と課題解決に向けた取組みについて検討しました。また、医療や介護に係る専門職を対象とし、多職種連携やスキルアップのため研修会を開催しました。さらに、市民へ在宅療養に係る啓発のため、市民公開講座、出前講座や広報紙(おうち療養情報紙)を発行しました。 【評価】医療や介護に係る専門職と対象とした研修会は4回開催し、延べ358名の参加があり、アンケートによると多くの方が満足であるとの回答でした。市民公開講座については120名の参加があり、人生会議について学ぶ機会となりました。 【改善点】介護と医療をつむぐ会については、夜間開催のため出ることができない専門職もいるため、開催時間の検討やより多くの専門職に医療介護連携に取り組んでいただくため、高齢者なんでも相談室で開催しているケアマネ交流会と連携した取組みとしていくことが望まれます。				【現状】在宅療養や看取りを支える訪問診療医等や、医療依存度の高い方のケアができる介護職を増やすことは、本事業の取組みでは難しいということ、多職種で構成される在宅医療介護連携会議にて共有しました。 【課題】「在宅療養、看取りを支えるチーム作り」、「医療職と介護職が連携し、協働できる関係作り」等を推進することで、円滑な在宅医療介護の提供体制の構築を進めていきます。 【取組み】医療と介護の専門職団体との、現状と課題の共有及び課題解決に向けた取組みの検討を引き続き行います。介護と医療をつむぐ会については、開催時間や方法を検討し、より多くの専門職の参加が可能となり連携が進むことを目指します。				



主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



介護体制づくり 主管課：介護支援課、高齢者支援課 関連課：なし

特別養護老人ホーム整備支援事業		特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
介護支援課	継続	0		0	701	0			
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
市内特別養護老人ホームの施設数(施設)		11	11	12	特別養護老人ホーム入所希望待機者数(人)	293	296	250	
市内特別養護老人ホームの入所定員数(人)		876	876	976					
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
・取組内容 第7期高齢者支援計画に基づき、入所待機者の解消を目指し特別養護老人ホームの整備を進めるため、法人や千葉県と協議を行いました。 ・評価 特別養護老人ホーム慶櫻美原の森が令和2年4月開設予定です。 特別養護老人ホーム(仮称)美晴らしの里おおたかの森が令和3年4月の開設を目指し、千葉県と協議を進めました。 特別養護老人ホーム初石苑からはまなす苑への建て替え移転を進めるため、千葉県と協議を行いました。 ・改善点 特にありません。					・現状 特別養護老人ホーム慶櫻美原の森(100床:ユニット型個室60床、多床室40床)令和2年4月1日に開設しました。 ・課題 第8期高齢者支援計画の策定にあたり、事業者アンケートを通じて法人の意向を把握するとともに、必要な整備数の見込みをたてる必要があります。 ・取組内容 特別養護老人ホーム(仮称)美晴らしの里おおたかの森について、令和3年4月の開設に向け必要な支援を行います。 特別養護老人ホーム初石苑について、令和4年3月の移転開設に向け必要な支援を行います。				

介護人材確保支援事業		介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
介護支援課	継続	3,250		1,414	3,507	4,236	4,236	0	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
ちよっともっと介護塾開催回数(回)		2	2	2	介護職員養成研修助成研修受講助成件数(件)	43	22	50	
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
生活援助従事者研修、介護職員初任者研修、実務者研修の受講費助成を実施した他、介護の知識や技術等について情報を得て、介護の担い手のすそ野拡大をねらいとした「ちよっともっと介護塾」を開催しました。 研修受講費の助成については、市広報紙で周知した他チラシを作成し、公共施設窓口や介護保険サービス事業所に配布し周知に努めました。 新しい介護人材の確保に向けて、魅力ある介護現場のPRや他事業と連動した取り組みが必要です。					【現状と課題】生活援助従事者研修、介護職員初任者研修、実務者研修の受講費助成の申請者数は減少しており、制度の更なる周知を図る必要があるとともに、新たな介護人材の獲得の方法についての検討が必要と考えられます。 【取組み】新たな介護人材の確保に向けて、介護事業者や介護職養成機関等の協力を得ながら、介護の仕事を知り、実際に体験でき、具体的な就業相談も行えるような、介護職員合同就職説明会を実施します。				

高齢者介護予防普及啓発事業		介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成・配布を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
高齢者支援課	継続	1,133		836	3,087	804	804	0	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
講演会開催数(回)		18	20	12	講演会参加延べ人数(人)	562	619	210	
					ながいき100歳体操グループ数(グループ)	35	42	45	
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組内容) 「ながいき100歳体操」の普及啓発活動として、介護予防教室の「筋力アップ教室」をはじめ、市民まつり、商業施設において体験会を実施しました。 (評価) より多くの方に、効果的に「ながいき100歳体操」を体験会等から認知されることが必要です。 (改善点) 官民連携を含め、多くの周知する機会を設けます。また、「ながいき100歳体操」に加えて介護予防を多角的に取り組めるようにします。					(現状) 「ながいき100歳体操」の普及啓発活動として、介護予防教室の「筋力アップ教室」等、体験会を実施します。口腔機能の向上、認知機能の維持・向上を目的とした体操を導入します。 (課題) より多くの方に、効果的に認知されることが必要です。 (取組内容) 「筋力アップ教室」を年4コース実施します。官民連携など、多くの機会を通じ周知に取り組みます。				

認知症施策推進事業		認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
介護支援課	継続	2,448		1,846	10,878	2,805	2,805	0	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
認知症サポーター養成講座開催数(回)		57	52	52	認知症サポーター養成数(人)	2,093	2,764	2,500	
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
正しい知識の普及啓発のため、9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせ、9月を認知症を知る月間を開催し、認知症に関するパネル展や認知症の方の作品展、サポーター養成講座、VR認知症体験会等を実施しました。講演会では、認知症のご本人でもそうでない方でも誰でも楽しめる「音楽で介護予防」をテーマに開催しました。認知症に関する情報がまとまった冊子である「知って安心認知症」については、情報を更新し、相談先として認知症地域支援推進員を配置している施設等の情報を掲載しました。 講演会では、ご本人以外の参加が少ない状況でした。 「知って安心認知症」については、高齢者何でも相談室や医療機関、薬局等で手渡しで配布しているが、薬局から追加の配布希望も多く、認知症に関する情報提供に役立っています。 認知症を知る月間での講演会については、正しい知識の普及を目的が達成できるように企画内容を検討する必要があります。					【現状と課題】要介護認定者数の増加に比例して、認知機能の低下がある方が増えている現状があることから、引き続き、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行い、認知症になっても安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指します。 【取組み】認知症に関する正しい知識を得るための講演会、認知症について我が事として捉えられるようにするための講座、認知症の方や家族を支えるための対応について学ぶ講座などをシリーズで有機的に学ぶことができる機会となるよう企画し、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図ります。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す 方向
障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数	障害者支援課資料 ※上から身体障害者、知的障害者、精神障害者	4,216 1,001 1,332	4,204 1,061 1,444	人	—
障害者就労支援センターの利用者数	障害者支援課資料	207	210	人	↑
相談支援事業の利用者数	障害者支援課資料	2,190	2,200	人	↑

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
<p>&lt;取組内容&gt; 障害者等が住み慣れた地域で、自分らしく自立した生活を送ることができるように自立支援給付事業と地域生活支援事業の推進に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補装具、日常生活用具、就労継続支援など自立した生活を送ることが出来るよう取り組みました。</li> <li>・相談支援事業、意思疎通支援事業など身近な生活に関し、コミュニケーションが取れる環境に取り組めました。</li> </ul> <p>改善事項 サービスを必要としている方に、適正にサービスが提供されるよう取り組んでまいります。</p>	<p>&lt;現状&gt; 手帳保持者の増加が見込まれる中で、事業所の不足や人員不足が危ぶまれサービスの低下につながる恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援事業所の適正な数と人員の配置。</li> <li>・利用者に対する障害福祉制度や事業などの情報提供。</li> </ul> <p>取組内容 障害福祉サービス、制度、事業などを周知し、自立した生活を送ることが出来るよう支援してまいります。</p>

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター 関連課：なし

障害者自立支援給付事業	障害者等が自立した日常生活及び社会生活を送るために居宅介護（ホームヘルプ）、施設入所、就労支援、人工透析の費用の支給等、国が定める介護、訓練、補装具、医療の給付を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
障害者支援課	継続	1,842,609		2,078,897	45,664	2,277,816	1,701,398	576,418
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
障害福祉サービス支給決定者数（人）	857	921	1,000	障害福祉サービス利用延べ人数（人）		15,047	16,364	16,800
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>【取組内容】 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び補装具、更生医療等を給付することで、障害者・障害児が地域の中で自立した生活を送ることが出来るよう取り組みました。</p> <p>【評価】 サービス利用者は増加しており、制度の周知は進んでいます。</p> <p>【改善点】 障害者・障害児が自立した地域生活を送るために、更なる制度の周知、適正なサービス支給が必要となっています。</p>				<p>【現状】 障害福祉サービスの利用者数は増加しており、障害者の自立した地域生活を支えるために必要なサービスを提供できるよう支給決定しています。</p> <p>【課題】 障害者本人の状態に合わせた適正なサービス量の支給決定が必要です。</p> <p>【取組内容】 サービス利用にあたり作成するサービス等利用計画書を精査し、適正なサービス量の支給決定を行います。</p>				

障害者グループホーム等 運営費補助事業	小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
障害者支援課	継続	18,308		14,722	3,480	18,845	9,422	9,423
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
補助件数（件）	18	21	23	対象施設への入居者数（人）		92	102	107
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>国保連からの伝送請求データをベースに、新規入居者等の入退所に係る情報を正確に把握しました。また、対象施設における対象経費を入念に精査し、適正な金額を算出し補助金の交付をしました。</p>				<p>対象施設及び新規利用者が増加しているため、利用実績に係るデータを基に対象者の把握を正確に行います。国保連からの伝送請求データをベースに、各月における給付費の積算額を管理するとともに、対象者のタイムリーな情報を正確に把握していきます。</p>				

障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。 また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
障害者支援課	継続	662,184		778,312	21,039	969,592	725,045	244,547
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
障害児通所支援支給決定者（人）	526	626	676	障害児通所支援事業所利用者（人）		5,837	7,029	7,500
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>【取組内容】 児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを利用する障害児に障害児支援利用計画に基づき、適正な支給決定を行いました。</p> <p>【評価】 サービスを利用する障害児は増加しており、各障害児に合わせたサービス提供がされています。</p> <p>【改善点】 適正なサービス利用のため、障害児支援利用計画の精査や個々の状況に応じた支給量の決定が必要です。</p>				<p>【現状】 児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを利用する障害児に障害児支援利用計画の内容を審査し、本人の状態に合わせて適正な支給決定を行います。</p> <p>【課題】 更なる制度の周知を行うとともに、各障害児に合わせた適正なサービス量の支給決定が必要です。</p> <p>【取組内容】 障害児支援利用計画の精査を継続し、適正なサービス量の決定を行います。また、事業者との連携を図り、成長に合わせた療育の提供を目指します。</p>				

つばさ学園療育相談事業	心身の成長や発達に心配のある乳幼児及び児童に対し、相談、面接、診察、検査などを行い、総合的な相談をとおして、社会的な自立と地域生活に向けて支援します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
児童発達支援センター	継続	20,855		13,242	20,594	13,495	13,495	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
発達相談総件数（件）	715	1,010	1,030	目標発達相談総件数に対する実際に実施した相談総件数の割合（％）		100	100	100
新規発達相談件数（件）	246	256	261	初回面接に係る日数（日）		35.9	30.4	25
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>増加する相談者に対応するため、講師心理士の依頼日数を増やして心理士2名体制で相談に取り組み、初回面接に係る日数を減らす努力をしました。</p>				<p>初回面接にかかる日数が30日を越えております。市民サービスの低下を避けるため、発達相談業務の一部を委託し更なる相談業務の充実を図ります。</p>				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 健康福祉部 施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



自立と社会参加の促進

主管課：障害者支援課、児童発達支援センター 関連課：健康増進課、生涯学習課、スポーツ振興課、都市計画課

障害者地域生活支援事業	障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、手話等による意思疎通支援、日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、地域活動支援センター等による支援を行います。令和2年度から、新たに地域生活支援拠点の整備を進めるとともに、訪問入浴サービスについて、通年で週2回利用できるようにし、より一層の充実を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
障害者支援課	拡充	133,160		131,579	36,858	149,829	71,109	78,720
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
委託相談員の人数(人)	4	4	5	相談支援を利用している障害者の人数(人)		2,190	2,464	2,700
R1年度の実績と評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
市内3カ所の相談支援事業所との連携を図るため、定期的に連絡会を開催し情報共有を図りました。利用者のニーズに対応できるよう相談体制の充実を図るとともに、移動支援や日中一時支援等の実施事業所の充実を図っていきます。				各相談事業所との役割分担や相談窓口に関する周知を広く行っていきます。相談支援体制の充実を図るため、新規事業である地域生活支援拠点等の整備を行うとともに、委託相談支援事業所との連携を強化していきます。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	57.3	53.6	%	↑
生活保護受給者数	社会福祉課	1,708	1,750	人	—

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の実績 課題 取組み
<p>地域の福祉活動の担い手は、市民一人ひとり、地域、行政など、活動の内容や規模により様々です。地域の皆さんがそれぞれが、役割・活動できるよう「自助」「共助」「公助」という考え方を推進します。</p> <p>「自助、共助、公助」の考え方のもとに、地域に関わる全ての人が活動に参加しやすい環境づくりを目指してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉への関心、理解などの普及啓発</li> <li>・NPO法人やボランティアなどへの参加促進</li> <li>・平時からの地域での支え合い活動の促進</li> <li>・民生委員や社会福祉協議会などの関係団体等と連携した身近な相談体制の充実</li> <li>・福祉会館の適正な維持管理</li> </ul>	<p>地域の福祉活動の担い手は、市民一人ひとり、地域、行政など、活動の内容や規模により様々です。地域の皆さんがそれぞれが、役割・活動できるよう「自助」「共助」「公助」という考え方を推進します。</p> <p>地域の資源、個人、団体、地域に根ざした活動など様々な担い手の力をネットワーク化し、結集させるため、様々な担い手の参画を促してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉への関心、理解などの普及啓発</li> <li>・NPO法人やボランティアなどへの参加促進</li> <li>・平時からの地域での支え合い活動の促進</li> <li>・民生委員や社会福祉協議会などの関係団体等と連携した身近な相談体制の充実</li> <li>・福祉会館の適正な維持管理</li> </ul>

地域福祉の推進 主管課：社会福祉課 関連課：なし

地域支え合い活動推進事業	75歳以上の高齢者世帯や障害をお持ちの方などを対象に、市、自治会、民生委員・児童委員、関係機関、事業者等が連携・協力して、地域における孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
社会福祉課	継続	6,272		5,930	1,978		6,765	2,400	4,365
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
支え合い活動対象者名簿登録者数(人)	9,642	11,057	-	地域支え合い活動協力自治会数(自治会)		111	117	120	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
<p>地域に提供する名簿への登録について対象者に意向を確認し、これにあわせて名簿の更新を行い、自治会、民生委員・児童委員、高齢者なんでも相談室、消防、警察、社会福祉協議会等と名簿対象者の情報共有を図りました。名簿を受領し活動を実施する自治会に対し、協定を締結した年度及び後年度に係る活動の推進のため報償費を支給しました。また、自治会等への出前講座を実施するなど活動の普及を図りました。</p> <p>今後も、地域において支え合い活動への理解を普及するとともに、活動の継続・定着を図っていくための取組を継続していく必要があります。</p>				<p>自治会等からの頻度の高い質問や個人情報の取扱いについてのガイドブックを作成しており、内容の随時見直しを行いながら、出前講座等を通じて活動の普及を推進します。</p> <p>地域での支え合い活動の取組や災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けるなど、地域における孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。</p>					

福祉会館整備事業	市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点である福祉会館を安心・安全に利用出来るよう改修を行います。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
社会福祉課	継続	46,461		172,162	2,036		16,569	8,000	8,569
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
改修工事件数(件)	4	5	2	改修済工事件数(件)		4	5	2	
				福祉会館延べ利用人数(人)		424,108	380,230	-	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
<p>東深井福祉会館及び南流山福祉会館屋上防水改修工事実施しました。</p> <p>南流山福祉会館トイレ改修工事により福祉会館全館が洋式化されました。</p> <p>空調設備の保護のため南流山福祉会館空調設備格子設置工事を実施しました。</p> <p>下花輪福祉会館浴室増設外構工事を実施しました。</p>				<p>福祉会館ガラス飛散防止対策工事(東深井・流山・野々下・名都借)</p> <p>下花輪福祉会館機械室温水配管等更新工事の実施</p>					

生活困窮者支援 主管課：社会福祉課 関連課：子ども家庭課

生活困窮者自立支援事業	関係部局と連携を図り、生活困窮者に対し包括的・継続的な支援を実施し、自立生活に向けた支援を行っています。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
社会福祉課	拡充	31,014		31,005	792		34,216	24,324	9,892
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
自立支援相談件数(件)	185	210	230	プラン作成件数(件)		68	79	90	
住居確保給付金支給件数(件)	7	25	48						
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
<p>委託事業者と定期的な調整会議を実施し、利用者の状況及び方向性を検討しています。引き続き適切な支援を継続するため、関係部局と連携し、包括的・継続的な支援を行います。</p>				<p>令和2年度から、新たに家計に問題を抱える世帯に対し、専門家による助言・指導等の支援を実施します。</p> <p>地域や各関係機関への周知活動を継続して行い、一人でも多くの方を支援していけるよう取り組んでいきます。</p>					

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



生活困窮者支援 主管課：社会福祉課 関連課：子ども家庭課

生活保護業務電子化事業		生活保護世帯のケースファイルを電子化し、事務の効率化と相談業務の迅速化を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
社会福祉課	新規	5,863		4,689	4,616	3,955	0	3,955	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
電子化に移行した受給世帯数(1月末)(世帯数)		-	1,283	1,350	電子決裁化による用紙削減比(%)		-	0	40
					決裁事務の労力削減(時間)		-	0	700
R1年度の実績と評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
令和元年度は、紙ベースの書類を電子化する準備作業及びマニュアルの整備等を行いました。電子化の準備作業に関しては、地区担当ケースワーカー各自で適切に進行管理しながら実施しました。また、マニュアルの整備や事業担当者を設置することで、委託料の削減につながりました。令和元年度は準備作業が中心であったことから、紙決裁資料の削減による執務環境の省スペース化、紙使用量の削減、決裁事務時間の削減といった具体的な事業効果を得ることはできませんでした。					令和2年度から本格的に電子決済システムが稼働することから、地区担当ケースワーカーの理解度を高め、適切な運用管理を進めていく必要があります。具体的な取組として、紙決裁資料の削減により執務環境の省スペース化を図り、相談スペースの充実・拡張につなげます。また、紙使用量の削減、決裁事務時間の削減を進めていきます。				

被保護者健康管理支援事業		生活保護法に基づき、令和2年度から、新たに生活保護受給者へ経済的自立のみならず医療と生活の両面から支援を行います。被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理するとともに個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
社会福祉課	新規	0		0	0	3,000	2,250	750	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
健診受診勧奨(人)		-	-	900					
R1年度の実績と評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(新規事業のため記載なし)					多くの健康課題を抱える被保護者に対して、経済的自立のみならず日常生活自立・社会生活自立といった観点から医療と生活の両面において支援を行います。法改正により義務化された新規事業であるため、被保護者の健康課題に関する現状分析と保健・医療・福祉資源の活用及び連携に向けた準備が必要です。R2年度は、現状の医療・健康情報を調査・分析し、地域の被保護者の健康課題を把握します。また、検診未受診者への受診勧奨を行います。				

生活保護者熱中症予防対策事業		生活保護受給者の命を守るため熱中症予防対策としてエアコン本体及び設置費を支援します。生活保護法の一部見直しにより冷房器具の設置に関する支援が可能となりましたが、対象外となった平成30年3月31日以前に保護を開始した受給者へ冷房器具設置の費用を補助します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
社会福祉課	新規	0		0	0	5,920	0	5,920	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
設置(世帯数)		-	-	74					
R1年度の実績と評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(新規事業のため記載なし)					異常気象が常態化しており、熱中症による健康被害が発生しています。生活保護世帯でのエアコン未設置世帯を確認しているため、エアコン設置により生活保護受給者の命を守ります。				

生活保護法等に基づく扶助事業		生活保護受給者に各種扶助(生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭)を適正に実施します。また、就労支援を始めとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
社会福祉課	継続	2,826,200		2,976,226	118,656	2,904,074	2,223,163	680,911	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
生活保護受給者数(人)		1,708	1,750	1,974	保護率(%)		9	9	10
自立支援プログラム相談回数 ※被保護者就労支援事業分(回)		220	155	188	自立支援プログラム利用後、就労に至った人数(人)		5	5	5
R1年度の実績と評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
扶助費の適切な支給に努めました。また、積極的な自立支援プログラムの活用により自立に繋がる世帯がありました。今後も市役所内に関わらず、関係機関と連携して最後のセーフティネットの役割を果たしていきます。					高齢者世帯の増加が顕著になっていますが、様々な理由で制度に繋がらない要保護者の存在が見込まれます。地域包括支援センターや生活困窮者自立支援事業所と連携して、健康で文化的な最低限度の生活が遅れる様に支援を行います。				

主管部局 総合政策部 施策の目的 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	「平等感」における「平等である」の割合（まちづくり達成度アンケート）	-	14.2	%	↑
外国人の人口	住民基本台帳人口	2,737	2,984	人	-

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>人権尊重・男女共同参画、多文化共生、平和施策については、それぞれ普及・啓発事業を中心に取り組みました。</li> <li>男女共生参画については、第3次プランを踏まえ、第4次プランの策定を進めました。</li> <li>多文化共生については、オランダのホストタウンとして、オランダに関する講座を実施しました。</li> <li>平和施策の平和大使については、対象児童の増加などを踏まえ、募集人数を増やすとともに、低所得者世帯でも参加しやすいように、特例を設けました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これらの施策については普及・啓発が中心となりますが、中でも、前年の平和大使の改善のように、社会経済情勢の変化や市民ニーズを的確にとらえ、改善できるところは改善していきたいと考えています。</li> <li>また、オランダ関係の講座等については、事前キャンプへの機運を高めるように時期・内容を工夫していきたいと考えています。</li> </ul>

人権尊重・男女共同参画の社会づくり 主管課：秘書広報課、企画政策課 関連課：なし

男女共同参画社会づくり事業	第4次男女共同参画プランに基づき、市民及び職員等の男女共同参画意識の向上を図るための各種講座を実施するとともに、様々な悩みを抱える女性を対象に自らの力で問題を解決できるよう相談業務を実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
企画政策課	継続	3,912		3,661	7,106	3,658	0	3,658
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)	18	21	20	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)		35.8	32.1	35.7
				審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く付属機関等)(%)		37.5	36.0	38.0
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画審議会を開催し、審議会からいただいた答申を基に第4次男女共同参画プラン(素案)を作成、パブリックコメント手続を経てプランを策定します。</li> <li>現行の第3次プランにおける評価・総括を活かし、指標の達成状況に応じ、事業の取組に柔軟に対応できるプランを策定しました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次プランにおける最終年度となる令和元年度分の評価・総括を行い、公表します。</li> <li>第4次男女共同参画プランの進行管理及び翌年度の取組の照会を行います。</li> <li>第4次男女共同参画プランに基づき、啓発講座及び女性の生き方相談等を実施します。</li> <li>第4次プランの実施初年度は、第3次プランの最終年度における評価の報告と庁内照会の時期が重複しますが、次年度は解消する見込みです。</li> </ul>				

多文化共生社会づくり 主管課：企画政策課 関連課：なし

多文化共生推進事業	多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
企画政策課	継続	1,794		1,739	6,592	1,784	1,772	12
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
国際理解サポートセンターへの相談件数(件)	41	42	45	外国人住民にとって暮らしやすいまちだと思う市民の割合(%)		-	22.3%	23.0%
国際交流に関する講座の実施回数(回)	20	20	-					
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解サポートセンターを開設し、外国人住民等からの相談を受けるとともに、2020東京オリンピックパラリンピックにおけるオランダのホストタウンとして、小学生対象のオランダ教室やオランダ料理教室、外国人との接し方講座を実施しました。</li> <li>オランダのホストタウンであることについては、一定の認知度が確認できました。</li> <li>事前キャンプが行われる前までに、オランダに関する講座等を実施し、事前キャンプを盛り上げる一助としていきたいと考えています。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人住民への行政組織をわかりやすく伝えるため、職名の英語表記の統一化を図ります。</li> <li>オランダのホストタウンとして実施している小学生対象のオランダ教室と外国人との接し方講座については、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、今年度の実施について検討していきます。</li> </ul>				

平和施策の推進 主管課：企画政策課 関連課：なし

平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、千羽鶴の募集、平和ポスター展、平和大使の広島派遣、ユニセフ平和教室などの事業を実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
企画政策課	継続	1,727		1,723	2,637	1,793	600	1,193
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
平和施策に関するホームページの閲覧数(PV)	577	654	750					
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内3か所での平和ポスター展、千羽鶴の募集、市立小学5・6年生30名の平和大使の広島派遣、市内小学校2校でのユニセフ平和教室を実施しました。</li> <li>平和大使の広島派遣では、市民から寄せられた千羽鶴を平和記念公園に献納し、平和記念式典へ参加するなど、若年代の平和への関心を高めることができました。</li> <li>令和元年度からは、平和大使を30名に増やし、生活保護受給世帯及び就学援助受給世帯は自己負担なく平和大使に参加できる制度を設け、経済状況に関わらず応募できるよう努めました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代に平和の大切さや想いを繋ぐことについては、継続的に取り組んでいきます。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の平和大使の派遣は見送ることとしました。また、ユニセフ平和教室については、状況を注視しながら実施について検討していくこととします。</li> <li>平和ポスター展については、より幅広く平和について考える機会とするため、扱うテーマを見直し、合わせて実施期間も変更することで、効果のある事業となるよう努めていきます。</li> </ul>				

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）	34,375	35,834	人	↑
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したもの（千葉県健康福祉部）※値は2017(H29)年、2018(H30)年のもの	1.62(※)	1.67(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	51.6	56.8	%	↑

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者が気兼ねせず相談ができるように配慮しながら適切な相談やアドバイスに取り組んだ結果、229件の相談を取り扱うことができました。</li> <li>保育所整備においては、認可保育所10箇所、定員増2箇所併せて、727名の定員増を図りました。また、小規模保育所においては、2箇所整備し、37名の定員増を図りました。</li> <li>病児保育事業においては、新たに令和2年4月に病児対応型を1箇所開設し、病児保育の充実に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談業務（相談の機会）をより一層増やすため広く市民に周知していくとともに、青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話、窓口（相談室）での相談を充実します。</li> <li>児童館・児童センター整備において、おおたかの森地区では、設計及び工事を実施し、令和3年春季のオープンを予定しています。また、南流山地区においては、設計に取り組み、冬季からは工事を開始する予定です。</li> <li>保育所整備においては、認可保育所18箇所、また、小規模保育所においては、2箇所整備予定です。</li> <li>私立保育所等への配慮が必要な児童を預かった場合の支援や小規模保育所を卒園する児童の受け入れを積極的に行う私立保育所等に対し、連携支援コーディネーターの配置等の支援を実施し、保育の質の向上や待機児童の解消に努めます。また、保育士等の負担軽減のため、保育業務のICTシステム導入費用の一部を補助します。</li> </ul>

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課 健康増進課 関連課：なし

児童館・児童センター整備事業	児童の健全な遊び場を提供するため、おおたかの森地区及び南流山地区に新たに児童センターと子育て支援施設を整備します。 なお、南流山地区の施設には、地域図書館を併設します。 【おおたかの森地区】（児童センター） 令和2年度 内装工事 【南流山地区】（児童センター及び子育て世代活動支援センター） 令和2年度 設計、建設工事 令和3年度 建設工事						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
子ども家庭課	継続	69,561	17,820	8,626	526,612	343,200	183,412
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
(仮称)おおたかの森児童センター整備工事進捗率(%)	0	0	100				
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)	0	0	30				
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>おおたかの森地区、南流山地区において、施設整備に市民の意見を反映させるため、パブリックコメントによる市民参加を実施しました。</li> <li>南流山地区においては、設計に着手しました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>おおたかの森地区においては、設計及び工事を年度内に実施し、令和3年春季のオープンを予定しています。</li> <li>南流山地区においては、前年から引き続き設計に取り組み、冬季からは工事を開始し、令和4年春季のオープンを目指します。</li> </ul>			

子どもの遊び場整備事業	前ヶ崎子どもの遊び場の廃止に伴い、新たに前ヶ崎地区に子どもの遊び場を整備します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
子ども家庭課	一部新規	14,279	6,070	10,520	9,648	0	9,648
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
整備進捗率(%)	0	75	100				
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
<ul style="list-style-type: none"> <li>前ヶ崎子どもの遊び場の廃止に伴い、新たに前ヶ崎地区に子どもの遊び場の整備を行いました。</li> <li>土壌改良等当初想定していない工事が発生し、年度内に整備が終わりませんでした。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年5月8日に完了しました。</li> </ul>			

妊娠・出産・子育てサポート事業	令和2年度からは、妊娠期から子育て期までを、より一体的に見通し事業展開するために、「乳児家庭全戸訪問事業」と「養育支援訪問事業」を加え、さらなる「妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援」を進めていきます。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
健康増進課	継続	28,851	23,075	28,690	39,077	23,572	15,505
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
妊婦面談率(%)	49.8	98.6	100.0	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)	95.8	95.3	95.7
乳児家庭全戸訪問実施率(%)	93.7	94.4	95.0	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)	81.9	81.4	83.6
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
10月から開始した南流山センターと保健センター及びおおたかの森市民窓口センターの3か所で母子健康手帳交付面談を行い、妊娠期から子育て期までの支援プランを作成し、サポートを行いました。また、10月には保健センターと子ども家庭課の2か所を「子育てなんでも相談室」（子育て世代包括支援センター）として広報ながれやまで周知しました。				母子健康手帳交付時面談をできる場所が増えたことで、ほぼ全数の妊婦と面談できるようになりました。様々な相談や困りごとに対応するために、関係機関・団体と連携を深め、更なる支援体制の構築に努める必要があります。			

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課 関連課：なし

<b>私立保育所等運営補助事業</b>		待機児童の解消を目指し、保育所整備の推進と合わせた保育士の確保や、保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置経営する社会福祉法人等が私立保育所等の運営に要する経費の一部に対し、補助金を交付します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
保育課	拡充	1,414,856		1,438,678	7,910	1,681,132	392,389	1,288,743	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
補助施設数(件)	59	67	73	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み					
私立保育所等数67か所に対し、13事業の補助を実施しました。 私立保育所等が、配慮が必要な児童や小規模保育事業所を卒園する児童の受け入れをしやすいするためのあらたな補助事業について検討し、令和2年度当初予算に計上しました。 保育士等の負担軽減については、保育業務のICT化を行うための補助について検討し、令和2年度当初予算に計上しました。				令和2年度から、私立保育所等への配慮が必要な児童を預かった場合の支援を拡充します。 また、小規模保育所を卒園する児童の受け入れを積極的に行う私立保育所等に対し、連携支援コーディネーターの配置等の支援を実施します。 保育士等の負担軽減については、保育業務のICT化を行うためのシステム導入費用の一部を補助します。 令和2年4月時点の待機児童も0にならない見込みであることから、さらなる施設整備併せて、保育士確保のための新たな補助制度について検討します。					

<b>私立保育所整備補助事業</b>		待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
子ども家庭課	継続	1,082,521		1,167,442	8,626	1,778,310	1,517,689	260,621	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
整備箇所数(か所)	6	10	18	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	
整備により増加した定員数(人)	370	727	1,423						
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み					
・待機児童の解消を図るため、おおたかの森地区及び南流山地区を中心に、認可保育所10箇所(分園2箇所を含む)を整備し、定員増2箇所を合わせて727名の定員増を図りました。 ・子育て世帯が増加しているおおたかの森地区及び南流山地区を中心に保育所整備を行うことにより、待機児童数増加の抑止に努めることができました。 ・今後も待機児童の解消のため、おおたかの森地区及び南流山地区を中心に、認可保育所の整備を進めていく必要があります。				・待機児童の解消を図るため、子育て世帯が増加しているおおたかの森地区及び南流山地区を中心に、引き続き認可保育所の整備を進めていく必要があります。 ・今年度は、認可保育所を18箇所整備する予定です。 ・認可保育所を整備することにより、待機児童数ゼロの達成を目指します。					

<b>送迎保育ステーション事業</b>		市内在住の児童を対象とし、待機児童解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図るため、流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
保育課	継続	83,359		83,358	1,598	99,716	30,749	68,967	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)		49,291	45,876	50,000	
送迎バスの台数(台)	7	8	8	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み					
(取組内容) おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消を図ります。 (評価) 本事業の実施により、増え続ける保育需要に対応するとともに保護者の送迎における負担軽減を図りました。 (改善点) 今後も利用者の増加が見込まれることから、利用者増を想定した安全な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減に努めていきます。				(現状と課題) 令和2年4月1日に新園が6園開園したことで、待機児童については減少しましたが、送迎保育ステーション事業の需要も増大することが見込まれますので、引き続き安全な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減が課題となります。 (R2年度の取組内容) 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。					

<b>小規模保育事業所整備補助事業</b>		多様な保育ニーズにきめ細かく対応するため、市内に定員19名以内の小規模保育事業所を整備する事業者に対して、費用の一部を補助します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
子ども家庭課	継続	48,640		41,118	3,857	53,140	46,666	6,474	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
整備箇所数(か所)	2	2	2	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	
整備により増加した定員数(人)	38	37	38						
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み					
・待機児童の解消を図るため、南流山地区に小規模保育事業所2箇所を整備し、37名の定員増を図りました。 ・子育て世帯が増加している南流山地区に、小規模保育事業所を整備することにより、0歳児～2歳児までの待機児童数増加の抑止に努めることができました。 ・今後も0歳児～2歳児における待機児童の解消のため、おおたかの森地区及び南流山地区を中心に、小規模保育所の整備を進めていく必要があります。				・0歳児～2歳児における待機児童の解消のため、おおたかの森地区及び南流山地区を中心に、引き続き小規模保育事業所の整備を進めていく必要があります。 ・今年度は、小規模保育事業所を2箇所整備する予定であり、0歳児～2歳児の待機児童の解消を図ります。 ・小規模保育事業所を整備することにより、待機児童数ゼロの達成を目指します。					



主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課 関連課：なし

保育所改修事業	向小金保育所について、老朽化に伴う空調機更新工事を実施します。また、平和台保育所給食室にスチームコンベクションオープンの設置を実施します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
保育課	継続	13,961	13,932	2,283	13,966	0	13,966
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
改修箇所数(箇所)	2	3	2	公立保育所利用者数(4月1日)(人)	604	574	600
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
<p>平和台保育所においては、RC棟の空調機の老朽化に伴う更新を実施したほか、平成30年に策定した流山市子育て施設の個別施設計画に基づき木造建築部分の詳細診断を実施し、長寿命化の検討を行いました。</p> <p>向小金保育所の公共下水道本管接続工事を行いました。</p> <p>公立保育所の全ての建物の耐震は終了しましたが、ほとんどが築40年以上の建物であることから、今後引き続き、計画的に長寿命化のための改修を行う必要があります。</p> <p>平成30年度には公立保育所の全ての建物で屋上防水・外壁改修が終了しました。空調機器についても設置から15年以上経過しているものも多く、流山市子育て施設の個別施設計画に位置付けるなど、計画的な更新を検討する必要があります。</p>				<p>公立保育所の全ての建物の耐震は終了しましたが、ほとんどが築40年以上の建物であることから、今後引き続き、計画的に長寿命化のための改修を行う必要があります。</p> <p>空調機器についても設置から15年以上経過しているものも多く、流山市子育て施設の個別施設計画に位置付けるなど、計画的な更新を検討する必要があります。</p> <p>向小金保育所について、老朽化に伴う空調機更新工事を実施します。また、平和台保育所給食室にスチームコンベクションオープンの設置を実施します。</p>			

病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病期中・病気回復期の集団保育が困難な期間に当該児童を一時的に預かるものです。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
保育課	継続	30,890	30,838	1,051	64,263	34,168	30,095
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
病児及び病後児保育実施園数(園)	3	3	4	利用者数(年度ごと延人数)(人)	369	436	600
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
<p>(取組内容)</p> <p>平成16年4月1日に「わらしこ保育園」、平成29年4月1日から「オハナゆめキッズハウス」で病児保育、平成30年1月4日から「けやきの森保育園西初石園」にて病後児保育事業を実施しました。</p> <p>(評価)</p> <p>令和2年3月末時点で延べ436人の利用があり、病児保育の需要は高まっています。</p> <p>(改善点)</p> <p>病児保育の取組みについて、市民へ周知し必要な時に活用できるようにする必要があります。</p>				<p>病児、病後児保育の利用者が増加しており、特に病児保育事業の需要が高まっています。更なる病児の受け皿として流山セントラルパーク駅周辺に新たに病児対応型施設である「オハナゆめ保育園」が令和2年4月より開所し、病児保育の受け入れ体制が更に充実しました。令和2年度においては、病児保育に関する情報を周知し、必要な時に市民の方が利用できるように努めていきます。</p>			

学童クラブの充実 主管課：教育総務課、学校施設課 関連課：なし

学童保育運営事業	学童クラブの運営にあたり必要な支援員等の処遇改善等を実施します。						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
教育総務課	継続	81,312	129,394	12,945	93,830	50,477	43,353
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
研修開催件数(件)	3	2	2	学童クラブの延べ利用人数(人)	20,095	25,440	30,000
				放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)	11,455	20,404	22,400
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
<p>令和元年度は学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催したほか、処遇改善のため、経験に応じて支援員に対する処遇改善のための費用の支払いを行っています。</p> <p>さらに、学童クラブの安心・安全のため、順次防犯カメラを設置しています。</p>				<p>令和2年度においても、引き続き学童クラブ支援員等を対象に研修を実施するほか、処遇改善のための費用を支払います。</p> <p>学童クラブの防犯カメラについても新たな施設に設置を予定しています。</p>			

学童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、新たな学童クラブを創設します。令和2年度：創設工事監理業務委託(新設小学校(大畔地区)、八木北小学校区)、内装工事設計業務委託(小山小学校区)、建設工事(新設小学校区(大畔地区)、八木北小学校区、南流山小学校区)						
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
教育総務課	継続	179,220	364,194	10,745	482,742	403,435	79,307
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
学童クラブの整備後の定員数(人)	2,220	2,540	3,160	待機児童数(3月末)(人)	4	6	0
学童クラブの整備後の施設数(施設)	30	33	36				
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み			
<p>令和元年度には、鱈ヶ崎小学校区、東小学校区、流山小学校区において学童クラブの整備を行いました。八木北小学校区、新設小学校区においては、令和3年4月の開設に向けて整備が始まりました。今回施設整備した小学校区においては、定員の増加により高学年も含めた入所希望者を受け入れられる予定です。今後も児童推計を踏まえた計画的な施設の整備を行う必要があります。</p>				<p>令和元年度から整備を行っている、八木北小学校区、新設小学校区学童クラブについて、令和3年の4月の開設に向け、引き続き整備を行います。また、入所希望児童の増加に伴い、南流山小学校区に定員160名規模の新たな学童クラブを令和3年4月の開所を目指し、整備します。</p>			

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



学童クラブの充実 主管課：教育総務課、学校施設課 関連課：なし

民設学童クラブ運営委託事業	児童数の増加に対応するため、放課後児童育成事業の届出を行い、学童クラブを運営している民設民営の学童クラブに対し運営業務を委託します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
教育総務課	継続	14,000		14,000	1,369	17,300	8,036	9,264
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
運営委託単位数(単位)	2	2	2	待機児童数(3月末)(人)		4	6	0
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
小山小学校区で委託している民設学童クラブについて、平成30年度当初は定員80人のところ、入所者数は19人でしたが、令和元年度は76人と、ほぼ定員の入所者数でスタートしました。 前年度より入所者数が増加したため、委託法人、学校、指定管理者、市との連携を密にするよう考慮しました。今後も連携を図るよう努めます。				引き続き、学童クラブの需要の把握に努めるとともに、委託法人等の関係機関との連携強化を図っていきます。				

養育環境への配慮 主管課：子ども家庭課 関連課：児童発達支援センター

要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
子ども家庭課	継続	3,548		3,395	24,763	4,672	2,488	2,184
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
安全確認件数(%)	96.3	96.3	95以上	児童虐待による死亡児童数(人)		0	0	0
研修開催回数(回)	1	1	1	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		実施なし	実施なし	70
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
・児童福祉司、要保護児童対策地域協議会調整機関研修に積極的に参加し、要保護児童等の家庭に対する対応や知識を深めました。 心理士を配置し、心理面での対応やアドバイスを取り入れました。 ・年々児童虐待の相談件数が増加するとともに、複雑多岐にわたる相談も増えており、様々な視点からの意見を求めて方針を決定できました。 ・社会情勢も含めて変化に対応していく必要が求められます。さらに研修等に参加しそれぞれ知識を深めていきます。				・個々の異なるケースに対し、適切な支援ができるよう、個別支援会議等の開催を増やして個々の対応をしていきます。 ・引き続き、関係機関と情報共有・連携をし、支援の方針を立てます。				

ひとり親家庭等生活向上事業	子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和2年度からは、これまでの生活保護受給世帯及び児童扶養手当全部受給世帯に加え、児童扶養手当一部受給世帯を新たに対象とします。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
子ども家庭課	拡充	24,659		11,634	8,806	33,896	0	33,896
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
利用者数(人)	-	34	50	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		-	70	80
協力塾数(件)	-	24	30	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		-	78	80
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
・対象家庭に対して、早期より事業の案内やアンケートを送付し、4月からサービスを利用できるようにしました。また、アンケートの提出を促し、電話での連絡を含めて対象家庭全てに周知を行うことができました。 ・対象家庭に対してきめ細やかな案内を促していくことが必要です。 ・対象者をどのように広げていくかを検討し、経済的格差及び教育格差を解消します。				・対象者の希望した塾に対して協力を求めているが、様々な塾における理解や協力を増やしていく必要があります。 ・それぞれの塾が連絡や連携がとりやすいよう、個々に訪問し、顔の見える関係づくりを行います。				

青少年の健全育成の促進 主管課：生涯学習課 関連課：なし

青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないように、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
生涯学習課	継続	6,010		5,691	3,498	7,239	250	6,989
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				相談件数(件)		307	229	230
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
・相談者が気兼ねせず相談できるように配慮しながら、適切な相談・アドバイスなど行うことができるよう努めました。 ・相談者に対し、悩みや不安について思いを語れるよう、気持ちのゆとりや心のよりどころを求めることができるように接していきます。 ・相談内容により、必要に応じて学校等他機関との連携を図っていきます。				・悩みのある相談者が気兼ねせず相談できるように配慮することや、青少年相談室での相談業務(相談の機会)を広く市民に周知していきます。 ・適切に継続相談を実施し、必要に応じて学校(心の教育相談員、スクールカウンセラー)等との連携を図り、相談者に対しきめ細かなアドバイスを行うように努めます。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	62.6 66.2	68.5 65.3	%	↑
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	10,863 4,344	11,317 4,435	人	—
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）（2月）※小学校、中学校	2,675 545	3,003 466	件	—

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
<p>（取組内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒数の増加への対応と、市内小中学校の教育環境の整備を行うとともに、子どもたちの「生きる力」を育む教育として小学校外国語教育や道徳教育の推進、地域学校協働本部の設置に取り組みました。</li> </ul> <p>（評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南部中学校区、おおたかの森中学校区の地域学校を設置し、市内全中学校区に地域学校協働本部を立ち上げ、学習支援、行事支援、ボランティア活動など学校と地域が連携した様々な活動が実施できました。また、外国語教育推進のために、英語指導員スーパーバイザーを中心とした研修体制を構築しました。</li> </ul>	<p>（現状）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>T X沿線地域である中部、南部地域の児童生徒数が増加傾向となっています。</li> </ul> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒数の増加に対する小中学校の教育環境の整備が必要です。</li> <li>児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、市内小中学校のインターネット環境の整備及びICT機器の整備が必要です。</li> </ul> <p>（取組内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南流山地区及びおおたかの森地区における新設小学校の通学区域を検討します。</li> <li>ICT教育推進のための市内小中学校におけるICT教育環境を整備します。</li> </ul>

確かな学力の育成 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

学校サポート教員派遣研究事業	学校サポート教員による個に応じたきめ細かな指導を実施し、児童生徒の学力の伸長及び学校教育の活性化を図ります。また、児童生徒増に伴い、通常学級における特別な支援を要する児童生徒への対応に学校サポート教員を増員します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	継続	114,717		105,090	2,314	152,760	0	152,760
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
学校サポート教員配置数(人)	64	69	74	全国学力・学習状況調査(算数)の平均正答率(%)		-	69	70
				全国学力・学習状況調査(数学)の平均正答率(%)		-	62	70

R1年度の取組みと評価_改善点	R2年度の現状_課題_取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校サポート教員のうち、学習サポート教員を2名、指導員を3名増員しました。</li> <li>一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実や基礎学力の定着・向上にも効果をあげました。</li> <li>児童生徒数の増加にともない、通常学級に在籍しながら特別な支援を要する児童生徒は増加してきたため、引き続き事業を拡充していく必要があります。また、大規模校には、算数・数学学習指導員の複数配置を行う必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数・数学学習指導員を4名増員し、30学級を超える4つの小学校に複数配置します。</li> <li>一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実や基礎学力の定着・向上のために、学校サポート教員をさらに増員していく必要があります。</li> <li>新設小学校への学習サポート教員、算数・数学学習指導員の配置、および、大規模校への算数・数学学習指導員の複数配置を目指します。</li> </ul>

小学校英語活動推進事業	小学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手(ALT)を配置します。3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	継続	48,206		47,417	4,629	52,039	0	52,039
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
小学校ALT配置数(人)	8	8	8	英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるALT等の活用状況(%)		-	87.5	90.0
英語活動指導員一人あたりの指導時間の合計(時間)	9,143	9,730	9,800					

R1年度の取組みと評価_改善点	R2年度の現状_課題_取組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>英語指導員スーパーバイザーを1名、小学校ALT7名、英語活動指導員を18名雇用し、全小学校に配置しました。英語活動指導員の指導時間数を見直し、打合せや準備の時間を含めた時数に増加しました。</li> <li>学級担任と効果的なチームティーチングを行えるよう、英語指導員スーパーバイザーを中心とした研修体制を構築しました。</li> <li>学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語の教科化及び新学習指導要領の全面実施に伴う研修を充実させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語指導員スーパーバイザーを1名、小学校ALT7名、英語活動指導員を18名雇用して全小学校に配置し、小学校3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整えます。</li> <li>学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語の教科化及び新学習指導要領の全面実施に伴う研修を充実させます。</li> <li>外国語担当者及び英語活動指導員、小学校ALTの研修を年複数回実施します。</li> </ul>

中学校ALT配置事業	外国語指導助手(ALT)を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、コミュニケーション能力育成を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	継続	37,131		36,421	4,629	36,277	0	36,277
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
中学校ALT配置数(人)	9	9	9	英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるALT等の活用状況(%)		-	88.9	90.0

R1年度の取組みと評価_改善点	R2年度の現状_課題_取組み
<p>外国語指導助手(ALT)を中学校全校に配置し、コミュニケーション能力を総合的に育成するため、生徒が日常的に英語に触れるとともに、英語でコミュニケーションを行う機会充実を図りました。チームティーチングによる授業づくりを推進するとともに、新学習指導要領の全面実施に向けた研修を充実させます。</p>	<p>外国語指導助手(ALT)を中学校前項に配置し、生きた英語に触れるとともに、実際に英語を活用するという観点から、英語でコミュニケーションを行う機会の充実を図ります。言語活動の高度化に対応するため、ICTの活用やチームティーチングによる授業づくりを推進するとともに、新学習指導要領の全面実施に向けた研修を充実させます。</p>

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



確かな学力の育成 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

地域による学校支援事業	中学校区に学校支援地域本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校（小学校2校または1校、中学校1校）とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	継続	7,410		6,268	2,314	7,361	4,908	2,453
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
市内各中学校区本部設置数(校)	7	9	9	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)		-	42,199	42,700
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部中学校区、おおたかの森中学校区の地域学校協働本部を立ち上げ、新たに6人のコーディネーターを配置しました。</li> <li>・ボランティアによる活動も学習支援、行事支援、奉仕作業など学校と地域が連携した様々な活動を実施することができました。</li> <li>・改善点としては、各本部での活動に差があるので、研修会を通して共通理解を図り、流山市としてある程度水準を合わせた活動にしていきます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度開校する小学校のコーディネーターの準備</li> <li>・モデル校(中学校1校)のコミュニティ・スクール設置への準備</li> <li>・コミュニティ・スクール設置に向けて、どのような手順で進めていくべきなのか、また、設置後の運用計画の立案が課題です。</li> </ul>				

流山市部活動支援事業	「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」をもとに、モデル校に部活動指導員を配置し、部活動の更なる活性化と教職員の働き方改革を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	新規	4,000		3,112	846	4,000	0	4,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
部活指導員導入部活動数(部活)	-	8	8	部活動指導員による充実した活動ができたと感じる生徒の割合(%)		-	96	100
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で8名の外部指導員を中学校2校に4名ずつ配置しました。</li> <li>・外部指導員1名につき、年間で36日、72時間の指導を行いました。</li> </ul> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部指導員の指導について、生徒からの満足度は96%でした。</li> <li>・外部指導員が配置された部活動の教員からは、業務負担が減ったとの声が多く寄せられました。</li> </ul> <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は指導日数が年間で36日でしたが、日数や時間数を増やしていくことでより継続的かつ充実した指導ができるようにしていく必要があります。</li> </ul>				<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度は、試行として市内中学校2校に4名ずつ外部指導員を配置し、生徒からの高い満足度と効果を得ることができました。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導日数や指導時間を増やし、より継続的かつ充実した指導になるようにしていきます。</li> <li>・外部指導員の配置校数、配置人数を増やしていくことで、市内全体として効果を上げていきます。</li> </ul> <p>取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロポーザルを経て、令和2年度の業務委託先を選定しました。</li> <li>・初年度と同様に、市内で計8名の外部指導員を、中学校2校に4名ずつ配置します。</li> </ul>				

小学校教育指導運営事業	児童の読書活動を推進するため、学校図書館の充実をめめます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	継続	12,811		12,318	1,052	18,169	0	18,169
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	3.1	3.1	1.8	小学校図書貸出冊数(11月)(冊)		-	19,488	20,000
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書8名を各学校に配置しました。</li> </ul> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書が配置されたことにより、各学校で読書活動が推進されました。</li> </ul> <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。</li> </ul>				<p>取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書を昨年度の8名から12名としました。</li> <li>・経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置しました。</li> </ul> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書を増員したことで、勤務時間が確保され読書活動をより推進することができました。</li> </ul> <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。</li> </ul>				

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動を推進するため、学校図書館の充実をめめます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	継続	9,429		9,189	1,052	11,822	0	11,822
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	3.1	3.1	1.8	中学校図書貸出冊数(11月)(冊)		-	925	1,000
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書8名を各学校に配置しました。</li> </ul> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書が配置されたことにより、各学校で読書活動が推進されました。</li> </ul> <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。</li> </ul>				<p>取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書を昨年度の8名から12名としました。</li> <li>・経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置しました。</li> </ul> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書を増員したことで、勤務時間が確保され読書活動をより推進することができました。</li> </ul> <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。</li> </ul>				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

学校施設建設支援事業	大畔地区、南流山地区、おおたかの森地区に小学校を3校、大畔地区に中学校を1校建設するに当たって、経験豊富な建築技師や土木技師を有する民間企業に業務の支援を委託します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校施設課	新規	0		0	0	40,000	0	40,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
支援業務の進捗率(%)	-	-	20					
R1年度 of 取組みと評価_改善点				R2年度 of 現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし				(現状) 早急に新設小学校2校の建設スケジュールを作成する必要があります。 (課題) 令和6年4月の開校に向けて、厳しいスケジュール管理が必要となることが想定されます。 (取組内容) 発注者、支援業務受託者及び設計業務受託者として、打ち合わせを密に行い、スケジュールに遅延が生じないように管理を徹底していきます。				

ICT学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、市内小中学校のコンピュータの入れ替えや新規導入、インターネット環境の整備及びその他ICT機器を順次整備します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	継続	85,596		73,070	5,049	127,800	0	127,800
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
市内児童・生徒用コンピュータ数(台)	919	994	1,044	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		10.3	10.0	9.6
R1年度 of 取組みと評価_改善点				R2年度 of 現状_課題_取組み				
・小学校15校、中学校4校のノートパソコンをタブレットパソコンに入れ替えました。 ・西深井小・向小金小・八木中に校内無線LANを整備し、プロジェクタートを各1台ずつを導入しました。また、プログラミング教育用小型ロボットロボホン各4台ずつ導入しました。 ・特別支援用タブレットを144台新規にリース契約をしました。  ・タブレットパソコンに入れ替え、パソコンにインストールされているソフトの活用方法に関する研修会を行ったことにより、授業でICTを活用する頻度が増えました。 ・提示装置であるプロジェクタートの導入台数が少なかったため、計画的に導入し、授業でICT機器を活用しやすい環境を整えていきます。				・令和2年度は、中学校5校のノートパソコンをタブレットパソコンに入れ替えます。 ・特別支援学級用タブレットを新規に170台導入します。 ・国からの補助金を活用し、全ての学校に校内無線LANを整備します。 ・大規模校の小学校5校に可動式タブレットPC10台を導入します。 ・プロジェクタートを11校に合計59セット導入します。 ・プログラミング教育用小型ロボットロボホンを全小学校で活用できるようにします。 ・新設小学校には、パソコン室のPC40台、全ての教室にプロジェクターを設置、校内無線LAN整備を行います。 ・国からの補助金が採択されれば、小5、6年及び中1の児童生徒数の3分の2にあたる、3520台のタブレット端末を導入予定です。 ・課題としては、導入後の活用状況である。 ・令和2年度も研修会を実施予定で有り、各学校の校内研修会でも活用するよう推進していく。				

新設小学校(大畔地区)整備事業	令和3年4月に開校を予定している大畔地区の新設小学校に必要な教材消耗品等を整備します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
教育総務課	新規	0		0	1,613	19,000	0	19,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
入札件数(件)	-	-	8	消耗品の充実割合(%)		-	-	100
R1年度 of 取組みと評価_改善点				R2年度 of 現状_課題_取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし。				(現状) おおぐろの森小学校の令和3年4月開校に向け、必要な教材用消耗品等をそろえる必要があります。 (課題) 開校に間に合わせる入札スケジュールの管理が課題です。 (取組内容) 厳格なスケジュール管理のもと、必要な教材用消耗品等の入札を行います。				

新設小学校(大畔地区)備品整備事業	令和3年4月に開校を予定している大畔地区の新設小学校に必要な教育備品を整備します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校教育課	新規	0		0	4,675	227,079	0	227,079
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
教育委員会関係部署との打合せ回数(回)	-	-	12	備品の充実割合(%)		-	-	95
入札不調件数(件)	-	-	0					
R1年度 of 取組みと評価_改善点				R2年度 of 現状_課題_取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし				(現状) おおぐろの森小学校の令和3年4月開校に向け、必要な教育備品をそろえる必要があります。 (課題) 開校に間に合わせる入札スケジュールの管理が課題です。 (取組内容) 厳格なスケジュール管理のもと、必要な教育備品の入札を行います。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

八木北小学校校舎等建設事業		土地区画整理事業の影響による八木北小学校区での児童増加に伴い、教室数が不足することから、校舎増築と既存校舎改修を実施します。 令和2年度：校舎増築工事・既存校舎改修工事 令和3年度：給食室・屋内運動場増築工事						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校施設課	継続	637,724		311,912	4,285	1,135,288	943,166	192,122
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
校舎増築工事の進捗率(%)	1	37	100					
既存校舎改修工事の進捗率(%)	-	1	100					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
(取組内容) 発注者、監理者、施工者及び学校との協議により、事業スケジュールの調整を行いました。 (評価) 平成30年度の課題であった学校運営への影響の縮小について、一定の成果がありました。 (改善点) 令和2年度は、教室の引っ越し等、更なる学校運営への影響が予想されるため、引き続き関係者間での協議・調整を行っていく必要があります。				(現状) 校舎増築工事に加え、既存校舎改修工事も本格化します。 (課題) 既存校舎改修工事の本格化による、工事関係者及び工事エリアの拡大並びに増築工事の完成に伴う、教室の引っ越しが発生するため、学校運営への影響が懸念されます。 (取組内容) 発注者、監理者、施工者と学校との協議による各種調整を行っていきます。				
新設小学校建設事業		土地区画整理事業の影響による、おおたかの森小学校区及び小山小学校区の児童増加に対応するため、令和3年4月の開校に向けて、大畔地区に新たに小学校の建設を進めます。 令和2年度：建設工事						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校施設課	継続	2,222,428		963,963	13,382	3,629,900	3,350,904	278,996
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
造成工事の進捗率(%)	16	83	100					
建設工事の進捗率(%)	-	12	100					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
(取組内容) 地権者移転手続きや埋蔵文化財調査との日程調整を行い、工程管理に努めました。 (評価) 複数の要素から、計画工程に比べて遅れが生じました。 (改善点) 令和3年4月の開校に向けて、効果的に工期短縮を行い、工事を進めていく必要があります。				(現状) 工程表に基づき工事を進めています。 (課題) 備品整備を含めて、令和3年4月の開校に支障のないように工事を進める必要があります。 (取組内容) 工期短縮に向けて、工事関係者と具体的な対策について協議を行っていきます。				
新設小学校(南流山地区)建設事業		土地区画整理事業の影響による、南流山小学校区の児童増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に新たに小学校の建設を進めます。 令和2年度：設計 令和3年度：設計、建設工事 令和4年度：建設工事						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校施設課	新規	0		0	0	87,492	87,492	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
設計業務の進捗率(%)	-	-	34					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし				(現状) 用地調査の結果を基に、用地を選定中です。 (課題) 市の方針を定めて、関係機関に説明する必要があります。 (取組内容) 市の計画方針の説明、ワークショップなどによる意見を聴取し、民意を反映した計画を進めます。				
新設小学校(おおたかの森地区)建設事業		土地区画整理事業の影響による、おおたかの森小学校区の児童増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に新たに小学校の建設を進めます。 令和2年度：設計 令和3年度：設計、建設工事 令和4年度：建設工事						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校施設課	新規	0		0	0	51,057	51,057	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
設計業務の進捗率(%)	-	-	34					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし				(現状) 用地について土地区画整理事業者と協議を行っています。 (課題) 土地区画整理事業の進捗状況によって、用地の造成が完了していません。 (取組内容) 土地区画整理事業者と協議を密にし、計画を進めます。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

新設中学校建設事業	大畔地区に建設する新設小学校と小山小学校の児童数の増加による、進学先となる中学校の需要の増加に対応するため、令和4年4月の開校に向けて、大畔地区に新たに中学校の建設を進めます。 令和2年度：設計、建設工事 令和3年度：建設工事							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校施設課	継続	270,318		187,912	7,252	2,471,255	2,223,253	248,002
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
造成工事の進捗率(%)	-	25	100					
建設工事の進捗率(%)	-	-	28					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
(取組内容) 基本設計は完了し、実施設計に着手しました。現地では、造成工事に着手しました。 (評価) 基本設計策定に係るパブリックコメントを実施し、民意の反映に努めました。 (改善点) 近接するおおぐろの森小学校建設工事との調整が必要になると考えられます。				(現状) 実施設計及び造成工事を進めています。建設工事の発注を準備しています。 (課題) 近接地におけるおおぐろの森小学校建設工事と、一体的、計画的に整備する必要があります。 (取組内容) 安全面、工程管理において、近接するおおぐろの森小学校建設工事との調整を行っていきます。				

学校用地(中学校)取得事業	大畔地区に新設する中学校建設のための用地を取得します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校施設課	継続	809,490		854,204	3,701	0	0	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				用地取得割合(%)		13	100	-
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
(取組内容) 中学校開校に必要な用地の確保のため、地権者交渉を行い、用地購入等に努めました。 (評価) 購入又は賃貸借により、予定していた全ての土地を学校用地として確保しました。 (改善点) 令和元年度において、目的達成により事業は終了となりました。				前年度で終了したため記載なし				

教育・文化及びスポーツ振興基金積立事業	教育・文化・スポーツ施設等の用地取得及び建物等の新設、改築等に必要な財源を積立てます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
教育総務課	継続	14,584		970,960	2,255	3,754	3,752	2
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				ふるさと納税寄附件数(件)		413	228	228
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
教育施設、生涯学習施設の充実や広く教育、文化及びスポーツ振興のため、ふるさと納税による寄附や一般の寄附を受け付け基金を積み立てます。				ふるさと納税の制度の見直しが行われ、規制が厳しくなり、返礼品の基準も厳しくなったことから、寄附が減少している状況です。 国の制度設計の動向を見守っていく必要があります。				

給食室等改修事業	経年により給食施設の損耗、機能低下に対する復旧措置及び保健所等からの指摘・改善要望に対応するために改修します。 令和2年度 調理場復旧設計(長崎小学校) 調理室エアコン設置工事(八木南小学校、南流山中学校)							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校施設課	継続	33,681		35,597	3,296	57,629	43,100	14,529
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				調理場への空調設備整備率(%)		-	9	18
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
(取組内容) 執務環境改善に向けて、小中学校各1校の調理場に空調設備を整備しました。 (評価) 夏休み中に工事を完了させ、2学期からの使用を可能にしました。 (改善点) 一定の効果は見られるものの、火気使用施設のため、更なる検討が必要です。 また、空調設備が整備されていない小中学校への整備が必要です。				(現状) 令和2年度においても、小中学校各1校の整備を行います。 (課題) 学校運営への影響を考慮した工程調整が必要です。 (取組内容) 昨年度設置した学校からの意見を反映させて、整備内容の改善に努めていきます。				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課: 教育総務部 学校教育部 関連課: なし

子ども専用いじめホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTOPit」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	継続	5,578		5,526	5,392	6,680	0	6,680
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
「子ども専用いじめホットライン」の相談数(件)	14	12	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		99.0	82.6	100
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	19	23	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消数)(%)		96.9	79.0	100
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・児童生徒に、電話やアプリ、メールでの相談環境があることを、カードやポスター、広報なぐれやま等で周知しました。 ・STOPitアプリの登録を積極的に周知したことで、登録率が昨年度の4.5%から5.6%に上昇しました。 ・相談方法についてさらに周知を広め、相談しやすい環境を整えいじめの早期発見・早期解決を図ります。				・「いじめ報告・相談アプリ」での相談件数は増加していますが、「子ども専用いじめホットライン」の電話相談件数は減少しています。 ・相談方法を周知することや、アプリの登録率を上げることで相談しやすい環境を整えます。 ・長期休業前後の時期に、繰り返し相談方法について児童生徒に周知し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



児童・生徒の安全確保と健康増進

主管課: 教育総務部  
学校教育部

関連課: なし

いじめ防止対策推進事業	スクールソーシャルワーカー等を配置し、いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行います。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにQ-U（学級集団アセスメント）を実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
指導課	拡充	195		1,699	3,507	18,582	0	18,582
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
小学校いじめ認知件数(2月まで)(件)	2,675	3,003	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		99.0	82.6	100
中学校いじめ認知件数(2月まで)(件)	545	466	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		96.6	79.0	100
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし				<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止相談対策室を新設し、いじめ・虐待、教職員の不適切な指導・体罰に対する相談に迅速に対応します。</li> <li>スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカーを導入し、関係機関等との連携を図り、より専門的な見地から対応していきます。</li> <li>小学校4年生から中学校2年生の全児童生徒に、年2回ハイパーQUを実施し、よりよい学校生活や友達づくりのために活用していきます。</li> </ul>				

学校サポート看護師派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置します。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するための看護師を配置します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校教育課	継続	13,490		11,478	3,156	18,234	0	18,234
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
学校サポート看護師人数(人)	9	10	11	養護教諭による学年学級への指導時間数(時間)		134	127	130
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
小中学校に養護教諭が不在となる時も、学校サポート看護師を派遣することで、保健室を機能させることができると成果を上げています。今年度の派遣回数は127回でした。				今後、医療的ケアを要する児童生徒に対し、学校や学校サポート看護師が医療的ケアを実施できるよう、ガイドラインを策定の上、対応するようにしていきます。				

学校給食施設管理事業	学校給食調理業務に必要な消耗品や備品を整備するとともに、給食設備の点検及び清掃等を行うことにより、安定的な給食の提供と衛生管理の徹底を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校教育課	継続	111,352		107,820	3,075	111,517	0	111,517
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
給食設備・機器の点検実施回数(回)	289	289	289	学校給食における食中毒発生件数(件)		0	0	0
施設・設備の清掃等実施回数(回)	88	123	123	保健所巡回による1校当たりの衛生管理指導事項数(件)		4	4	0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>調理業務に必要な消耗品・備品の整備、給食設備の点検・清掃等を行いました。</li> <li>給食管理システムを令和元年10月から変更し、経費の節減に努めました。</li> <li>備品点検の実施により、計画的に備品の更新を行うことができました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>調理業務に必要な消耗品・備品の整備、給食設備の点検・清掃等を行います。</li> <li>害虫駆除について、現在は殺虫剤による対応ですが、専門業者による駆除を行うことにより、衛生管理の徹底を図ります。</li> </ul>				

学校給食公会計化事業	これまで学校ごとに管理していた給食費を市で一括管理することにより、学校現場の負担軽減や保護者の利便性向上を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
学校教育課	新規	6,520		4,362	6,943	907,312	898,676	8,636
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
電話による催告件数(件)	0	0	-	給食費徴収率(%)		0	0	99
文書による催告件数(件)	0	0	-					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度は、規則の制定、システムの導入、同システムへの情報入力業務のほか、関係手続きについて保護者・学校への周知等を行いました。</li> <li>口座振替手続きの完了していない保護者への手続きの促しを行いました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>公会計化の実施に向け、必要な準備に漏れないよう、事務の精査を行います。</li> <li>学校担当者やシステム業者と詳細な打ち合わせ等を行い、事務の適正な遂行に努めます。</li> </ul>				



施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営								主管課：財政調整課							
市税等納付コールセンター事業		現年度課税の滞納整理を強化し収納率の向上、収納額の増加及び累積滞納を防止し、安定した財源確保を図るため、現年度課税分に特化し電話等による催告業務を民間委託により行うものです。													
担当課	区分	R1当初予算			R1決算見込	R1職員給与費(目安)			R2当初予算	R2特定財源			R2一般財源		
税制課	継続	4,530			4,529	660			4,739	0			4,739		
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2目標				
電話催告件数(件)	5,932	7,003	8,000	催告後2か月以内に納付された件数(件)				3,221	4,863	5,000					
文書催告件数(件)	2,305	4,346	-	現年度課税の徴収率(%)※参考				99.32	99.32	99.32					
R1年度の取組みと評価_改善点							R2年度の現状_課題_取組み								
平成30年度に開始した本事業の効果を踏まえ、令和元年度から3年度までの3か年事業とし、事業者との連携強化を図るため、事業報告・検討会を毎月行いました。検討会における意見や提案から、架電率の向上のため電話帳ソフトの導入や架電時間帯の工夫を行い前年度と比較し架電率が向上しました。今後も本事業を活用した、より効果的な滞納整理の検討が必要です。							コールセンターでの架電催告は、電話番号の入手が全件に及ばないことや、相手方の着信拒否などにより架電率は頭打ちとなってしまったため、不在着信の方に対して行う文書催告の増加が今後見込まれます。								

資産活用								主管課：財産活用課							
本庁舎施設管理計画事業		本庁舎建設から30年以上が経過し、老朽化していることから、設備の更新を行うものです。令和2年度受変電設備改修等 令和3年度 受変電設備改修、駐車場整備工事等													
担当課	区分	R1当初予算			R1決算見込	R1職員給与費(目安)			R2当初予算	R2特定財源			R2一般財源		
財産活用課	継続	32,196			25,324	6,592			18,044	13,668			4,376		
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2目標				
改修工事費(千円)	0	18,748	14,090	改修等必要箇所数(件)				15	12	11					
R1年度の取組みと評価_改善点							R2年度の現状_課題_取組み								
・庁舎設備について定期点検を実施しました。 ・本庁舎建設から30年以上が経過し、老朽化していることから設備更新や改修の検討を進めました。 ・令和元年度は、第1庁舎トイレ改修、議員控室改修、駐車場整備工事を実施しました。							・庁舎設備が経年劣化等により修繕箇所が増加しています。 ・庁舎設備について、計画的に改修を行う必要があります。 ・令和2年度は、受変電設備改修、高濃度PCB処分を行います。								

ファシリティマネジメント推進事業		各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図るものです。													
担当課	区分	R1当初予算			R1決算見込	R1職員給与費(目安)			R2当初予算	R2特定財源			R2一般財源		
財産活用課	継続	1,319			1,196	18,871			1,319	1,319			0		
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2目標				
ファシリティマネジメント施策の実施件数(件)	35	36	37	ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)				11,783	7,840	7,918					
改修等営繕に係る設計・監督実施件数(件)	38	39	40												
R1年度の取組みと評価_改善点							R2年度の現状_課題_取組み								
・ESCO事業・包括施設管理業務委託・有料広告、第5回事業者提案制度などの各種FM施策を民間企業等と連携しながら進めました。 ・また、学校以外の公共施設の改修等の営繕に係る設計・現場監理を行いました。 ・施策の展開により事業の拡大が図られ、歳入面では独自財源の確保などの効果が出ています。 ・資産の活用面では官民連携を引き続き行い、施設の長寿命化に寄与する改修を進めていく必要があります。							・各種FM施策を実施することにより、市の資産を十分に活用できています。 ・また、施設の改修設計・監理を行うことで長寿命化が図られています。 ・現在取り組んでいるFM事業を継続的に推進します。 ・第5回事業者提案制度の採用案件について、新たに事業化すべく協議を進めます。								
※なお、主な成果指標「ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)」に係る令和元年度歳入実績の減少の主となる要因は、第3庁舎の貸付終了によるものです。															

組織・人材								主管課：人材育成課							
政策法務推進事業		政策法務推進計画に基づき、研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務を実施します。													
担当課	区分	R1当初予算			R1決算見込	R1職員給与費(目安)			R2当初予算	R2特定財源			R2一般財源		
総務課	継続	4,047			3,672	9,888			4,143	0			4,143		
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2目標				
研修受講者数(人)	208	220	200	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数(人)				93	112	132					
R1年度の取組みと評価_改善点							R2年度の現状_課題_取組み								
・政策法務研修計画に基づき各研修を実施しました。また、申請に対する処分をテーマに行政リーガル・ドックを実施しました。 ・研修及び行政リーガル・ドックを継続して実施してきたことにより、職員の政策法務に対する意識が向上しています。 ・全庁的に更なる政策法務に対する意識向上を図るため、継続して研修及び行政リーガル・ドックを実施する必要があります。							・研修及び行政リーガル・ドックを継続して実施してきたことにより、職員の政策法務に対する意識が向上しています。 ・全庁的に更なる政策法務に対する意識向上を図るため、継続して研修及び行政リーガル・ドックを実施する必要があります。 ・政策法務研修計画に基づき各研修を実施します。また、申請に対する処分をテーマに行政リーガル・ドックを実施します。								

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

組織・人材									
職員研修事業									
職員一人ひとりの資質の向上や専門知識の習得を図るため、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として政策自主研修を行う職員に研修に係る経費等を助成します。									
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
人材育成課	継続	17,327		15,539	9,852	18,559	388	18,171	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
職員数(毎年4月1日現在)(人)		1,056	1,078	1,102	職員自主研修助成者数(人)		45	37	45
集合研修実施件数(件)		28	27	27	派遣研修派遣職員数(人)		55	59	67
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<p>人材育成基本方針に基づき、期待以上の市民サービスが提供できる職員を育成するため、接遇研修やマナー研修などを実施しました。</p> <p>さらには、自治大学校や市町村アカデミーなどに職員を派遣し、庁内研修では得ることのできない専門的な知識の習得や他の自治体職員との交流を深めることにより、情報の人的ネットワークの構築に努めました。</p>					<p>女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が制定され、女性が活躍できる環境作りや意識の改革が求められています。流山市においても、女性の管理職への意欲を向上させるような研修を検討していく必要があります。</p> <p>研修の内容について、研修後のアンケートの内容や委託業者のノウハウを生かし、研修内容の充実に努めていきます。</p>				

行政経営									
インターネット議会中継システム事業									
流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有化を図ります。また、令和元年第3回定例会から導入した本会議の手話同時通訳中継を引き続き実施し、より分かりやすく開かれた市議会を目指すものです。									
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
議会事務局	継続	6,111		4,076	4,909	6,590	0	6,590	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
インターネット配信回数(回)		24	25	24	インターネット配信閲覧者延人数(人) ライブ中継(人)		12,556	12,198	12,600
					インターネット配信閲覧者延人数(人) 録画中継(人)		3,907	5,945	6,000
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<p>・本会議の様子をインターネット中継し、広く市民の皆さま等に議会の様子を伝えました。</p> <p>・議場内の映像、音響システムの老朽化に伴う不具合に対する抜本的な対応として、新たなシステムの導入をし、第3回定例会より運用を開始しました。また、第2回定例会まで行っていたタブレット採決について、老朽化による不具合が多く発生したことから、ボタン式の新たな採決システムを導入するとともに本会議の手話同時通訳をインターネット中継することで、より多くの方に議会の様子を伝えることが可能となりました。</p> <p>・本事業については、本会議中の議員による採決操作が非常に簡易になったことにより、採決時間を短縮できた他、県内でいち早く手話同時通訳を導入したことにより、耳の不自由な方にも市議会の様子を分かりやすくお伝えすることが可能となったことについて、非常に高く評価できるものと考えています。</p> <p>・引き続き、わかりやすく開かれた市議会を目指し、安定したインターネット中継を行っていく必要があります。</p>					<p>・昨年度導入した新たな映像・音響システムについて、適切な運用、保守に努めていきます。</p> <p>・新たな採決システムの導入により採決時間の短縮が実現しました。</p> <p>・手話同時通訳の導入により、耳の不自由な方にも市議会の様子を分かりやすくお伝えすることが可能となりました。</p> <p>・今年度も引き続き安定したインターネット中継を行い、より分かりやすく開かれた市議会を目指すものです。</p>				

議会ICT推進事業									
流山市議会ICT推進基本計画に基づき、市議会ホームページの充実とセキュリティの向上を図りオープンデータの活用を継続することによって、より一層市民に開かれた市議会の実現を目指すものです。									
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
議会事務局	継続	292		77	351	330	0	330	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
Facebookコラム掲載数(回)		12	12	12	流山市ICT推進基本計画に基づく実施計画事業数に対する実施事業割合(%)		94	96	96
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<p>市議会のホームページは、平成24年10月から市のホームページから独立し、独自ドメインを取得し、迅速な情報提供を行っています。また、平成30年度から市議会ホームページの暗号化を実施し、セキュリティの向上を図っています。</p> <p>市議会独自のホームページであることから、市議会の情報掲載を議会独自に迅速に行うことができ、積極的に情報発信ができていた点について、評価できるものと考えています。</p> <p>今後も積極的に議会情報について発信を行い、より一層市民に開かれた市議会の実現に向け取り組んでいくべきと考えています。</p>					<p>市議会独自のホームページであることから、積極的に市議会情報の発信を行っています。今年度も引き続き、積極的な発信を行い、より一層市民に開かれた市議会の実現に向け取り組んでいくべきと考えています。</p> <p>平成30年度からホームページの暗号化を実施し、セキュリティの向上を図っていますが、引き続き業者と連携を取り、安定したセキュリティの確保に努めていく必要があります。</p>				

全庁LAN整備事業									
パソコン配備やインターネット環境の構築等、情報通信基盤である全庁LAN環境を維持管理します。また、AIを活用した議事録作成支援システムの導入により事務の軽減を図るとともに、マイナンバー制度の運用に伴い、市民の個人情報等の安全管理を徹底するための情報セキュリティ対策を実施します。									
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
情報政策・改革改善課	拡充	73,496		91,478	5,026	218,753	6,451	212,302	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
全庁LANパソコン整備台数(台)		973	1,007	1,077	配備に対する全庁LANパソコン不足台数(台)		0	0	0
標的型攻撃メール対策機器ウイルス処理件数(件)		432	482	600	ウイルス感染件数(件)		0	0	0
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<p>【庁内パソコンのWindows10へのアップデート】</p> <p>・Windows7のサポートが令和2年1月で終了することから、年度中に426台のパソコンをWindows10に更新し、全てのパソコンを安全な状態に保つことができました。</p> <p>【RPA及びAIの導入、実証実験】</p> <p>・業務の効率化し、職員は職員でしかできない業務に専念するため、RPA(業務自動化システム)の導入及びAIを活用した議事録作成支援システムの実証実験を行いました。</p> <p>【情報セキュリティ外部監査の実施】</p> <p>・情報セキュリティを適正な状態に保つため、外部機関からの情報セキュリティ監査を実施しました。</p> <p>※補足：本事業は、平成30年度予算から20,000千円程度の繰越があるため、当初予算を決算見込が上回っています。</p>					<p>【庁内パソコン】</p> <p>・不足するパソコンが70台程度あり、職員がICTを活用した業務を遂行できるよう、早期に配備を行う必要があります。</p> <p>【RPA及びAIの導入】</p> <p>・RPAを導入する事務の拡大を図るとともに、AIを活用した議事録作成支援システムについては、実証実験を踏まえ、本格導入を予定しています。引き続き、AIの調査研究を行い、業務効率化を進めてまいります。</p> <p>【情報セキュリティ対策の強化】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックの開催は1年延期となりましたが、情報セキュリティ上のリスクが引き続き高い状態が想定されることから、対策の継続及び強化を行います。</p>				

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

行政経営								主管課:							
北上市との姉妹都市締結 (姉妹都市締結事業)		友好都市の岩手県北上市との間で、将来にわたり文化交流や親善を深めることとし、姉妹都市の盟約を交わします。令和2年1月29日に調印式典及び締結祝賀会を開催します。													
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源						
企画政策課	新規	933		609	1,978		0	0	0						
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標						
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み										
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年第4回定例会において姉妹都市締結に係る「盟約」について議会の議決をいただきました。</li> <li>令和2年1月29日、流山市役所において、相馬市、信濃町、能登町の関係者の立ち合いのもと、北上市と姉妹都市の盟約を締結しました。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度で終了したため記載なし。</li> </ul>										
公文書一元管理事業		公文書を一元的に管理することにより、市民等の情報公開の申請又は要望に適切に対応します。現在の書庫の収容量は限界に近づいているため、令和2年度中に電動書架を増設します。													
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源						
総務課	継続	197		174	2,665		19,334	14,200	5,134						
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標						
書庫(水道局跡地)の収納率(%)		95.1	97.7	83.5	保存文書の集約率(%)		84.2	83.5	84.0						
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み										
<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書を適切に保管し、情報公開の申請等に対応しました。電動書架増設に係るスケジュール等の検討を行いました。</li> <li>適切な公文書の保管を行っています。電動書架増設に向けた対応を行っています。</li> <li>電動書架増設に向けた具体的な作業手順を決定する必要があります。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>電動書架増設工事請負契約を締結します。</li> <li>電動書架増設工事に当たり、保存箱の置き場所の指定等の具体的な作業手順を決定します。</li> </ul>										
広報発行事業		広報ながれやま(月3回。年間37回のうち3回は特集号、年1回の号外特集号)をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布(新聞折り込みや宅配など)します。また、市ホームページや携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ(マスメディアへの情報提供)などを通じて市政情報を広く発信します。													
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源						
秘書広報課	継続	45,779		44,446	24,546		47,123	0	47,123						
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標						
					「マチイロ」の登録件数(件)		3,724	4,775	5,700						
					広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合(%)		72.3	77.1	78.0						
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み										
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容 転入者向けに「マチイロ」(広報紙などを閲覧できる行政情報アプリ)の案内資料を配布しました。</li> <li>評価 増加する人口に対して、電子媒体での広報紙閲覧を促進することができました。</li> <li>改善点 転入者以外にもマチイロの利用を周知する必要があります。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>現状 マチイロの登録件数が順調に増加しています。</li> <li>課題 30代、40代以外のマチイロ登録者が少ない状況です。</li> <li>取組内容 マチイロの利用を多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行います。</li> </ul>										
見やすく分かりやすいホームページ運営事業		市の公式ホームページについて、CMS(コンテンツマネジメントシステム)を利用した管理・運営を行い、「見やすく」「分かりやすい」情報提供を行うことで、流山市民はもとより市外の方や企業の方にも流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信します。													
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源						
秘書広報課	継続	6,175		6,059	3,507		6,550	2,000	4,550						
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標						
					市ホームページの月平均ページビュー数(回)		783,721	897,824	900,000						
					ページ内アンケートで「ページを見つけやすい」と答えた人の割合(%)		66.05	62.27	67.00						
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み										
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容 ウェブアクセシビリティに配慮したページとなるよう、ページデザインを更新しました。</li> <li>評価 上記更新を行ったページは、総務省が提供するアクセシビリティ評価ツールによりチェックを行い、エラーが生じていないことを確認しました。</li> <li>改善点 リンク切れが生じないよう定期的に確認する必要があります。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>現状 ページ内アンケートで「ページを見つけやすい」と答えた人の割合が低下しています。</li> <li>課題 市ホームページを訪れる人が目的のページにより到達しやすいサイト構成・ページ内容とする必要があります。</li> <li>取組内容 各ページに最新の情報を掲載すると共に、不要なページは削除するよう全庁的に促すほか、サイト構成についても適宜見直しを行います。</li> </ul>										

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

行政経営								主管課:	
広聴活動事業		書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。 掲載した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
秘書広報課	継続	13,024		12,440	21,737	14,306	0	14,306	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
タウンミーティング開催回数(回)		8	9	9	無作為抽出型タウンミーティングに「満足した」と回答した参加者の割合(%)	-	81.9	82.0	
					住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合(%)	73.9	72.0	74.0	
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容</li> <li>サイレントマジョリティ及び若年層の意見を抽出するため、無作為に抽出した18歳~59歳の市民をタウンミーティングに招待する試みを行いました。</li> <li>評価</li> <li>当日のアンケートでは「満足だった」との回答が81.9%を占め、自由記述欄においても概ね好意的な意見をいただくことができました。</li> <li>改善点</li> <li>タウンミーティングの司会を市職員(秘書広報課長)が行うと「市民対行政」という構造になるため、より建設的な議論を行うための工夫が必要です。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>現状</li> <li>タウンミーティングの司会を市職員(秘書広報課長)が行うと「市民対行政」という構造になりやすい現状があります。</li> <li>課題</li> <li>より建設的な議論が生じやすい環境を整えることが必要です。</li> <li>取組内容</li> <li>司会に外部のファシリテーターを採用し、第三者の視点を交えた公平・公正な進行を行うことで、議論の質的向上を目指します。</li> </ul>				
次期総合計画の策定(基本計画・実施計画進行管理事業)		市民意識調査などの基礎調査や総合計画審議会からの答申を踏まえ、基本構想・基本計画の策定を進めます。平成31年9月にパブリックコメント、第4回定例会に議案の上程を予定しています。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
企画政策課	継続	7,512		7,470	19,776	0	0	0	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>8月 素案の策定</li> <li>9月 パブリックコメント手続の実施</li> <li>タウンミーティングの開催</li> <li>11月 「基本構想・基本計画」議案を上程</li> <li>12月 「基本構想・基本計画」議案の議決</li> <li>平成29年度から進めてきた、次期総合計画の策定について、形にすることができました。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度で終了したため記載なし。</li> </ul>				
TX沿線整備地区の字の区域の名称変更事業		つくばエクスプレス沿線整備地区で進められている土地区画整理事業の換地処分に合わせて、当該地区の字の区域及び名称の変更を行います。住所変更通知書の作成、街区表示板等の設置等の業務を、鱈ヶ崎・思井地区については令和2年度、木地区については令和2年度から令和3年度に継続して実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
総務課	継続	35,582		34,899	6,333	14,778	0	14,778	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
字変更業務の進捗状況(%)		-	100	100					
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
5月10日に新市街地地区、10月4日に西平井・鱈ヶ崎地区の土地区画整理事業の換地処分が行われ、これに合わせて字の区域及び名称の変更を実施しました。関係機関との連絡調整を行い、住所変更手続は概ね順調に終了することができました。					令和2年度中に鱈ヶ崎・思井地区、令和3年秋頃に木地区の換地処分が予定されていることから、これに合わせて字の区域及び名称の変更に向けて、各種業務を進めます。住民の皆様には、適切な時期にお知らせするとともに、問合せに対しては丁寧な説明を行います。				
証明書コンビニ交付事業		マイナンバーカードを活用し、全国の主要コンビニエンスストアなどで住民票、印鑑証明、戸籍事項証明、税証明等の交付が受けられるコンビニ交付サービスを導入し、市民の利便性向上を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
市民課	新規	23,000		18,516	561	23,035	0	23,035	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
マイナンバーカード交付件数(件)		3,082	5,316	10,000	証明書コンビニ交付件数(件)	-	664	3,800	
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容</li> <li>R2年2月3日より新規実施し、広報やホームページで啓発活動を行いました。</li> <li>評価</li> <li>全国主要コンビニエンスストア等で各種証明書の交付が受けられるようになり、市民の利便性の向上が図られました。</li> <li>改善点</li> <li>コンビニ交付の件数を増加させることが必要です。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>現状</li> <li>マイナンバーカードの交付件数及びコンビニ交付件数が少ない状況です。</li> <li>課題</li> <li>マイナンバーカードの交付件数及び証明書のコンビニ交付件数を増加させることです。</li> <li>取組内容</li> <li>マイナンバーカード交付時及び更新時に、コンビニ交付のパンフレットを配布して周知を図っていきます。</li> </ul>				
保育事務管理事業		保育課における会計年度任用職員の賃金や入所事務に係るシステムなどの事務管理費を計上し、保育所の安全な運営の維持や保育所入所事務の適正な執行と事務効率の向上を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
保育課	一部新規	30,022		31,963	3,269	30,819	0	30,819	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
正規保育課職員数(人)		17	19	19					
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
<p>(取組内容と評価)</p> <p>子育て世代の増大に伴い、保育所入所の関連事務量が增大しています。また令和1年度は10月より保育料の無償化への対応もありましたが、適正に事務を執行することができました。また、入所選考についてはAIを活用したシステムを導入し事務の確実性と効率の向上を図りました。</p> <p>(改善点)</p> <p>適正な事務執行に努めるとともに事務効率の向上を図りましたが、保育料無償化への対応などにより職員一人一人の事務負担は大きくなりました。</p>					<p>(現状と課題)</p> <p>令和2年度は昨年導入された保育料無償化の事務執行や新園の開所による入所希望児童の更なる増加等、事務量の増大が見込まれます。職員一人一人の事務負担の平準化を図りつつ、入所選考におけるAIの活用を継続することで、より効率的な事務執行を目指します。</p>				

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

マーケティング

主管課：マーケティング課

流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業								「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るための情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。									
担当課		区分		R1当初予算		R1決算見込		R1職員給与費(目安)		R2当初予算		R2特定財源		R2一般財源			
マーケティング課		継続		24,365		23,185		29,845		23,492		2,000		21,492			
主な活動指標		H30実績		R1実績		R2目標		主な成果指標				H30実績		R1実績		R2目標	
シティセールスイベント開催回数(回)		5		6		2		常住人口(1/1現在)(人)				190,145		195,087		200,000	
								イベント来場者数(人)				110,100		163,900		30,000	
R1年度の取組みと評価_改善点								R2年度の現状_課題_取組み									
<p>■(主な)取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏駅PR広告について、デジタルサイネージ広告やWEBメディア上での広告など、新たな広告媒体を活用したPRを実施しました。</li> <li>・「グリーンフェスティバル」および「森のマルシェ」イベントを実施しました。</li> </ul> <p>■評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで実施してこなかったデジタル媒体を活用した方法をとったことで、公式サイトの閲覧数が大幅に増え、よりターゲット層へ流山市の魅力が届くPRができました。</li> <li>・各イベントの企画検討に力を入れた結果、過去最高の来場者数を記録し、市の知名度とイメージ向上に寄与することができました。</li> </ul> <p>■改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏駅PR広告については、より効果的なPR方法を検討していきます。</li> <li>・イベントについては、市民や市内団体/市内事業者との協働企画を増やしていきます。</li> </ul>								<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の駅の媒体を活用したPR広告も、開始から10年程が経ち、目新しさが少なくなってきました。</li> <li>・住民誘致と合わせて、流山市のブランド確立を推進していくことが必要となります。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月末までの大規模イベントを中止としました。</li> </ul> <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR実施方法の改善、再検討が必要です。</li> <li>・住民誘致のための市外向け企画だけではなく、ブランド確立に向けた市内の魅力発信も重要です。</li> <li>・9月末までのシティセールスイベントが中止のため、この状況にあった発信方法の検討が必要です。</li> </ul> <p>■取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏駅PR広告業務については、広告媒体を駅に絞らず、幅広い形での提案型プロポーザルを実施します。</li> <li>・市民や市内団体/市内事業者との協働企画を増やし、「シビックプライドの醸成」を推進することで、市の魅力を発信していきます。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に考えつつ、今後の情勢を見ながら、11月以降のイベントについて、開催可否や内容を実行委員会と協議していきます。</li> </ul>									